2018年度シラバス

科目名:国際ボランティア論	担当者:成田　弘成	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	4
受講者制限:特になし		単位数	2
		必須. 選択	選択必須

授業概要と方法
本授業は、学芸学部ディプロマポリシーにある「グローバル化した社会に向けて論理的で創造的な発信ができる能力」と関連している。その為に、国際ボランティアの実像、意義、そして内容についての理解を深め、社会現象としての国際ボランティア活動を学ぶ。国際援助、技術協力の具体的な方法、必要な理論・方法・技術についても学ぶ。また食料援助や感染症対策などの具体的事例を分析しながら、グローバルに変化する時代のボランティアの立場についての理論と実践的知識を修得し、将来に向けた展望を持てることを目指す。

授業の到達目標
（１）国際ボランティア活動の意義について学ぶ　（２）国際ボランティア活動とはどのような内容なのかを知る　（３）国際ボランティア活動についての仕組みについて学ぶ　（４）国際ボランティア活動の発展の歴史を学ぶ　（５）組織としてのボランティア集団の特質について学び、等々。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
毎週、予習範囲を指定するので、事前に資料を読み、予備知識を持つこと。授業後は、当日のテーマ内容にそって、出来るだけ多くの関連資料をメディア等で検索し、その成果を発表できるように心掛けること。特に期末レポートについては、自分の理解度を示せるように、しっかり準備してください。

評価方法
受講者は授業ごとに、内容のまとめと感想を求められ、リフレクションを中心とした教員と受講者の間のコミュニケーションが重視される。またプレゼンテーションを含めた小テストや期末レポートの提出を求める。配点は、「授業への参加態度30%　小テスト30%　期末レポート40%」。

教科書 特になし	参考図書 その都度指示します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
担当教員の研究室は7号館3階。オフィスアワーは月曜日の昼休み12時30分から13時。

01	開発援助の目標：ミレニアム開発目標からサステイナブル開発目標へ
02	ＯＤＡとＮＧＯ：日本のJICAを中心に
03	プランテーション農業と南北問題
04	食料援助ビジネス：アメリカが始めた開発援助の時代
05	フェアトレードの可能性
06	貧困とビジネス
07	貧困と教育：ユニセフのアプローチから
08	マザーテレサの精神
09	貧困とスラム
10	グローバリゼーション、環境、感染症
11	災害とボランティア
12	開発におけるヒーローたち1
13	開発におけるヒーローたち2
14	開発におけるヒーローたち3
15	海外ボランティアの役割
16	なし

2018年度シラバス

科目名:労働と社会	担当者:森田　優己	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	4
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
この科目は、学芸学部ディプロマポリシーに掲げる「グローバル化した社会に向けて論理的で創造的に発信できる能力」を育成することを目的としている。日本の生活保障の仕組みを、労働政策と社会保障制度の連携および経済学的視点から学ぶ。授業は講義形式で行うが、受講者には、指定したテーマに関するデータや資料の作成とその報告を行い、主体的に授業に参加してもらう。最後に、確認テストを行う。

授業の到達目標
日本の労働者のおかれている現状について把握し、問題点を見つけ出し解決方向を示すことができる。日本の社会保障制度の現状と今後のあり方について展望することができる。ワーク・ライフバランスの考え方について理解できるようになる。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
指定された資料をまとめ授業で報告することが求められる。専門用語は説明するが、社会常識的なものは自分で調べて授業に臨むことが必要である。いずれも、これまでになじみのない言葉であるので理解するためには、相当の自学自習が必要である。よって、毎週、授業外に2時間から4時間程度の学修時間が必要である。

評価方法
授業への参加態度60%、確認テスト40%

教科書	参考図書
Moodleまたは紙媒体で資料配布する	授業中に指示する

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
授業時間外での質問は、オフィスアワーに研究室で受け付ける。この時間以外については、メールでアポイントをとること。オフィスアワーの時間とメールアドレスは、授業時間内に開示する。

01	オリエンテーション　　生活保障のための労働政策と社会保障制度の連携の重要性を理解する
02	歴史から学ぶ労働政策、社会保障の必要性　　①欧米
03	歴史から学ぶ労働政策、社会保障の必要性　　②日本
04	労働市場　①日本型雇用システム
05	労働市場　②労働問題　　受講生によるデータ報告
06	労働条件　①労働規制　　受講生によるデータ報告
07	労働条件　②労災保険
08	失業　①失業保険
09	失業　②雇用保護法制
10	健康　①公的医療保険
11	健康　②医療保険制度
12	介護
13	老齢　①公的年金の役割と歴史　受講生による資料報告
14	老齢　②年金制度改革
15	まとめ（人口減少社会における労働政策と社会保障制度の連携と課題）＆　確認テスト
16	なし

2018年度シラバス

科目名:中国語コミュニケーションⅠ	担当者:高　文軍	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:１年以上中国語を修得した者		単位数	1
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
本授業は、学芸学部ディプロマポリシーにある「グローバルな視点から言語および異文化を理解する能力」と関連している。習った中国語の基本を復習しながら、さらにコミュニケーション能力を向上する。「グループワークとグループ発表」（全２回）。時には、視聴覚資料を使って、中国文化に関する理解を深める。

授業の到達目標
簡単な日常会話が出来ることを最終的な目標とする。中国語検定にチャレンジする力と自信を培い、意欲的な学習ができる。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
授業前の予習と授業後の復習、宿題完成。関連する図書を読むこと。授業外学修時間は1.5時間とする。

評価方法
　筆記試験　５０％　口頭試験（会話文の暗誦）１０％ 平常点（授業態度、宿題等）４０％

教科書	参考図書
『初級中国語 教科書＋ドリル』白帝社　小川郁夫　著	『ことばの散歩道』Ⅰ～Ⅳ　白帝社　上野恵司　著

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
　研究室は7号館7322室、オフィスアワーは、月曜日２限 メールアドレス：gaowj@ohkagakuen-u.ac.jp

01	中国語の要点を確かめ、おさらい
02	（『初級中国語　教科書』）第16課　どうしましたか？
03	第17課　何歳ですか
04	第18課　いくらですか
05	第19課　辞典を一冊あげます
06	第20課　どこで働いていますか？
07	聞き取り（四）　１～２０の復習　グループワーク（１）
08	第21課　学校から遠いですか？
09	第22課　中国語が話せますか？
10	第23課　中国に行ったことがありますか？
11	中国文化体験
12	第24課　それとも？
13	第25課　何をしていますか？
14	聞き取り（五）グループワーク（２）復習
15	確認テスト
16	なし

2018年度シラバス

科目名:中国語コミュニケーションⅡ	担当者:布　和	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:中国語の授業を履修した学生が対象である。		単位数	1
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
　授業では、会話して意思表示を行うという中国語コミュニケーション力を習う。演習ごとに、テキストの文法事項を解説し、基本構文を繰り返し練習する。また、中国語でディスカッションする方法を学び、マスターしてもらう。さらに、授業内容を消化しやすくするために、視聴覚資料も使うつもりである。本授業は、学芸学部ディプロマポリシーにある「グローバルな視点から言語および異文化を理解する能力」という能力の養成に関連している。

授業の到達目標
　１５回の演習を終えて、簡単な中国語の日常会話力を身につけることと、意思表示を中国語で明瞭に伝えることができることを目標にしている。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
　授業前は予習し、授業後に復習することを少なくとも1時間程度に行うこと。

評価方法
　授業では、授業参加意欲(50%)とテスト(50%)の結果を総合して評価する。

教科書	参考図書
教科書を使用しないが、プリントを配る予定、また、中日辞書が必要である。	なし

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
　授業進度は状況によって多少の変更が生じる。教員のオフィスアワーは、授業時に知らせる。

01	授業の説明
02	結果補語の使い方①
03	結果補語の使い方②
04	存在文の使い方①
05	存在文の使い方②
06	感情を表す表現①
07	感情を表す表現②
08	小結
09	主観的な表現①
10	主観的な表現②
11	助動詞の使い方①
12	助動詞の使い方②
13	副詞の使い方①
14	副詞の使い方②
15	まとめと小テスト
16	なし

2018年度シラバス

科目名:韓国語コミュニケーションⅠ	担当者:都　恩珍	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:韓国語と文化Ⅳを履修した者、またはそれ相当の能力があると認められた者に限る。		単位数	1
		必須. 選択	選択必須

授業概要と方法
本授業は学芸学部ディプロマポリシーにある「グローバルな視点から言語及び異文化を理解能力」と関連しています。いろいろな文法項目や表現を学びながら、自然な会話文に慣れることを目標にします。リスニングにも力を入れます。授業は、テキストを中心に進めますが、別配布の資料を使ってペアーワークで会話の応用練習をします。また、韓国人のコミュニケーションスタイルに触れながら理解を深め、韓国語での社会運用能力を身につけます。毎回の授業の終わりにリフレクションを書き、自らの学修を振り返ります。単元ごとに確認テストを行います。

授業の到達目標
動詞・形容詞の過去、現在、未来の活用を応用できるようになります。複数の表現文型を使っていろいろな場面の日常会話ができるようになります。文章を書かなくても頭の中でゆっくり会話文を作ることができるようになります。目指す修得語彙数は1500語です。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
準備学修：CDを聞いて音読の練習をしてください。必要時間：約30分　事後学修：単語帳に単語をまとめ、覚えてください。必要時間：約１時間

評価方法
確認テスト8回　80%、 単語帳・課題　10%、　授業態度・リフレクション　10%

教科書	参考図書
楽しもう韓国語（白帝社）金孝珍　継続使用　話せる中級韓国語（朝日出版社）黄聖媛他　新規購入	授業中に提示します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
毎回の授業のリフレクションを復習・予習に結びつけましょう。連絡方法は授業中に提示します。　諸事情により予定を変更することもあります。　　オフィスアワー：金曜日３限

01	ガイダンス、韓国語と文化Ⅳの復習、第15課　한번 먹어 봐도 돼요?　意向・勧誘表現
02	第15課　한번 먹어 봐도 돼요?　意向・勧誘表現の練習
03	まとめ、確認テスト（１）第16課　경복궁에 가려고 합니다　依頼表現
04	第16課　경복궁에 가려고 합니다　依頼表現の練習
05	まとめ、確認テスト（２）、第17課　너무 바빠서 연락도 못 했네요　不可能表現
06	第17課　너무 바빠서 연락도 못 했네요　不可能表現
07	まとめ、確認テスト（３）第1課　만나서 반가워요 尊敬を表す表現　（話せる中級韓国語）
08	第1課　만나서 반가워요 尊敬を表す表現の練習
09	まとめ、確認テスト（４）第2課　공항전철을 타고 가요　動詞の現在連体形
10	第2課　공항전철을 타고 가요　動詞の現在連体形の練習
11	まとめ、確認テスト（５）第３課　여기가 유명한 한식집이에요　形容詞の現在連体形
12	第３課　여기가 유명한 한식집이에요　形容詞の現在連体形の練習
13	まとめ、確認テスト（７）　第４課　여행 첫날이니까 푹 쉬세요 確認・理由を表す表現
14	第４課　여행 첫날이니까 푹 쉬세요 確認・理由を表す表現の練習
15	まとめ、確認テスト（８）
16	なし

2018年度シラバス

科目名:韓国語コミュニケーションⅡ	担当者:都　恩珍	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:韓国語コミュニケーションⅠを履修した者、またはそれ相当の能力があると認められるものに限る。		単位数	1
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
本授業は学芸学部ディプロマポリシーにある「グローバルな視点から言語及び異文化を理解能力」と関連しています。より複雑な文法項目や表現を学びながら、自然な口調で堂々とコミュニケーションすることを目標にします。リスニングはもちろん、メールによる対話に慣れることも目標にします。授業は、テキストを中心に進めますが、別配布の資料を使ってペアーワークで会話の応用練習をします。また、韓国語での社会運用能力をさらに身につけます。毎回の授業の終わりにリフレクションを書き、自らの学修を振り返ります。単元ごとに確認テストを行います。

授業の到達目標
さらに表現力をつけます。様々な文型を使って身近な話題について表現できるようになります。やや長い文がスラスラ話せるようになります。韓国語でSNSを利用できるようになります。目指す修得語彙数は2000語です。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
準備学修：CDを聞いて音読の練習をしてください。必要時間：約30分　事後学修：単語帳に単語をまとめ、覚えてください。必要時間：約１時間

評価方法
確認テスト８回　８0%、単語帳・課題　10%、授業態度・リフレクション　10%

教科書	参考図書
話せる！中級韓国語（朝日出版社）黄聖媛他	授業中に提示します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
毎回の授業のリフレクションを復習・予習に結びつけましょう。連絡方法は授業中に提示します。　オフィスアワー：金曜日３限　　諸事情により予定を変更することもあります。

01	韓国語コミュニケーション１の復習 、第5課　옷을 샀는데 마음에 안 들어요　二つの文の接続表現
02	第5課　옷을 샀는데 마음에 안 들어요　二つの文の接続表現の練習
03	確認テスト（２）、第6課　미팅을 해 본 적이 있어요?　過去の経験を表す表現
04	第6課　미팅을 해 본 적이 있어요?　過去の経験を表す表現の練習
05	確認テスト（３）、第7課　사진 좀 찍어 주세요　依頼を表す表現
06	第7課　사진 좀 찍어 주세요　依頼を表す表現の練習
07	確認テスト（４）、第8課　걸어서 갈 수 있어요?　可能・不可能を表す表現
08	第8課　걸어서 갈 수 있어요?　可能・不可能を表す表現の練習
09	確認テスト（５）、第9課　역에서 내려서 갈아타요　原因・理由を表す表現
10	第9課　역에서 내려서 갈아타요　原因・理由を表す表現の練習
11	確認テスト（６）、第10課　사람이 많을 거예요　推測を表す表現
12	第10課　사람이 많을 거예요　推測を表す表現の練習
13	確認テスト（７）、第11課　사진을 찍어도 됩니까?　許可・禁止を表す表現
14	第11課　사진을 찍어도 됩니까?　許可・禁止を表す表現の練習
15	まとめ、確認テスト（８）
16	なし

2018年度シラバス

科目名:English for CertificationV	担当者:新谷　敦子	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	3
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
This course is related to the ' practical ability to communicate in English in the globalized societies' mentioned in SLADE diploma policy. In this course, students will learn the basic vocabulary, grammar and strategies to achieve a score over 500 in TOEIC®. In class, students are expected to; 1)do quizzes on vocabulary and key sentences, 2)learn the strategies for the listening and reading sections, 3)work on the exercise in the textbook, 4)review their mistakes and understand the grammar points.

授業の到達目標
Upon successful completion of this course, students will be able to understand the basic vocabulary and grammar in the TOEIC® exam, and to apply the skills and strategies in both listening and reading sections.

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
Students will be required to do assignments for 4 hours before each class; a) to do exercises in the reading section so that they will find points they cannot understand, b) to memorize key sentences and vocabulary through reading aloud.

評価方法
For the successful academic achievement in this course, students will need to complete the following:1)Quizzes on the vocabulary and key sentences 25% 2)Final examination 50% 3)Attitude for class participation 25%

教科書	参考図書
Mark D. Stafford, Chizuko Tsumatori, FULL GEAR FOR THE TOEIC® L&R TEST KINSEIDO	Other Course Materials will be announced in class.

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)

01	Introduction/Mock test/Unit1 Events
02	Unit1 Events
03	Unit2 Eating Out
04	Unit3 Shopping
05	Unit4 Office
06	Unit5 Housing
07	Unit6 Community
08	Unit7 Facilities
09	Unit8 Personnel
10	Unit9 Meetings and Workshops
11	Unit10 Transaction and Finance
12	Unit11 Travel
13	Unit12 Health
14	Unit13 Letter and Email
15	Unit14 Ads and Notice
16	Final Examination

2018年度シラバス

科目名:English for CertificationV	担当者:Martin Baildon	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	3
受講者制限:TOEIC L&R 500 and higher score		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
Overview and Methods: This course adheres to the SLADE Diploma policy by offering practical ability to communicate in English in the globalized societies.A. OverviewEnglish for Certification V is an elective course for 4th year students The aim of this course is to develop students' ability and confidence in undertaking the TOEIC test. Students will work towards improving their ability to understand natural spoken and written English, including points of grammar, through regular visits to recommended websites. Students will also be able to hear and read common language used in business situations helping them understand and feel comfortable in an English speaking working environment. B. MethodsThe students will have opportunities to develop skills in answering questions on the TOEIC test and comment on situations occurring in business environments. To this end lessons will: i) provide opportunities to undertake TOEIC style mini tests, ii) provide advice on strategies, iii) provide opportunities to read about situations and topics common in the workplace iv) provide opportunities for students to focus on and improve their own weak areasC. Active LearningWherever possible students will be encouraged to solve problems together in small groups, including which questions to answer first and last, identify language relevant to each problem and identify appropriate reading and listening skills.

授業の到達目標
Goals/Objective of class: Upon successful completion of this course, students will be able to….a. Undertake the TOEIC test with confidenceb. Understand more written and spoken English with an improved range of vocabularyc. Apply strategies for reading and understanding business texts in Englishd. Apply strategies for listening to and understanding conversations in English.e. Improve independent learning without the need of formal instruction

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
Study Requirements: Students are expected to keep a journal of websites visited. These websites are essential for improving listening, reading and grammar skills outside the classroom. Students are also expected to keep vocabulary and grammar notebooks well-organized. An A4 size clear file is also necessary for supplementary material and this too must be kept in good order. Students are expected to communicate solely in English.

評価方法
Evaluation Methods: A. Policies: Students are expected to routinely check and add to their vocabulary and grammar notebooks. These notebooks will form part of the assessmentB. Reflection and Feedback: Students will be given questionnaires throughout the semester to encourage reflection on the material covered and gage how the students are progressing. The results of these questionnaires will be used to give further advice for improvement.C. Course Requirements (Major Assignments, Quizzes & Exams including Dates) 1. Homework (from textbook) 10% (weekly)2. Phrasal verb quizzes 10% (weekly)3. Entries in Notebooks 40%4. Vocabulary quiz 20% (weekly)5. Mock listening and reading of TOEIC 20% (week 14/15) Total: 100%

教科書	参考図書
Textbooks: TOEIC SKILLS 3, (2016), ABAX ELT PublishersOther course material used will be announced in class	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Contact InformationMartin Baildon's e-mail address is: martin4academic@gmail.com Direct contact maybe made MondaysPrerequisitesStudents should have a genuine interest in improving their score on the TOEIC test or improving language related to business situations

01	Introduction and how to study
02	Corporate Organization and Structure
03	Describing an organization and company
04	Work routines
05	describing jobs
06	Travel and Entertainment
07	Describing travel procedures
08	Analyzing Human resources
09	Analyzing job interviews
10	Describing Manufacturing
11	Describing production and production planning
12	Review topics covered lessons 1-11
13	Understanding Office technology
14	Analyzing IT procedures
15	Review Lessons 1-14 and Mock Test
16	なし

2018年度シラバス

科目名:English for CertificationVI	担当者:新谷　敦子	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	3
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
This course is related to the ' practical ability to communicate in English in the globalized societies' mentioned in SLADE diploma policy. In this course, students will learn the basic vocabulary, grammar and strategies to achieve a score over 500 in TOEIC®. In class, students are expected to; 1)do quizzes on vocabulary and key sentences, 2)learn the strategies for the listening and reading sections, 3)work on the exercise in the textbook, 4)review their mistakes and understand the grammar points.

授業の到達目標
Upon successful completion of this course, students will be able to understand the basic vocabulary and grammar in the TOEIC® exam, and to apply the skills and strategies in both listening and reading sections.

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
Students will be required to do assignments for 4 hours before each class; a) to do exercises in the reading section so that they will find points they cannot understand, b) to memorize key sentences and vocabulary through reading aloud.

評価方法
For the successful academic achievement in this course, students will need to complete the following:1)Quizzes on the vocabulary and key sentences 25% 2)Final examination 50% 3)Attitude for class participation 25%

教科書	参考図書
Michiko Ueki, Brent Cotsworth, Lighting up the TOEIC®Test KINSEIDO	Other Course Materials will be announced in class.

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)

01	Introduction/Mock test/Unit1 Traveling
02	Unit1 Traveling
03	Unit2 Daily Life & Shopping
04	Unit3 At Restaurants
05	Unit4 Job Hunting
06	Unit5 At the Office 1
07	Unit6 At the Office 2
08	Unit7 Review 1

09	Unit8 Doing Business Online

10	Unit9 Housing
11	Unit10 Making Deals & Contracts
12	Unit11 Public Service
13	Unit12 Banking & Finance
14	Unit13 At Seminars & Workshop
15	Unit14 News & Media

16	Final Examination

2018年度シラバス

科目名:English for CertificationVI	担当者:Martin Baildon	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	3
受講者制限:TOEIC L&R 500 and higher socre		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
Overview and Methods: This course adheres to the SLADE Diploma policy by offering practical ability to communicate in English in the globalized societies. A.OverviewEnglish for Certification V is an elective course for 4th year students. The aim of this course is to develop students' ability and confidence in undertaking the TOEIC test. Students will work towards improving their ability to understand natural spoken and written English, including points of grammar, through regular visits to recommended websites. Students will also be able to hear and read common language used in business situations helping them understand and feel comfortable in an English speaking working environment. B.MethodsThe students will have opportunities to develop skills in answering questions on the TOEIC test and comment on situations occurring in business environments. To this end lessons will: i) provide opportunities to undertake TOEIC style mini tests, ii) provide advice on strategies, iii) provide opportunities to read about situations and topics common in the workplace iv) provide opportunities for students to focus on and improve their own weak areasC. Active LearningWherever possible students will be encouraged to solve problems together in small groups, including which questions to answer first and last, identify language relevant to each problem and identify appropriate reading and listening skills.

授業の到達目標
Goals/Objective of class: Upon successful completion of this course, students will be able to….a. Undertake the TOEIC test with confidenceb. Understand more written and spoken English with an improved range of vocabularyc. Apply strategies for reading and understanding business texts in Englishd. Apply strategies for listening to and understanding conversations in English.e. Improve independent learning without the need of formal instruction

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
Study Requirements: Students are expected to keep a journal of websites visited. These websites are essential for improving listening, reading and grammar skills outside the classroom. Students are also expected to keep vocabulary and grammar notebooks well-organized. An A4 size clear file is also necessary for supplementary material and this too must be kept in good order. Students are expected to communicate solely in English.

評価方法
Evaluation Methods: A. Policies: Students are expected to routinely check and add to their vocabulary and grammar notebooks. These notebooks will form part of the assessmentB. Reflection and Feedback: Students will be given questionnaires throughout the semester to encourage reflection on the material covered and record how the students are progressing. The results of these questionnaires will be used to give further advice for improvement.C. Course Requirements (Major Assignments, Quizzes & Exams including Dates) 1. Homework (from textbook)　10% (weekly)2. Phrasal verb quizzes　10% (weekly)3. Entries in Notebooks□ 40%4. Vocabulary quiz□　20% (weekly)5. Mock listening and reading of TOEIC　20% (week 14/15)　Total:　100%

教科書	参考図書
TOEIC SKILLS 3, (2016), ABAX ELT Publishers Other Course Material will be provided in class	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Contact Information:Martin Baildon's e-mail address is: martin4academic@gmail.com Direct contact maybe made MondaysPrerequisitesStudents should have a genuine interest in improving their score on the TOEIC test or improving language related to business situations

01	Introduction and advice on how to study
02	Analyzing Purchasing
03	Describing purchasing procedures
04	Understanding health care procedures
05	Describing health problems and issues
06	Review of material lessons 1-5
07	Understanding housing and property
08	Describing cities and neighbourhoods
09	Understanding Banking and Finance
10	Describing financial procedures
11	Review of material lessons 1-10
12	Strategies for answering part 7
13	Strategies for answering Part 6
14	Strategies for Answering Part 5
15	Review of lessons 1-14 and Mock Test
16	なし

2018年度シラバス

科目名:British StudiesⅡ	担当者:井川　恵理	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	4
受講者制限:PC use is required.		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
This course is related to 'the ability to understand other cultures and use critical thinking' mentioned in SLADE diploma policy. It aims to introduce students to the understanding of the present and past of United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland (the U.K.), and relationship with the Republic of Ireland. Students will explore how each nation expresses her identity, how the U.K. and Ireland have tried to solve the issues of 'the Troubles'. The course consists of lecture by the instructor, presentations by the students and discussion. Each student is to choose the topic related to a nation and history of the area.

授業の到達目標
Students will be able to: 1. understand the academic vocabulary associated with the U.K. and the Republic of Ireland. 2. explain the basic characteristics, languages and cultures of England, Wales, Scotland, Northern Ireland and the Republic of Ireland. 3. explain how the U.K. has been formed. 4. explain how 'the Troubles' started and are now on the stage of healing.

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
1. Keep on being interested in news of the United Kingdom, the Republic of Ireland and Europe.2. Prepare for your presentation using PC.3. Students are expected to study for 4 hours per week out of class.

評価方法
Discussion and Reflection 30%, Presentation 20%, Mid-Term Quiz 25%, Summary Quiz 25%

教科書	参考図書
Handouts will be given in the class.	Derek Sellen, The British Isles (Black Cat Publishing, London, 2011)

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Office: 7310.Office hours and contact e-mail address will be informed in class.

01	Introduction, Basic knowledge on the U.K. and the Republic of Ireland
02	Symbols of the U.K.:the Union Jack
03	Symbols of the U.K.:the Coat(s) of Arms for the Monarch of the U.K.
04	Symbols of the U.K.:Symbols in the various events
05	Identity of the Four Nations: 'Jerusalem' in London 2012 Olympics Opening Ceremony
06	Identity of the Four Nations: 'The Flower of Scotland' in London 2012 Olympics Opening Ceremony
07	Identity of the Four Nations: 'Bread of Heaven', 'Danny Boy' in London 2012 Olympics Opening Ceremony
08	Mid-Term Quiz, the U.K. and the Republic of Ireland:Introduction
09	The Republic of Ireland and Northern Ireland, the Era of 'the Troubles'
10	Film _Michael Collins_ and its background
11	Film _Michael Collins_ and the flow of the history
12	Film _Michael Collins_ and the birth of 'Irish Free State'
13	Reconciliation of 'Ireland' and the U.K.
14	Expression of Britishness and Irishness
15	Summary Quiz, the U.K., the Republic of Ireland and Japan
16	None

2018年度シラバス

科目名:Japanese Studies	担当者:Martin Baildon	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	4
受講者制限:PC use is required		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
This course adheres to the SLADE Diploma policy by offering the opportunity to improve one's ability to use critical analysis based on the acquired knowledge and to offer logical messages to the globalized societies.A.□OverviewJapanese Studies is an elective course for 4th year students. The aim of this course is to develop students' knowledge and awareness of culture and history in Japan. The students will discover how various aspects of Japan and its society developed.B.□MethodThe students will be able to acquire knowledge on various topics through: i) reading and presentation, ii) lectures from the instructor, iii) presentation and discussion of reading from other students. The students will be required to keep a weekly journal of what they have learnt which will be submitted to the instructor for feedback at two points during the semester.C.□Active LearningStudents will listen to research and presentations from other students and give constructive feedback through group work

授業の到達目標
Goals/Objective of class: Upon successful completion of this course, students will be able to….a. Describe in detail various facets of Japan, Japanese society, its culture and history.b. Expand and apply vocabulary necessary for understanding and talking about Japan.c. Critically analyze the meaning of Japanese identity.d. Improve reading and investigation skills for presentation and report.e. Improve skills for discussion and eliciting information from others.f. Critically evaluate what they have learnt in the course through reflection.

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
Study Requirements:A.□Research: This course requires students to research and analyse relevant information, present findings and participate in all class discussions. It is therefore important to read as much as possible about the topics studied before and after lessons. Attendance is vital. Eliciting information from other students and the instructor is also important. Research may be undertaken in Japanese but findings must be presented in English. Reading at least some material in English is necessary. Do not present findings from one only source.B.□Reflection and Feedback: Students will be required to reflect on the content of each class through writing journals. Time will be given in class to this end. The instructor will provide written feedback on the journals.

評価方法
Evaluation Methods:In order to be successful in this course, students will need to complete the following:1. Understanding of content, presentation and discussion□50%2. Investigation and end of semester report (week 15)□30%3. Weekly and end of semester reflections□□20% Total□ 100%

教科書	参考図書
Textbooks: All materials will be provided by the instructor. Recommended websites will also be provided	Other Course Materials: Other course material will be announced in class

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Prerequisites: Although this is not a history course, some knowledge of Japanese history would be beneficial. Contact Information: Martin Baildon's e-mail address is: martin4academic@gmail.comDirect contact maybe made Mondays

01	Outline: Description of the course and syllabus. Recommended sources for research. Knowledge survey of Japanese culture.
02	Early history: An overview of the development of Japan and its people through the Jomon, Yayoi and Yamato periods until the beginning of the Edo Era.
03	Early history: Continued study of the early history of Japan.
04	Middle history: A view of the 19th and 20th centuries of Japan from the end of the Tokugawa Period to the End of World War II.
05	Middle history: A continuing look at the 19th and 20th centuries of Japan from the end of the Tokugawa Period to the End of World War II.
06	Ethnicity in Japan: A view of the different ethnic groups now living in Japan.
07	Modern Culture: Discussions on aspects of modern culture including pop music, fashion, television and "manga".
08	Festivals: A look at various festivals and ceremonies in Japan.
09	Japanese the language: An overview of the development of Japanese and difficulties for learners of the language.
10	Reflection: Review and reflection of the topics covered from week 2 to 9.
11	Theatre and the Arts: A look at the more famous cultural aspects in modern Japan, including theatre.
12	Famous Japanese Authors: A description of several famous authors from past and present.
13	Review: Review and reflection of the topics covered from lesson 2 to 12.
14	Japanese Money: A view of the people and symbols printed on Japanese money.
15	Final Review: Reflection of the course and topics covered in the final report.
16	なし

2018年度シラバス

科目名:中国社会と文化Ⅰ	担当者:高　文軍	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	4
受講者制限:中国語出来るかどうか関係なく、関心のある者は受講できる		単位数	1
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
本授業は学芸学部ディプロマポリシーにある「グローバル化した社会に向けて論理的で創造的な発信ができる能力」と関連している。中国社会、特に近現代の中国社会と文化についての講義を行う。中国映画は視覚を通して中国社会と文化を生きた教材として体現できる一つの手段である。そこで、中国近現代文化を、「伝統」と「近代」、「都市」と「農村」など大きな範疇に区分し、映画鑑賞を交えながらそれぞれの特徴的な文化を概説する。授業は講義形式を基本とする。時代背景の事前説明や解説を行いながらも、受講者間のデイスカッシュンも交え、映

授業の到達目標
英語を中心に学ぶ学芸の学生に、この授業を受けることによって、もっと視野を広げ、日本文化とは異質な他文化の特徴と真髄を捉えることをできるのが究極的な目標である。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
必要に応じて適宜に指示する。基本中国社会と文化に関心を持つこと。授業外学修時間は、４時間以上。

評価方法
　授業への貢献度30%、プレゼン30%、レポート40%（1回10%）、総合的評価する。

教科書 作成資料を配布する	参考図書 授業中に適宜に指示する

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
中国のことに関心を持つことは何より大事。 研究室は7号館7322室、オフィスアワーは、月曜日２限 メールアドレス：gaowj@ohkagakuen-u.ac.jp

01	プロローグ
02	中国映画「変面～この櫂に手をそえて～」(前半)の鑑賞と解説
03	「男尊女卑」はどこまで　「大道芸」の伝承
04	中国映画「変面～この櫂に手をそえて～」(後半)の鑑賞と解説　レポート①
05	中国映画「さらば、わが愛」（前半）の鑑賞と解説
06	近代社会に於ける中国芸人達
07	中国映画「さらば、わが愛」(後半)の鑑賞と解説
08	社会の激動期に翻弄される芸術　文化革命とは　デイスカッション（１）レポート②
09	李安監督の「ウェディング・バンケット」を鑑賞
10	「結婚観」にみる東洋・西洋文化の違いと衝突
11	「ウェディング・バンケット」(後半）の鑑賞と解説
12	受講者全員のプレゼンテーション　レポート③
13	中国映画「あの子を探して」(前半)の鑑賞と解説
14	中国の教育　都市から離れている田舎の現状
15	中国映画「あの子を探して」(後半)の鑑賞と解説　レポート④
16	なし

科目名:中国社会と文化Ⅱ	担当者:高　文軍	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	4
受講者制限:中国語出来るかどうか関係なし、関心の持つ者は誰でも受講できる		単位数	1
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
本授業は学芸学部ディプロマポリシーにある「グローバル化した社会に向けて論理的で創造的な発信ができる能力」と関連している。中国社会、特に近現代の中国社会と文化についての講義を行う。中国映画は視覚を通して中国社会と文化を生きた教材として体現できる一つの手段である。そこで、中国近現代文化を、「伝統」と「近代」、「都市」と「農村」など大きな範疇に区分し、映画鑑賞を交えながらそれぞれの特徴的な文化を概説する。授業は講義形式を基本とする。時代背景の事前説明や解説を行いながらも、受講者間のデイスカッシュンも交え、映画ごとにレポートを課する。グループワークとプレゼンテーションも行う。

授業の到達目標
英語を中心に学ぶ学芸の学生に、この授業を受けることによって、もっと視野を広げ、日本文化とは異質な他文化の特徴と真髄を捉えることをできるのが究極的な目標である。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
必要に応じて適宜に指示する。基本中国社会と文化に関心を持つこと。授業外学修時間は、レポートの時間を含み４時間以上。

評価方法
　授業への貢献度30%、プレゼン30%、レポート40%（1回10%）、総合的評価する。

教科書	参考図書
作成資料を配布する	授業中に適宜に指示する

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
中国のことに関心を持つことは何より大事。研究室は7号館7322室、オフィスアワーは、月曜日２限 メールアドレス：gaowj@ohkagakuen-u.ac.jp

01	プロローグ
02	中国映画「生きる」（前半）の鑑賞と解説
03	民間伝統芸「影絵」と中国近代社会の波乱
04	中国映画「生きる」(後半)の鑑賞と解説
05	中国独自の「近代」文化と文革　グループワーク（１）　レポート①
06	中国映画「イノセントワールド」(前半)の鑑賞と解説
07	中国社会の犯罪行為とその裏事情　民間信仰
08	中国映画「イノセントワールド」(後半)の鑑賞と解説　レポート②
09	中国映画「北京の自転車」(前半)の鑑賞と解説
10	「北京の自転車」(後半)の鑑賞と解説
11	北京オリンピック前後　「出稼ぎ」の真実　グループワーク（２）　レポート③
12	受講者全員プレゼンテーション
13	ドイツ映画「ジョン・ラーベ～南京のシンドラー」(前半)の鑑賞と解説
14	日中戦争の真相について
15	ドイツ映画「ジョン・ラーベ～南京のシンドラー」(後半)の鑑賞と解説レポート④
16	なし

2018年度シラバス

科目名:韓国社会と文化Ⅰ	担当者:都　恩珍	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	4
受講者制限:		単位数	1
		必須. 選択	選択必須

授業概要と方法
この科目は、学芸学部ディプロマポリシーにある「現代社会に必要とされる情報リテラシーを身に付け、国際社会に貢献できる能力」に関連しています。韓国の歴史、経済、社会、文化に関する基礎的な主題を取り上げ、韓国のことをきちんと知り、理解することを目的とします。授業では、メイン資料に沿って進めますが、別配布の資料や文献も参考にします。毎回、取り上げる主題を日本と比較する視点で要約してグループディスカッションします。

授業の到達目標
韓国人の行動や韓国社会の現状についての知識を身に付けます。韓国関連ニュースが理解しやすくなります。韓国についての興味・関心分野が広がります。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
準備学修：メイン資料と参考文献を読んでください。必要時間：約2時間　事後学修：授業で要約・発表した内容をさらに詳しく調べて整理してください。必要時間：約２時間

評価方法
授業中に作成するミニレポート（15回分）100%

教科書	参考図書
オリジナル資料	授業中に提示します

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
自らの視点を持って取り組みましょう。連絡方法は授業中に提示します。諸事情により予定を変更することもあります。

オフィスアワー：金曜日３限

01	ガイダンス、地理…韓国の地理的位置・気候・地形、ミニレポート（１）
02	食…発酵食品のキムチの優秀性、ミニレポート（２）
03	政治…民主共和国、ミニレポート（３）
04	宗教…共存し調和する宗教、ミニレポート（４）
05	経済…マンション神話、ミニレポート（５）
06	社会…入試競争と私教育の歴史と課題、ミニレポート（６）
07	社会…低出産・高齢化の問題と解決、ミニレポート（７）
08	倫理思想…固有の伝統倫理、ミニレポート（８）
09	歴史…古代から中世まで、ミニレポート（９）
10	歴史…韓国の近代史、ミニレポート（１０）
11	人物…大企業社長の成功談、ミニレポート（１１）
12	経済…漢江の奇跡、そして未来、ミニレポート（１２）
13	文学…朝鮮時代のベストセラー小説、ミニレポート（１３）
14	文学…別れを謳った詩、ミニレポート（１４）
15	文化遺産…世界遺産、ミニレポート（１５）
16	なし

2018年度シラバス

科目名:韓国社会と文化Ⅱ	担当者:都　恩珍	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	4
受講者制限:		単位数	1
		必須. 選択	選択必須

授業概要と方法
この科目は、学芸学部ディプロマポリシーにある「現代社会に必要とされる情報リテラシーを身に付け、国際社会に貢献できる能力」に関連しています。韓日間において関係性の深い主題を取り上げ、韓国のことをさらに深く理解することを目的とします。授業では、メイン資料に沿って進めますが、別配布の資料や文献も参考にします。毎回、取り上げる主題を日本と比較する視点でグループディスカッションします。

授業の到達目標
韓日間の問題を自分なりの観点で理解することができるようになります。　自らの視点で韓国関連ニュースを見ることができるようになります。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
準備学修：メイン資料と参考文献を読んでください。必要時間：約2時間　事後学修：授業で要約・発表した内容をさらに詳しく調べて整理してください。必要時間：約２時間

評価方法
授業中に作成するレポート（15回分）１００％

教科書	参考図書
オリジナル資料	授業中に提示します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
自らの視点を持って取り組みましょう。連絡方法は授業中に提示します。諸事情により予定を変更することもあります。

オフィスアワー：金曜日３

01	ガイダンス、似ているようで違う韓国と日本（１）　エピソードから分かる習慣の違い、ミニレポート（１）
02	似ているようで違う韓国と日本（２）　言語行動の違い、ミニレポート（２）
03	家族制度と韓国女性（１）　儒教と家族制度、ミニレポート（３）)
04	家族制度と韓国女性（２）　結婚観の変化、ミニレポート（４）
05	映画にみる韓国社会（１）　激動する近代、ミニレポート（５）
06	映画にみる韓国社会（２）　時代に翻弄されながらも懸命に生きる庶民、、ミニレポート（６）
07	映画にみる韓国社会（３）　家族愛、、ミニレポート（７）
08	日本映画にみる韓日関係（１）　在日韓国人・朝鮮人の諸問題、ミニレポート（８）
09	日本映画にみる韓日関係（２）　朝鮮半島の抱える問題、ミニレポート（９）
10	日本映画にみる韓日関係（３）　韓国・朝鮮に対する異なる視点、、ミニレポート（１０）
11	日本における韓国文化受容　　背景と要因、受容の過程、反韓意識、ミニレポート（１１）
12	韓国における日本文化受容　　日本大衆文化の統制と開放、ミニレポート（１２）
13	韓日関係（１）　東アジアの情勢と韓日関係の重要性、ミニレポート（１３）
14	韓日関係（２）政治・経済・産業における韓日関係、、ミニレポート（１４）
15	韓日関係（３）　社会・文化における韓日関係、ミニレポート（１５）
16	なし

2018年度シラバス

科目名:British LiteratureⅡ	担当者:井川　恵理	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	4
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
This course is related to 'the ability to understand other cultures and use critical thinking' in SLADE diploma policy. The aim of this course is to read through some typical British pieces of work in the original language. Students are to read major passages aloud and consequently have them become part of themselves. Understanding cultural or historical background of the society and the circumstances of the era is required.

授業の到達目標
Students will be able to a. read aloud and recite some of the famous parts of the work. b. understand the scene and the background of the literary work. c. rephrase the scene in other phrases. d. discuss the topics and concepts covered in class with the instructor and classmates.

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
Students are required a. to read the designated section aloud after checking pronunciation of the words. b. to search unknown words, definition of words and phrases in English-English dictionaries and prepare written notes. c. to search the historical background of some phrases and scenes. d. to read the content after the class to understand fully. 2 hours of preparation and 2 hours of reflection work are required.

評価方法
1. Presentation (Paragraph reading presentation, content explanation in English)30% 2. Recitation□ 15% 3. Preparation 15% 4. Mid-term Quiz 20% 5. Summary Exam 20%

教科書	参考図書
ジェイン・オースティン著　大島一彦訳『高慢と偏見』（中公文庫）Handouts are given in class.	TV mini series, Adapted by Andrew Davies, _Pride and Prejudice_(BBC, 1995)

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Office 7310. Contact address will be announced in class.

01	Introduction: British Literature and its Influence, Tell us your own experience!
02	Basic Knowlege on 'Igirisu' : Characteristics of Four Nations in the U.K. and their Literature
03	Jane Austen and Women in the Era
04	_Pride and Prejudice_, its Beginning: Marriage
05	_Pride and Prejudice_, Balls and Music
06	_Pride and Prejudice_, Social Classes in England, the U.K.
07	_Pride and Prejudice_, Communication Problems <Recitation Contest 1>
08	_Pride and Prejudice_, Courting
09	Mid-Term Quiz, _Pride and Prejudice_, Importance of Being 'Honest'?
10	_Pride and Prejudice_, its influence on present dramas
11	_Pride and Prejudice_ and Film, _Bridget Jones's Diary (2001)
12	Compare the Characters
13	Compare the Situations, <Recitation Contest 2>
14	Compare the Framework
15	Summary Exam, Present Women in the U.K.
16	None

2018年度シラバス

科目名:European Literature	担当者:井川　恵理	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	4
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
This course is related to the 'ability to understand languages and other cultures from the global perspective' in SLADE diploma policy. Out of the treasure house of European Literature, several pieces of work will be picked up: the background of the times surveyed; major scenes of each work read in English translation; other media work based on the work compared. Some of the works are compared with early and modern Japanese translation.

授業の到達目標
Students will be able to….a. see the variety of works in European literature and their influence in Japan. b. compare the original and a variety of art works including retold stories in films, drawings, illustrated picture books. c. understand the background history related with witch hunt.

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
Prior to the class, students need to read the English version and some Japanese translation works of the stories and be ready for paraphrasing the words and phrases unclear to them. They need to watch some film works related with the subject. Students are expected to express themselves actively in class to share the content understanding. 2 hours for the preparation and 2 hours for the review of the content of the week will be spent by each student.

評価方法
1. Weekly Reflection 25% 2. Preparation & Presentation 30% 3. Quizzes 50% (25%x2)

教科書	参考図書
Original handouts will be provided.	Materials and books will be introduced in classes.

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Please keep it in your mind that Disney stories are retold versions of folktales and written tales.Office: 7310. How to contact the instructor is explained in the class.

01	What is Europe?
02	Europe and European Literature
03	Stories Introduced to Japan since Meiji Era
04	Grimm Brothers and Fairytales
05	Grimm's Fairytales and Historical Background
06	'Little Snow White'-- Introduction of versions
07	'Little Snow White' -- Structure of the Story, Mid-Term Quiz
08	'Little Snow White' -- Compare the Grimm Versions
09	'Little Snow White' -- Compare the Grimm Versions and Japanese Books
10	'Little Snow White' -- Compare the Grimm Versions and Other Media Works
11	'Little Snow White' -- Witchcraft and Witch in the Story
12	Grimm's Fairytales and Witches
13	Witches and Witch Hunt in European History
14	Witches in Various Stories
15	Let's Compare the Stories -- Summary Quiz
16	

2018年度シラバス

科目名:Seminar Ⅲ	担当者:石渡　雅之	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	4
受講者制限:This course requires students to use their computers.		単位数	1
		必須.選択	必須

授業概要と方法
This course is related to ability to use critical analysis based on the acquired knowledge and to offer logical messages to the globalised societies mentioned in SLADE diploma policy. This seminar covers the various field of Language Teaching and Education Theories for Junior or High Schools in Japan. Students will continue to make their Seminar Portfolio of different documents. Students will research on an area of language teaching method that interests them. Students will also be required to write a Holistic Reflection of the 4 years in SLADE.

授業の到達目標
Upon successful completion of this course, students will be able to....a. Identify and explain their ideas for a major thesis or in-depth paper.b. Conduct their own independent research.c. Use some teaching methods which interest them in language classes.d. Make effective materials for language learning classes.e. Use writing and bibliographic conventions appropriate to an academic content.

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
Students need to master high standard of English proficiency to go to their practice teaching. Through their practice teaching, students need to learn how to use teaching methods effectively in Japanese schools. Students always should be keen on educational issues and on the content of New Course of Study.

評価方法
Research paper -1000 words or more (50%), SLADE Holistic Reflection in English 1000 words or 2500 letters in Japanese. Participation-preparation for presentation, actively doing tasks (30%) , topic choice (20%)

教科書	参考図書
Some resources will be provided by the teacher.	Needed information will always be introduced by the teacher.

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Try to be organised by showing responsibilities as an educational topic based seminar student.Office: 7311

01	Course overview
02	My Plan check, Introduction to research topics
03	Revised resource bank
04	Revised resource bank and Report due
05	Revised In-depth Paper Comparing Teaching Method Book
06	1st draft of Research due
07	1st draft of Holistic Reflection due
08	Writing Chapters 1
09	Writing Chapters 2
10	2nd draft of Research due
11	2nd draft of Holistic Reflection due
12	Writing Chapters 3
13	3rd draft of Research due
14	Midway Discussion
15	Seminar Portfolio Assembly
16	None

科目名:Seminar Ⅲ	担当者:井川　恵理	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	4
受講者制限:PC use is required.		単位数	1
		必須.選択	必須

授業概要と方法
This course is related to 'ability to use critical analysis based on the acquired knowledge and to offer logical messages to the globalized societies' mentioned in SLADE diploma policy. Course Description:This seminar covers the preparation for Graduation Thesis/Seminar Portfolio as well as British Studies through designated materials, Harry Potter and the Philosopher's Stone and the U.K. current issues.General Approach: Students will read the above book and discuss the related topic, prepare several drafts for graduation research and make a presentation. Class members are required to discuss other member's research content after the presentation.

授業の到達目標
Upon successful completion of this course, students will be able toa. Understand how the questions and hypothesis are important in the academic paper.b. Understand how quotations and notes with sources are important in the academic paper.c. Develop their English writing skills.d. Present their research in a professional manner both orally and in writing (in English and Japanese).

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
1) For Graduation Thesis, students are expected to finalize the theme and prepare the draft during spring holiday after Seminar II. Each student is required to prepare for the handout before presentation. 2) Book reading continues from Seminar II. 3) 2 hours of activity outside the class is required.

評価方法
1. Active Participation in Class (being on time to class, actively listening to others, discussing the issue (30%) 2. Research Preparation and Presentation (30%)3. Harry Potter reading and analysis (20%)4. SLADE Holistic Reflection (20%)

教科書	参考図書
J.K. Rowling, _Harry Potter and the Philosopher's Stone_ (Bloomsbury 1997) <各学生３年次に購入済み>	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Eri Ikawa's office is 7310. Contact e-mail address will be given in class.

01	Introduction, explanation of the course schedule, My Plan
02	My Plan and Registration Check, Understanding the format of graduation thesis / portfolio
03	Itemize the content of SLADE holistic reflection and thesis, Harry Potter (Seminar II review)
04	SLADE holistic reflection revision, Harry Potter (Chapter Five, 1)
05	SLADE holistic reflection due, Research Paper brainstorming, Harry Potter (Chapter Five, 2)
06	Itemize the topics for Research Paper
07	Research Presentation and Discussion (1) Important Words and Phrases, Harry Potter (Chapter Six, 1)
08	Research Presentation and Discussion (2) Evidence, Harry Potter (Chapter Six, 2)
09	Research Presentation and Discussion (3) Notes and References
10	Research (Thesis) 1st draft due, Harry Potter (Chapter Seven, 1)
11	Thesis Revision (1) Arranging the Pages, Harry Potter (Chapter Seven, 2)
12	Thesis Revision (2) Subjective view and Objective Description
13	Thesis Preparation, Midway Discussion Preparation, Harry Potter (Chapter Ten, 1--skipping 8&9)
14	Midway Discussion with Other Seminar Groups
15	Midway Discussion Review, Plan for Summer, Harry Potter (Chapter Ten, 2)
16	None

2018年度シラバス

科目名:Seminar Ⅲ	担当者:根尾　文彦	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	4
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	必須

授業概要と方法
This course is related to the 'ability to use critical analysis based on the acquired knowledge and to offer logical messages to the globalized societies' mentioned in SLADE diploma policy. This seminar covers the broad field of Tourism and related to the diploma policy of an ability to contribute to the globalized society with the acquired information literacy necessary for the present societies. Students will decide the theme of Graduation thesis and start research. Instructor will work with students for research and writing with PC. Students are expected to go out for fieldwork and research by themselves on the theme.

授業の到達目標
Upon successful completion of this course, students will be able to :1. Understand how to research graduation topics2. Understand deep knowledge about graduation topics3. Understand how to write graduation thesis

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
Students are asked to read newspapers every day to get more information about society.

評価方法
1. Research of graduation topics 60%　2. Submission of draft graduation topics 20% 3. Seminar Learning Portfolio 20%

教科書	参考図書
None	It depends on topics. Talk about it in classes.

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Contact　neo@ohkagakuen-u.ac.jpRoom　　7303

01	Course Overview, My plan
02	Introduction to Research topics、My plan finalized;Registration check
03	Research on topics about each thesis 1
04	Research on topics about each thesis 2
05	Research on topics about each thesis 3
06	Research on topics about each thesis 4
07	Mid term feedback
08	Research and Writing on topics about each thesis 1
09	Research and Writing on topics about each thesis 2
10	Research and Writing on topics about each thesis 3
11	Research and Writing on topics about each thesis 4
12	Midway Discussion Presentation
13	Midway Discussion
14	Research and Writing on topics about each thesis 5
15	Mid term feedback 2
16	None

2018年度シラバス

科目名:Seminar Ⅲ	担当者:Leslie Chivers	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	4
受講者制限:Mac PC required		単位数	1
		必須.選択	必須

授業概要と方法
This course is related to ability to use critical analysis based on the acquired knowledge and to offer logical messages to the globalized societies mentioned in SLADE diploma policy. This seminar covers the broad field of Language Learning and Literacy (learning to read) for young learners. Students will continue to make their Seminar Portfolio of different documents, including completing their draft of original children's picture book and going through the revision and printing process. Students will continue to refine their major research paper. Students will write a Holistic Reflection of the 4 years in SLADE.

授業の到達目標
Upon successful completion of this course, students will be able to….a. Identify and explain their ideas for a major thesis or in-depth paper.b. Develop skills in using publishing software and print technologyc. Negotiate with others to create joint text and illustrations for original children's picture bookd. Conduct their own independent researche. Develop their English writing skills f. Develop their skills in critical thinkingg. Use writing and bibliographic conventions appropriate to an academic context.

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
Be organized - prepare and complete tasks early. Bring your materials to class each week. Set your goals and make a plan to complete them. Be responsible for your own time management.

評価方法
1. Participation - being on time to class, bringing materials, and actively doing tasks, using English in class (30%)2. Research Paper 1000 words (25%)3. Participation in making a CPB (25%)4. SLADE Holistic Reflection in English 1000 words and 2500 Japanese characters (20%)

教科書	参考図書
Handouts will be given	Other course materials will be available on Moodle and online.

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Mac computer required. Access to Moodle site required. There are no prerequisites for this course. Teacher's room 7303. Email: To be advised in class.

01	Course Overview My Plan
02	My Plan finalized; Registration check
03	Revision of Resource Bank and Reflective Report due; Complete hard copy pages for Children's Picture Book (CPB) due
04	Revised Research Paper comparing and evaluating 2 - 4 children's picture books due; Writing Conventions 1
05	Complete first draft of original children's picture book due (digital files)
06	1st draft of major Research due (at least 750 words)
07	1st draft of Holistic Reflection due; Test printing and revision of Children's Picture Book
08	Revised digital files of original children's picture book due
09	Writing Conventions 2 Arrange with printer to print original children's picture book
10	2nd draft of Research due (at least 1000 words) Revised Journal of Making a CPB
11	2nd draft of Holistic Reflection due
12	Writing Conventions 3; Midway Discussion Preparation
13	3rd draft of Research due (at least 1000 words) with References
14	3rd draft of Holistic Reflection due; Midway Discussion
15	Seminar Portfolio Assembly - Labeling, TOC words counts, References
16	No class

科目名:Seminar Ⅲ	担当者:Donovan Clarke	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	4
受講者制限:Mac computer required		単位数	1
		必須.選択	必須

授業概要と方法
Overview and Methods:This course is related to using critical analysis based on knowledge acquired and to contribute to a globalized society mentioned in SLADE's diploma policy.Seminar III is a continuation of Seminar I and II and is a required course for all 4th year students. This course covers the broad area of international relations, current affairs and business. Other topics of this seminar include - Current world and national issues and events; business issues, culture and events. Students will continue to research and work independently on their topics. This course continues with research and activities for a seminar portfolio. This semester will focus more on practical education in business or international relations.General Method: This is a research, discussion and action based seminar. Students need to come to class prepared to discuss topics and events happening in the world each week or with their project tasks finished. In class, all students will actively take part in the project and learn from each other. Students are required to finish with all planning for the seminar project and put it into practice. Students are required to rewrite their final research paper(s) on their topic(s). They will also write a holistic reflection on their four years of learning at Ohkagakuen University. The opportunity for a seminar trip will be based on a mutually agreed upon theme related to the course subject.

授業の到達目標
Goals/Objective of Course: Upon successful completion of this course, students will be able to….1. understand how some current affairs, international relations and global politics affects their lives2. understand how some current affairs, international relations and global politics affects business around the world. 3. use developed skills to relate to international events, people from different cultures and business settings4. research, plan and develop a project for practical experience in either business or international relations area. 5. present their project in a professional manner.

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
Study Requirements:Students need to do the homework and their project tasks to pass the course. Students will do Internet research for class, so students need to have access to the Internet and computer research skills. Students must be able to work with other students to participate in this class. Also, students need to actively express themselves to participate in class and take part in class activities.

評価方法
Evaluation Methods:Course Requirements (Major Assignments, Quizzes & Exams including Dates) In order to be successful in this course, students will need to complete the following:1. Actively participate in class□ 35%2. Homework/projects□ 35%3. Holistic reflection □ 20%4. Rewriting your research paper□ 10%

教科書	参考図書
Textbooks: To be supplied by the instructor	Textbooks: To be supplied by the instructor

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Other: (Advice to students, Contact information)There are no prerequisites for this course.Donovan Clarke's office is 7308, his office hours will be announced. His e-mail is clarke@ohkagakuen-u.ac.jp Any questions or concerns about the course should be discussed with Donovan.The Moodle site will be used to provide additional materials for students.

01	Course introduction and syllabus - discuss seminar project
02	Current world issues - world economy - seminar project planning
03	Current world issues - world economy - seminar project research
04	Semester learning portfolio presentation - seminar project research
05	Current world issues - world economy - rewritten research paper due
06	Current world issues - war and diplomacy- seminar project proposals
07	Current world issues - war and diplomacy - seminar project business plan and action
08	Current world issues - war and diplomacy - seminar project business plan and action
09	Current world issues - poverty - seminar project individual work
10	Current world issues - poverty - seminar project individual work
11	Current world issues - poverty -Holistic reflection due
12	Seminar project review - individual work
13	Seminar project review - check progress on SP/GP
14	Midway Discussion
15	Semester review and summer seminar project plan
16	none

2018年度シラバス

科目名:Seminar Ⅲ	担当者:都　恩珍	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	4
受講者制限:SeminarⅡを履修した者に限る。		単位数	1
		必須.選択	必須

授業概要と方法
本授業は、学芸学部ディプロマポリシーにある「修得した知識に基づいて、批判的思考ができ、グローバル化した社会に向けて論理的で創造的な発信ができる能力」と関連しています。韓国人の行動様式を知り、日本人との違いの原因を考えます。主に市民問題と経済面の現状や課題を理解します。毎週の韓国ニュースを一つずつ取り上げ、授業中に紹介しあい、情報を共有します。Skypeなど高度のメディアを利用して遠隔で行うことがあります。資料収集のための現地調査などを実施することがあります。

授業の到達目標
韓国文化の幅広いテーマについて理解を深めることができます。韓国語の資料やデータ、文献などを参考にしながら一部を韓国語で引用または作成します。論文の課題について対策を考えていきます。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
準備学修：テキストを読んでください。必要時間：約30分　事後学修：授業中に取り上げられたニュースについてさらに調べてまとめてください。必要時間：約１時間

評価方法
卒業論文関連作業についてのリフレクション20%　毎週のニュースプレゼン30%　　資料収集・整理・要約30%
授業への参加態度20%

教科書	参考図書
現代韓国を知るための60章【第2版】石坂浩一・福島みのり（明石書店)	授業中に提示します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
オフィスアワー：金曜日３限　連絡方法は授業中に提示します。　　諸事情により予定を変更することもあります。

01	授業概要・履修計画 My planの作成と確認
02	履修計画My planの完成
03	地方と地域格差/地方自治の成果、週間韓国ニュース
04	世代差と社会意識、週間韓国ニュース
05	労働市場/大学生の就職活動/労働運動、週間韓国ニュース
06	市民運動、卒業論文の中間発表①
07	離散家族と脱北者、週間韓国ニュース
08	自殺の増加と対策、週間韓国ニュース
09	変貌する家族関係、週間韓国ニュース
10	韓国経済成長と現況、卒業論文の中間発表②
11	財閥と経済構造/経済と財政運営、週間韓国ニュース
12	中間ディスカッション準備・内容確認
13	金融と貿易、週間韓国ニュース、週間韓国ニュース
14	中間ディスカッション
15	農業と農村、卒業論文の中間発表③
16	なし

2018年度シラバス

科目名:Seminar Ⅲ	担当者:斎　孝則	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	4
受講者制限:This course requires students to use their computers.		単位数	1
		必須.選択	必須

授業概要と方法
This seminar will help realize the departmental goal 'to foster a person with broad liberal arts and logical and creative thinking faculty.' It is connected with 'Seminar II' in the curriculum tree. It covers the broad field of British literature, culture and people. Also, it will cover the understanding of graduation research and so on. During the course of spring semester, we will continually have group learning. Also, we will have at least two presentation sessions. One for Semester Portfolio. The other for graduation research. Feedback will be given through Moodle site to each student's assignment submission.

授業の到達目標
Students will be able to: A. grasp a basic idea British literature, culture, people and so on; B. get accustomed to come to class well prepared to discuss; C. learn how to discuss in English; D. have a basic knowledge of what graduation thesis is all about; E. acquire a basic technique of writing a passage.

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
1. Students are asked to observe basic manners of college students; 2. They are asked to set up a personal goal at the beginning; and at the end of semester, they are asked to assess how the goal is achieved through writing a semester reflection. *Since this is a one-credit course, students are asked to study for an hour per week out of class.

評価方法
1. Monthly report 25%; 2. Weekly Handout 25%; 3. Quizzes 20% 4. Semester Learning Portfolio 20%; 5. Presentation on Semester Learning Portfolio 10%

教科書	参考図書
Mark Twain, "The Adventures of Tom Sawyer", IBCパブリッシング株式会社	None

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Students are supposed to submit the reflection through Moodle site; the instructor will present materials through it, too.

01	Course introduction. Will go over the syllabus. Each student sets up her semester goal.
02	Start reading a textbook. How well prepared will be examined.
03	Learn how careful reading is beneficial. Start learning about research.
04	Realize how cultural understanding is drawn from reading children's book.
05	Seminar trip
06	Learn how careful reading is beneficial, again. Learn about the way to do research.
07	Learn British culture through reading. Learn the tips for writing, again.
08	Midterm quiz will be given. Assess how the seminar has been carried on.
09	Learn how careful reading is beneficial, again. Learn again about the tips for writing.
10	Learn how cultural understanding is beneficial, again. Learn about the way to do research.
11	Learn what the British people is all about, again. Learn again about the tips for writing.
12	Learn how careful reading is beneficial, again. Learn about the way to do research.
13	Learn British culture through reading. Learn again about the tips for reading.
14	Learn how careful reading is beneficial, again. Learn again about the tips for writing.
15	Write semester reflection. Final quiz will be given.
16	None

2018年度シラバス

科目名:Seminar Ⅲ	担当者:Shannon Kiyokawa	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	4
受講者制限:Mac computer required.		単位数	1
		必須.選択	必須

授業概要と方法
This course is related to the ability to use critical analysis based on the acquired knowledge mentioned in the SLADE diploma policy. This seminar covers the broad field of women's domestic and global issues. The course focuses on deepening knowledge of chosen topics and working on their seminar portfolio, seminar project and writing skills. Students will decide the women's issue that will be used for the "Phone Booth Project" and then, work on completing the steps of the project. Students will read and view artifacts about women's domestic and global issues and/or NPO's/NGO's and respond to them in discussion and writing in order to build their seminar portfolio and complete steps in the "Phone Booth Project"

授業の到達目標
Upon successful completion of this course, students will be able to….a. Identify and explain their ideas for an in-depth research paper.b. Conduct their own independent researchc. Develop their English writing skills

d. Develop their skills in critical thinkinge. Use writing and bibliographic conventions appropriate to an academic context.f. Cooperate to complete steps of a project

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
Be organized - prepare and complete tasks early. Bring your materials to class each week. Set your goals and make a plan to complete them. Be responsible for your own time management and achieving your goals.

評価方法
1. Active Participation - 30%2. Homework/project - 50%3. Rewrite Research Paper - 20%

教科書	参考図書
Course materials will be provided by the teacher.	None

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Mac computer required. Access to SLADE Moodle site required. There are no prerequisites for this course. Shannon Kiyokawa's office is 7325; her office hours will be announced. Her e-mail is kiyokawa@ohkagakuen-u.ac.jp Any questions or concerns about the course should be discussed with Shannon.

01	Course Overview; My Plan
02	My Plan finalized; Registration check
03	Research Paper Rewrite (Body) / Phone Booth Project (decide topic, make timeline)
04	Research Paper Rewrite (Citations) / Phone Booth Project (phone booth design)
05	Research Paper Rewrite (Citations) / Phone Booth Project (research topic)
06	Research Paper Rewrite (Introduction) / Phone Booth Project (research topic)
07	Research Paper Rewrite (Conclusion)/ Phone Booth Project (topic discussion)
08	Research Paper Rewrite (Conclusion)/ Phone Booth Project (topic discussion)
09	Research Paper Rewrite (References)/ Phone Booth Project (decide poster topics)
10	Midway Discussion Presentation/Phone Booth Project (supplies check, shopping list)
11	Final research paper due /Phone Booth Project (Shopping)
12	Phone Booth Project (painting and/or poster work)
13	Phone Booth Project (painting and/or poster work)
14	Midway Discussion/Phone Booth Project (painting and/or poster work)
15	Phone Booth Project (painting and/or poster work)
16	None

2018年度シラバス

科目名:Seminar Ⅲ	担当者:高　文軍	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	4
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	必須

授業概要と方法	
授業の到達目標	
授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修	
評価方法	
教科書	参考図書
その他(学生へのアドバイス、連絡手段)	

01	
02	
03	
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

2018年度シラバス

科目名:Seminar Ⅳ	担当者:石渡　雅之	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	4
受講者制限:This course requires students to use their computers		単位数	1
		必須.選択	必須

授業概要と方法
This course is related to ability to use critical analysis based on the acquired knowledge and to offer logical messages to the globalised societies mentioned in SLADE diploma policy. This seminar covers the various field of Language Teaching and Education Theories for Junior or High Schools in Japan. Students will continue to make their Seminar Portfolio of different documents. Students will research on an area of language teaching method that interests them. Students will also be required to write a Holistic Reflection of the 4 years in SLADE.

授業の到達目標
Upon successful completion of this course, students will be able to....a. Identify and explain their ideas for a major thesis or in-depth paper.b. Conduct their own independent research.c. Use some teaching methods which interest them in language classes.d. Make effective materials for language learning classes.e. Use writing and bibliographic conventions appropriate to an academic content.

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
Students need to master high standard of English proficiency to go to their practice teaching. Through their practice teaching, students need to learn how to use teaching methods effectively in Japanese schools. Students always should be keen on educational issues and on the content of New Course of Study.

評価方法
Research paper -1000 words or more (50%), SLADE Holistic Reflection in English 1000 words and 2500 letters in Japanese. Participation-preparation for presentation, actively doing tasks (30%) , topic choice (20%)

教科書	参考図書
Some resources will be provided by the teacher.	Needed information will always be introduced by the teacher.

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Try to be organised by showing responsibilities as an educational topic based seminar student.Office: 7311

01	Course Overview
02	My Plan check, Revision of Resource Bank of teaching methods dictionaries
03	Revision of Resource Bank Reflective Report
04	Revision of In-depth paper comparing 3-5 teaching method books
05	Revision of Journal of Making a Teaching Plan for Junior or High school Classes in Japan
06	4th draft of research paper due
07	4th draft Holistic Reflection due
08	Seminar Portfolio TOC, word counts and references check
09	5th draft of research paper
10	Submit Thesis (final)
11	Interview Preparation
12	Thesis handed back, Seminar Portfolio revision
13	Graduation Guest Lecture
14	Submit Seminar Portfolio (revised) and e-versions
15	Graduation Presentation and Interview
16	None

2018年度シラバス

科目名:Seminar Ⅳ	担当者:井川　恵理	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	4
受講者制限:PC use is required.		単位数	1
		必須.選択	必須

授業概要と方法
This course is related to 'ability to use critical analysis based on the acquired knowledge and to offer logical messages to the globalized societies' mentioned in SLADE diploma policy. Course Description:This seminar covers the preparation for Graduation Thesis/Seminar Portfolio as well as British Studies.General Approach: Students will read the above book and discuss the related topic, prepare several drafts for graduation research and make a presentation. Class members are required to discuss other member's research content after the presentation.

授業の到達目標
Upon successful completion of this course, students will be able toa. Understand how the questions and hypothesis are important in the academic paper.b. Understand how quotations and notes with sources are important in the academic paper.c. Develop their English writing skills.d. Present their research in a professional manner both orally and in writing (in English and Japanese).

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
1)For Graduation Thesis, students are expected to prepare the draft during summer holiday after Seminar III. Each student is required to prepare for the handout before presentation. 2) 2 hours of activity outside the class is required.

評価方法
1. Active Participation in Class (being on time to class, actively listening to others, discussing the issue (30%) 2. Graduation Research Preparation and Presentation (40%)3. Revision of Holistic Reflection (15%)4. Graduation Research Introduction in Japanese and English (15%)

教科書	参考図書
	J.K. Rowling, _Harry Potter and the Philosopher's Stone_ (Bloomsbury 1997)

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Eri Ikawa's office is 7310. Contact e-mail address will be given in class.

01	Introduction, explanation of the course schedule, My Plan
02	My Plan and Registration Check, Confirmation of the format of graduation thesis / portfolio
03	Learn from the SLADE Graduates' Works
04	SLADE holistic reflection revision, Preparation for the Introduction
05	Thesis Research Presentation and Discussion (1) Member 1 & 2
06	Thesis Research Presentation and Discussion (2) Member 3 & 4
07	Thesis Revision of the Content (Format)
08	Revision of the Thesis Content (Notes and References), Final draft submission
09	Final draft revision
10	Submit Graduation Research (Final)
11	Interview Preparation
12	Final Graduation Research handed back: Revision
13	Graduation Lecture
14	Submit Revised Graduation Research
15	Graduation Research Presentation and Interview
16	None

2018年度シラバス

科目名:Seminar Ⅳ	担当者:根尾　文彦	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	4
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	必須

授業概要と方法
This course is related to the 'ability to use critical analysis based on the acquired knowledge and to offer logical messages to the globalized societies' mentioned in SLADE diploma policy. This seminar covers the broad field of Tourism and related to the diploma policy of an ability to contribute to the globalized society with the acquired information literacy necessary for the present societies. Students will decide the theme of Graduation thesis and start research. Instructor will work with students for research and writing with PC. Students are expected to go out for fieldwork and research by themselves on the theme.

授業の到達目標
Upon successful completion of this course, students will be able to :1. Understand how to research graduation topics2. Understand deep knowledge about graduation topics3. Understand how to write graduation thesis

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
Students are asked to read newspapers every day to get more information about society.

評価方法
1. Research of graduation topics 60%　2. Submission of draft graduation topics 20% 3. Seminar Learning Portfolio 20%

教科書	参考図書
None	It depends on each thesis and talk about it in classes.

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Contact　neo@ohkagakuen-u.ac.jpRoom　　7303

01	Course Overview; My plan
02	Research and Writing on topics 8, My plan finalized;Registration check
03	Research and Writing on topics 9
04	Research and Writing on topics 10
05	Research and Writing on topics 11
06	Research and Writing on topics 12
07	Submit Graduation Thesis (Portfolio) : 1st draft
08	Revision Graduation Thesis (Portfolio)
09	Revision Graduation Thesis (Portfolio)
10	Submit final Graduation Thesis (Portfolio)
11	Interview Preparation
12	Thesis (Portfolio) back;Seminar Thesis(Portfolio)
13	Graduation Guest Lecture Event
14	Submit Seminar Graduation Thesis (Portfolio) and e-versions, draft of Interview/Speech interviewPresentaion
15	Graduation Presentation and Interview
16	None

2018年度シラバス

科目名:Seminar Ⅳ	担当者:Leslie Chivers	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	4
受講者制限:Mac PC required		単位数	1
		必須.選択	必須

授業概要と方法
This course is related to ability to use critical analysis based on the acquired knowledge and to offer logical messages to the globalized societies mentioned in SLADE diploma policy. This seminar covers the broad field of Language Learning and Literacy (learning to read) for young learners. Students will continue to make and revise their Seminar Portfolio of different documents. Students will continue to research an area of literacy education that interests them. The production of the students' original children's picture book will continue with galley proofreading. Final galley to be printed.

授業の到達目標
Upon successful completion of this course, students will be able to….a. Continue to conduct their own independent researchb. Develop their English writing skillsc. Develop skills in proofreading and revisingd. Use writing and bibliographic conventions appropriate to an academic contexte. Reflection on their overall learning

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
Be organized - prepare and complete tasks early. Bring your materials to class each week. Set your goals and make a plan to complete them. Be responsible for your own time management and achieving your goals.

評価方法
1. Participation - being on time to class, bringing materials, and actively doing tasks, using English in class (30%)2. Seminar Research continued and revised (25%)3. Final Children's Picture Book (25%)4. Seminar Portfolio including Introduction in Japanese and English (20%)

教科書	参考図書
Handouts will be given	Other course materials will be available on Moodle and online.

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Mac computer required. Access to Moodle site required. There are no prerequisites for this course. Teacher's room 7303. Email: To be advised in class.

01	Course Overview, My Plan
02	My Plan finalized; Registration check
03	Revision of Resource Bank and Reflective Report due; Proofreading of 1st galley of original CPB
04	Revised research paper comparing and evaluating 2 - 4 children's picture books due
05	Proofreading of 2nd galley of original CPB
06	4th draft of (1000 word) research paper due; Send children's picture book for final printing
07	4th draft Holistic Reflection due; Final printed copies of original CPB
08	Seminar Portfolio TOC, word counts and references check
09	5th draft of (Final 1000 word) research paper; Final draft of Journal of Making a CPB Journal due
10	Submit Seminar Portfolio (Final)
11	Interview Preparation
12	Final Portfolio handed back: Seminar Portfolio revision
13	Guest Lecturer for Graduation
14	Submit Revised Seminar Portfolio and e-versions
15	Graduation Presentation and Interview
16	No class

2018年度シラバス

科目名:Seminar Ⅳ	担当者:Donovan Clarke	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	4
受講者制限:Mac computer required		単位数	1
		必須.選択	必須

授業概要と方法
Overview and Methods:This course is related to using critical analysis based on knowledge acquired and to contribute to a globalized society mentioned in SLADE's diploma policy.Seminar Ⅳ is a continuation of Seminar I, II, and III and is a required course for all 4th year students. This course covers the broad area of international relations, current affairs and business. Other topics of this seminar include - Current world and national issues and events; business issues, culture and events. Students will continue to research and work independently on their topics. This course continues with research and activities for a seminar portfolio. This semester will focus more on practical education in business or international relations.General Method: This is a research, discussion and action based seminar. Students need to come to class prepared to discuss topics and events happening in the world each week or with their project tasks finished. In class, all students will actively take part in the project and learn from each other. Students are required to finish with all planning for the seminar project and put it into practice. Students are required to rewrite their final research paper(s) on their topic(s). They will also write a holistic reflection on their four years of learning at Ohkagakuen University. The opportunity for a seminar trip will be based on a mutually agreed upon theme related to the course subject.

授業の到達目標
Goals/Objective of Course: Upon successful completion of this course, students will be able to….1. understand how some current affairs, international relations and global politics affects their lives2. understand how some current affairs, international relations and global politics affects business around the world. 3. use developed skills to relate to international events, people from different cultures and business settings4. research, plan and develop a project for practical experience in either business or international relations area. 5. present their project in a professional manner.

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
Study Requirements:Students need to do the homework and their project tasks to pass the course. Students will do Internet research for class, so students need to have access to the Internet and computer research skills. Students must be able to work with other students to participate in this class. Also, students need to actively express themselves to participate in class and take part in class activities.

評価方法
Evaluation Methods:Course Requirements (Major Assignments, Quizzes & Exams including Dates) In order to be successful in this course, students will need to complete the following:1. Actively participate in class25%2. Homework □ 20%3. Seminar project□ 40%4. Seminar project report 15%

教科書	参考図書
Textbooks: be supplied by the instructor	Reference materials: To be supplied by the instructor

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Other: (Advice to students, Contact information)There are no prerequisites for this course.Donovan Clarke's office is 7308, his office hours will be announced. His e-mail is clarke@ohkagakuen-u.ac.jp Any questions or concerns about the course should be discussed with Donovan.The Moodle site will be used to provide additional materials for students.

01	Course introduction and syllabus
02	Seminar project - summer review
03	Seminar project revision and manufacturing
04	Seminar project manufacturing
05	Seminar project manufacturing and marketing plan review
06	Seminar project marketing materials
07	Seminar project marketing materials
08	Seminar project execution
09	Seminar project review and correction
10	Seminar project report due 1st draft
11	Graduation research -Seminar project portfolio
12	Graduation research -Seminar project portfolio
13	Graduation Lecture
14	Graduation research -Seminar project portfolio revisions
15	Interview for GT/SP
16	none

2018年度シラバス

科目名:Seminar Ⅳ	担当者:都　恩珍	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	4
受講者制限:SeminarⅢを履修した者に限る。		単位数	1
		必須.選択	必須

授業概要と方法
本授業は、学芸学部ディプロマポリシーにある「修得した知識に基づいて、批判的思考ができ、グローバル化した社会に向けて論理的で創造的な発信ができる能力」と関連しています。韓国人の行動様式を知り、日本人との違いの原因を考えます。主に政治と日韓関係の現状や課題を理解します。毎週の韓国ニュースを一つずつ取り上げ、授業中に紹介しあい、情報を共有します。Skypeなど高度のメディアを利用して遠隔で行うことがあります。資料収集のための現地調査などを実施することがあります。

授業の到達目標
韓国文化の幅広いテーマについて理解を深めることができます。韓国語の資料やデータ、文献などを参考にしながら一部を韓国語で引用・作成します。論文を考察し、最終点検します。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
準備学修：テキストを読んでください。必要時間：約30分　事後学修：考察した論文の内容と取り上げられたニュースをまとめてください。必要時間：約１時間

評価方法
卒業論文関連作業についてのリフレクション20%　毎週のニュースプレゼン30%　　資料収集・整理・要約30%
授業への参加態度20%

教科書
現代韓国を知るための60章【第2版】石坂浩一・福島みのり（明石書店)

参考図書
授業中に提示します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
オフィスアワー：金曜日３限　連絡方法は授業中に提示します。　　諸事情により予定を変更することもあります

01	授業概要・履修計画 My planの作成と確認
02	履修計画My planの完成
03	FTA政策/流通産業、週間韓国ニュース、論文考察
04	企業の海外進出、週間韓国ニュース、論文考察
05	貧困の格差、週間韓国ニュース、論文考察
06	所得と家計、週間韓国ニュース、論文考察
07	冷戦と分断/冷戦の構造化、週間韓国ニュース、論文考察
08	民主化運動と市民社会/政権交代/憲法と政党、週間韓国ニュース、論文考察
09	南北問題/軍隊と徴兵、週間韓国ニュース、論文考察
10	ゼミポートフォリオ最終稿提出、週間韓国ニュース
11	面接・発表
12	ポートフォリオ返却、日韓関係/竹島と独島、週間韓国ニュース
13	卒業講演
14	ゼミポートフォリオ最終盤提出、デジタル版提出、最終面接準備
15	最終面接
16	なし

2018年度シラバス

科目名:Seminar Ⅳ	担当者:斎　孝則	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	4
受講者制限:This course requires students to use their computers.		単位数	1
		必須.選択	必須

授業概要と方法
This seminar will help realize the departmental goal 'to foster a person with broad liberal arts and logical and creative thinking faculty.' It is connected with 'Seminar III' in the curriculum tree. It covers the broad field of British literature, culture, people and so on. Also, it will cover the understanding of graduation research and so on. During the course of spring semester, we will continually have group learning. Also, we will at least two presentation sessions. One for Semester Portfolio. The other for graduation research. Feedback will be given through Moodle site to each student's assignment submission.

授業の到達目標
Students will be able to: A. grasp a basic idea British literature, culture, people and so on; B. get accustomed to come to class well prepared to discuss; C. learn how to discuss in English; D. have a basic knowledge of what graduation thesis is all about; E. acquire a basic technique of writing a passage.

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
1. Students are asked to observe basic manners of college students; 2. They are asked to set up a personal goal at the beginning; and at the end of semester, they are asked to assess how the goal is achieved through writing a semester reflection. *Since this is a one-credit course, students are asked to study for an hour per week out of class.

評価方法
1. Monthly report 25%; 2. Weekly Handout 25%; 3. Quizzes 20% 4. Semester Learning Portfolio 20%; 5. Presentation on Semester Learning Portfolio 10%

教科書	参考図書
Mark Twain, "The Adventures of Tom Sawyer", IBCパブリッシング株式会社	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Students are supposed to submit reflections through Moodle site; also, the instructor will present material through it, too. You can use my office hours on Monday and Friday.

01	Course introduction. Will go over the syllabus. Each student will set up her semester goal.
02	Start reading a textbook. How well prepared will be examined.
03	Learn how careful reading is beneficial. Start learning about research.
04	Realize how cultural understanding is drawn from reading children's book.
05	Seminar Trip
06	Learn how careful reading is beneficial, again. Learn about the way to do research.
07	Learn British culture through reading. Learn the tips for writing, again.
08	Midterm quiz will be given. Assess how the seminar has been carried on.
09	Learn how careful reading is beneficial, again. Learn again about the tips for writing.
10	Learn how cultural understanding is beneficial, again. Learn about the way to do research.
11	Learn what the British people is all about, again. Learn again about the tips for writing.
12	Learn how careful reading is beneficial, again. Learn about the way to do research.
13	Learn British culture through reading. Learn again about the tips for reading.
14	Learn how careful reading is beneficial, again. Learn again about the tips for writing.
15	Write semester reflection. Final quiz will be given.
16	None

2018年度シラバス

科目名:Seminar Ⅳ	担当者:Shannon Kiyokawa	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	4
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	必須

授業概要と方法
This course is related to the ability to use critical analysis based on the acquired knowledge mentioned in the SLADE diploma policy. It is a continuation of Seminar III. This seminar covers the broad field of women's domestic and global issues. The course focuses on deepening knowledge of chosen topics and working on seminar portfolio and writing skills. Students will continue to complete all the steps of the "Phone Booth Project". Students will read and view artifacts about women's domestic and global issues and/or NPO's/NGO's and respond to them in discussion and writing in order to build their seminar portfolio and complete steps in the "Phone Booth Project"

授業の到達目標
Upon successful completion of this course, students will be able to….a.Conduct their own independent researchb.Develop their English writing skills c.Develop their skills in critical thinkingd.Work together to complete a project

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
Be organized - prepare and complete tasks early. Bring your materials to class each week. Be responsible for your own time management and achieving your goals.

評価方法
1. Active Participation - (20%)2. "Phone Booth" Project (30%)3. "Phone Booth" Project Report (30%)4. Holistic Reflection (20%)

教科書	参考図書
Course materials will be provided by the teacher.	None

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Mac computer required. Access to SLADE site required. Shannon Kiyokawa's office is 7325; her office hours will be announced. Her e-mail is kiyokawa@ohkagakuen-u.ac.jp Any questions or concerns about the course should be discussed with Shannon.

01	Course Overview/ My Plan
02	My Plan finalized; Registration check
03	"Phone Booth Project" (update timeline, posters check)
04	"Phone Booth Project" (make posters)
05	"Phone Booth Project"(complete phone booth, post posters)
06	Holistic Reflection/"Phone Booth Project" report 1st draft due
07	Holistic Reflection 1st draft due; seminar portfolio TOC, references
08	"Phone Booth Project" report final draft due
09	Seminar Portfolio Check
10	Submit Seminar Portfolio (Final)
11	Interview Preparation
12	Portfolio handed back/ Seminar Portfolio revision
13	Graduation Guest Lecture Event
14	Submit Seminar Portfolio (Revised) and e-versions/Interview Presentation/Speech due
15	Graduation Presentation and Interview
16	None

2018年度シラバス

科目名:Seminar Ⅳ	担当者:高　文軍	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	4
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	必須

授業概要と方法	
授業の到達目標	
授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修	
評価方法	
教科書	参考図書
その他(学生へのアドバイス、連絡手段)	

01	
02	
03	
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

科目名:Graduation Research	担当者:Leslie Chivers,石渡　雅之,井川　恵理,根尾　文彦,Donovan Clarke,都　恩珍,斎　孝則,Shannon Kiyokawa	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	前期・後期
		配当学年	4
受講者制限:		単位数	4
		必須.選択	必須

授業概要と方法
This course is related to ability to use critical analysis based on the acquired knowledge and to offer logical messages to the globalized societies mentioned in SLADE diploma policy. The aim of this course is to involve the student in processing all the knowledge and skills they have gained in order to explore a specific in-depth topic in the field of Liberal Arts and their Seminar classes. Students will research areas of inquiry for human development. Through thesis research or projects, students will present their results in a scholarly and professional format. The graduation document will include a holistic reflection of their four years of study in liberal arts in both the language of their seminar and English. Students will communicate this knowledge in both spoken and written modes. The process of developing their graduation document is cyclical and conducted with the student’s seminar teacher.

授業の到達目標
Upon successful completion of this course, students will be able to….a.Research a topic of their interest independentlyb.Complete projects independently and within their seminar groupc.Evaluate ideas and opinions and bring learning togetherd.Write, revise, edit and proofread a research paper, other required documents and a 4-year SLADE holistic reflectione.Understand and use basic conventions of formal academic writingf.Present and talk in detail about the content of their graduation document(s).

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
Students are required to prepare for the graduation research based on the following schedule1.　Midway Discussion Week 14 of Spring Semester2.Completed 1st draft of Graduation Documents due - Week 7 of Fall (to Seminar teacher)3.Final Submission of Graduation Documents due - Week 10 of Fall (to office)4.Revised Submission of Graduation Documents due - Week 14 of Fall (to office)5.Oral Examination by Examining Committee based on Graduation Documents - Week 15 of FallThe graduation document must be 6500 English words (or 16,250 Japanese moji) in length and word count may not include Title page, Contents page, References or Appendices (except those made by the student in research). It must be written in a formal, academic style, with APA or MLA formatting and conventions. The document should be typed, with 450 words per A4 page approximately, in Times New Roman 12 pt. font and double line spacing. Headings and data such as tables and graphs should be displayed as appropriate.

評価方法
1.Final Graduation Document = 75% (includes 4 year SLADE holistic reflection in both English and Japanese 20%)2.Oral Examination = 25%　The Graduation Document will be evaluated on the followingContent = 20%

Viewpoint = 20%Structure = 15%Mechanics = 10%References/Style = 10%　The Oral Examination will be evaluated on the following5-10 minute oral presentation on thesis or portfolio = 15%　5-10 minute interview, critical evaluation and reflection on their graduation research and results = 10%

教科書	参考図書
Guide Book for Seminar and Graduation Research	Students should consult with their seminar teacher and independently find information and resources.

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Contact: Your seminar teacher will provide his/her contact information. Students should be prepared to revise and refine their learning and research process and edit their graduation documents several times in accordance with guidance from their seminar teachers. Students should also be well organized and hand documents in on time. See the Graduation Guidebook for more details.

01	
02	
03	
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

2018年度シラバス

科目名:教職実践演習（中・高）	担当者:石渡　雅之,柳田　綾,斎　孝則	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:中学校・高等学校教諭1種免許状（英語）		開講時期	通年
		配当学年	4
受講者制限:４年次に教育実習実施が認められた者		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
本授業は、学芸学部ディプロマポリシーにある「グローバル化した社会に向けて論理的で創造的な発信ができる能力」を教育分野で発揮すことを大きな目標として運用されるものである。教育実習、介護等体験、あるいは履修した各教職課程関連の授業を通して学んだ事項や資料をもとに、明確な意見を表明することで「教育現場に携わるものとしての意識」がきちんと身についているか確認していく。本授業は演習形式を原則／中心としており、発表やグループ・ディスカッション、ロールプレイ、協同調査により諸教育問題・諸教育関連の関心を共有することを主な狙いとする。さらにはレポートを書くことによって、専門職としての教員に必要な知識や、心構えを自発的に身につける場としたい。

授業の到達目標
a. 教職課程の個々の科目の履修（教育実習、及び介護等体験を含む）により修得した専門的な知識・技能を再確認することができる。b. 教員としての使命感や責任感、教育的愛情等を持って、学級や教科を担任しつつ、教科指導、生徒指導等の職務を著しい支障が生じることなく実践できる資質・能力が身についているかどうか再確認することができる。c. 新学習指導要領を分析しながら教育課程における各領域の実践方法を考えることができる。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
教育実習の前後も本授業は設定されている。真剣な教育実習を実施するために、また真剣に教員を目指すものとして、本授業を受けた後に１年次から学んできた全ての教職に関係する授業内容をまとめ、そこでの学びをどのように教育実践にいかすべきか？常に資料を活用しながら考え、教師を志す強い意志を持続させることが必要である。

評価方法
①　授業中の小エッセイ（教育評論）　10%②　各調査・研究課題に対するレポートならびに履修カルテの作成　40%　③　学期末のレポート　50%

教科書	参考図書
２０１８年度版　教員採用試験Basic定着シリーズ４　よくわかる中高英語	文部科学省　中学校／高等学校学習指導要領

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
学科で定める諸条件を満たし、当該年度に教育実習に行くことが許可されている者。教職課程履修に強い意欲と責任感を示す者。状況によっては本授業履修に当たり、学科教職課程委員会、ならびに学科教育実習委員会の判断が必要とされる場合がある。研究室：７３１１（石渡）７３０９（柳田）７３２６（斎）

01	はじめに　−この授業の目的と前期の進め方（教職実践演習とは何か？）−＜担当：石渡＞
02	講義①及び演習①−教職ポートフォリオ、教職履修カルテについて−＜担当：石渡＞
03	ディスカッション①及び講義①−現在の教育問題を考える１−学習指導要領の変遷が意味するもの＜担当：石渡＞
04	模擬授業及び解説①−学習指導要領を考える１−（理想的な中学校英語授業の学習指導案とは？）＜担当：石渡＞
05	模擬授業及び解説②− 学習指導要領を考える２−（理想的な中学校英語授業の教材とは？）＜担当：石渡＞
06	模擬授業及び解説③−学習指導要領を考える３−（理想的な高等学校校英語授業の学習指導案とは？）※中間アンケート実施予定　＜担当：石渡＞
07	模擬授業及び解説④− 学習指導要領を考える４−（理想的な高等学校英語授業の教材とは？）＜担当：石渡＞
08	模擬授業及び解説⑤−新学習指導要領を考える５−（理想的な中学校道徳授業の進め方）＜担当：石渡＞
09	模擬授業⑥−新学習指導要領を考える−（理想的な中学校道徳授業の教材とは？）＜担当：石渡＞
10	調査①−早期英語教育（小学校英語教育）の実態−＜担当：石渡＞
11	調査・結果発表①−早期英語教育では何を教えるのか？−＜担当：石渡＞
12	ディスカッション③−教育実習を通して見えてきたもの−学校教育と諸問題～教師の視点から～＜担当：石渡＞
13	ディスカッション④及び講義②−教育実習分析１−（理想的な中学校英語授業分析の視点とは？）＜担当：石渡＞
14	ディスカッション⑤及び講義③−教育実習分析２−（理想的な高等学校英語授業の視点とは？）＜担当：石渡＞
15	ディスカッション⑥及び講義④−望ましい学校教育のあり方について考える−＜担当：石渡＞ 中学校新学習指導要領では何が求められているのか？
16	後期授業の進め方説明、後期調査①教育実習を介護等体験にどう生かすのか？＜担当：斎・柳田＞
17	後期講義①及び調査②−望ましい介護等体験のあり方について（特別支援学校調査）＜担当：柳田・（専門家による講話を予定）＞
18	後期発表①−介護等体験では何を学ぶのか？（特別支援学校）＜担当：柳田＞
19	後期講義②及び調査③−望ましい介護等体験の在り方について（老人福祉施設調査）＜担当：柳田＞
20	後期発表②−介護等体験では何を学ぶのか？（老人福祉施設）＜担当：柳田＞
21	後期講義③及びディスカッション①−教育実習を振り返る１−（理想的な高等学校校英語授業とは？）＜担当：柳田＞
22	後期ディスカッション②− 教育実習を振り返る２−（学校教育と諸問題～生徒の視点から～）＜担当：柳田＞
23	後期ディスカッション③− 教育実習を振り返る３−（学校教育と諸問題～保護者の視点から～）＜担当：柳田＞
24	後期ディスカッシション④−教育実習を振り返る４−（生徒指導の意味とは何か？）＜担当：柳田＞
25	後期講義③及びディスカッション⑤−教育現場の問題を考える１−（不登校といじめ）−＜担当：柳田＞
26	後期講義④及びディスカッション⑥−教育現場の問題を考える２−（教師の社会性と対人関係構築能力）＜担当：斎＞
27	後期講義⑤及び調査④−望ましい発音指導のあり方とは＜担当：斎＞

28	後期ロールプレイ①及び発表③-望ましい発音指導の実際＜担当：斎＞
29	後期ロールプレイ④及び調査⑤-英語教師に必要な英語力とは何か？－１＜担当：斎＞
30	後期講義⑥及びディスカッション⑦-総括-英語教師に必要な英語力とは何か？－２＜担当：斎＞
31	なし

科目名:Communicative English Ⅰ	担当者:Donovan Clarke Tony Ryan	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:中学校・高等学校教諭1種免許状（英語）		開講時期	前期
		配当学年	3
受講者制限:Mac computer required		単位数	1
		必須.選択	必須

授業概要と方法
Overview and Methods:This course is related to acquiring practical ability to communicate in English as mentioned in SLADE's diploma policy.Communicative English I is a required course for all 3rd year students. This course is a communicative course designed to increase students' ability to read, write, listen and speak fluently and accurately in English about world issues. Students will need to think critically and speak naturally in English with their teacher and classmates. Students will need to participate during class discussions, ask questions, and actively work on improving their communication skills. General Methods: Students will study a different world issue in two-week cycles. The instructor will introduce students to the topic in the first week. Students will research the topic for homework and will discuss their own research on the topic in pairs or small groups in the next class. The research homework will be handed into the teacher on the last day of class. Students will need to read several news articles for these classes. There will be a mid-term and a final presentation on world issues of the student's choice. Students will write a Class Reflection Portfolio

授業の到達目標
Goals/Objective of class: In this course, students can….a. broaden their understanding of the world, b. improve communicative skills to read, write, listen and speak and critically think about current world issues.c. share their opinions, listen to others' opinions and give logical reasons for their opinions to improve their learningd. build their critical thinking skills.

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
Study Requirements:Come to class and speak freely. This is a great opportunity to speak in English about world topics! Students will do Internet research for some class, so students need to have access to the Internet and computer research skills. Doing the internet research homework will take time at first, but students will get better at it over the semester and the time needed to do the homework will become less. Students must be able to discuss with other students in pairs or groups to participate in this class.

評価方法
Evaluation Methods:Course Requirements (Major Assignments, Quizzes & Exams) Actively Participate in Class:40% Homework:25% Presentation:25 % (1st 10% and 2nd 15%) Class Reflection Portfolio:10 %

教科書	参考図書
Textbooks: John Spiri (2015) Global Stories. Global Stories Press, ISBN: 978-4-905426-34-9	Reference Books and Other Course Materials: To be supplied by the instructor

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Other: (Advice to students, Contact information)There are no prerequisites for this course.Donovan Clarke's office is 7308, his office hours will be announced. His e-mail is clarke@ohkagakuen-u.ac.jp The other instructor's contact information will be supplied laterThe Moodle site will be used to provide additional materials for students.

01	Course introduction and syllabus
02	Unit 1 - Homelessness
03	Unit 1 - Homelessness - Internet research
04	Unit 2 - Poverty
05	Unit 2 - Poverty - Internet research
06	Unit 3 - Natural Disasters
07	Unit 3 - Natural Disasters - Internet research
08	Mid-term presentation
09	Unit 4 - Child Labor
10	Unit 4 - Child Labor - Internet research
11	Unit 5 - Sweatshops
12	Unit 5 - Sweatshops - Internet research
13	Unit 6 - Landmines
14	Unit 6 - Landmines - Internet research
15	Global Issues presentations and Class Reflection Portfolio (CRP)
16	none

科目名:Communicative English Ⅱ	担当者:Donovan Clarke, Tony Ryan	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:中学校・高等学校教諭1種免許状（英語）		開講時期	後期
		配当学年	3
受講者制限:Mac computer required		単位数	1
		必須.選択	必須

授業概要と方法
Overview and Methods:This course is related to acquiring practical ability to communicate in English as mentioned in SLADE's diploma policy.Communicative English II is a required course for all 3rd year students. This course is a communicative course designed to increase students' ability to read, write, listen and speak fluently and accurately in English about world issues. Students will need to think critically and speak naturally in English with their teacher and classmates. Students will need to participate during class discussions, ask questions, and actively work on improving their communication skills. General Methods: Students will study a different world issue in two-week cycles. The instructor will introduce students to the topic in the first week. Students will research the topic for homework and will discuss their own research on the topic in pairs or small groups in the next class. The research homework will be handed into the teacher on the last day of class. Students will need to read several news articles for these classes. There will be a mid-term and a final presentation on world issues of the student's choice. Students will write a Class Reflection Portfolio.

授業の到達目標
Goals/Objective of class: In this course, students can….a. broaden their understanding of the world, b. improve communicative skills to read, write, listen and speak and critically think about current world issues.c. share their opinions, listen to others' opinions and give logical reasons for their opinions to improve their learningd. build their critical thinking skills.

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
Study Requirements:Come to class and speak freely. This is a great opportunity to speak in English about world topics! Students will do Internet research for some class, so students need to have access to the Internet and computer research skills. Doing the internet research homework will take time at first, but students will get better at it over the semester and the time needed to do the homework will become less. Students must be able to discuss with other students in pairs or groups to participate in this class.

評価方法
Evaluation Methods:Course Requirements (Major Assignments, Quizzes & Exams) Actively Participate in class:40% Homework:☐ 25% Presentation:☐ 25 % (1st 10% and 2nd 15%) Class Reflection Portfolio:10 %

教科書	参考図書
Textbooks: John Spiri (2015) Global Stories. Global Stories Press, ISBN: 978-4-905426-34-9	Reference Books and other Course Materials: To be supplied by the instructor

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Other: (Advice to students, Contact information)There are no prerequisites for this course.Donovan Clarke's office is 7308, his office hours will be announced. His e-mail is clarke@ohkagakuen-u.ac.jp The other instructor's contact information will be supplied laterThe Moodle site will be used to provide additional materials for students.

01	Course introduction and syllabus
02	Unit 7 - Child Soldiers
03	Unit 7 - Child Soldiers - Internet research
04	Unit 8 - Refugees
05	Unit 8 - Refugees - Internet research
06	Unit 9 - Population
07	Unit 9 - Population - Internet research
08	Mid-term presentation
09	Unit 10 - Native Peoples
10	Unit 10 - Native Peoples - Internet research
11	Unit 11 - Bullying
12	Unit 11 - Bullying - Internet research
13	Unit 12 - Depression
14	Unit 12 - Depression - Internet research
15	Global Issues presentations and Class Reflection Portfolio (CRP)
16	none

科目名:Academic Writing Ⅰ	担当者:Melissa Senga , Rebecca Jackson	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	3
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
This course is related to practical ability to communicate in English in the globalized societies mentioned in SLADE diploma policy. The aim of this course is to introduce students to the research process. Students will develop knowledge about what kinds of research papers there are and what is involved in researching and writing a research paper. Additionally, they will learn how to narrow their topic and use formal academic language.

授業の到達目標
Upon successful completion of this course, students will be able to….1.□omplete the steps of pre-writing and gathering information 2.□rite accurate sentences and basic paragraphs using formal academic language

3.□nderstand the function and parts of a thesis statement4.□se in-text citations and references accurately5.□roduce a research paper of 750-1000 words

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
Students must bring their text book to each class and are required to hand in work on time. Penalties apply for late work. Students will understand that research is a cycle and that repeated editing is an important part of producing a good quality research paper. Students will be required to write in their own voice, on a topic of interest to them, based on their seminar field. Plagiarism or on-line translations will not be accepted and there will be penalties.

評価方法
1.□articipation 30%2.□omework: 30%3.□esearch paper: 40%

教科書	参考図書
Basic Steps to Writing Research Papers Student Book 2nd edition (Cengage), Kluge, D. & Taylor, A.	Research resources should come from a range of sources, not only online e.g. the library, printed books, encyclopedias and journals.

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Be organized, prepare and finish tasks early. Bring ALL your materials in a file each week. Set your goals and make a plan to complete them. Contact: To be advised in class.

01	Course Overview and explanation of requirements Unit 1 What is a research paper? Unit 2 Topics
02	Unit 3 Research, Conferencing on Topics as needed
03	Unit 4 The Beginning Thesis Statement, Conferencing on Thesis statements as needed
04	Unit 5 The Working Outline, Conferencing as needed
05	Unit 6 Revising the Thesis Statement and Working Outline
06	Unit 7 Writing the First Draft
07	Unit 8 Writing the Title; Unit 9 Writing the Introduction
08	Unit 10 Support, Accuracy and Logic; Unit 11 Writing the Body, Draft 1 due (peer reading 1)
09	Unit 12 Writing the Conclusion Unit 13 Avoiding plagiarism: Citing and quoting sources, Draft 1 handed back, Conferencing
10	Unit 14 Writing the References List
11	Unit 15 Evaluating and Rewriting, Draft 2 due, Peer reading 2
12	Draft 2 returned, Conferencing
13	Draft 3 due (peer reading 3)
14	Draft 3 returned to students, Conferencing
15	Unit 19 An End and a Beginning, Final Draft due, Self-evaluation
16	

科目名:Academic Writing Ⅱ	担当者:Leslie Chivers	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	3
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
This course is related to practical ability to communicate in English in the globalized societies mentioned in SLADE diploma policy. The aim of this course is to further develop research writing skills which students have begun in Academic Writing I. Students will continue to improve their English academic writing skills and knowledge. The research paper students write in this class may form part of their graduation thesis or portfolio.

授業の到達目標
Upon successful completion of this course, students will be able to…. 1. complete the steps of pre-writing and gathering information 2. write accurate sentences and basic paragraphs using formal academic language

3. understand the function and parts of a thesis statement 4. use in-text citations and references accurately 5. produce a research paper of 1000 or more words (full thesis = 3000-4200 words)

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
Students must bring their text book to each class and are required to hand in work on time. Penalties apply for late work. Students will understand that research is a cycle and that repeated editing is an important part of producing a good quality research paper. Students will be required to write in their own voice, on a topic of interest to them, based on their seminar field. Plagiarism or on-line translations will not be accepted and there will be penalties.

評価方法
1. Participation 30% 2. Homework: 30% 3. Research paper: 40%

教科書	参考図書
Basic Steps to Writing Research Papers Student Book 2nd edition (Cengage), Kluge, D. & Taylor, A.	Research resources should come from a range of sources, not only online e.g. the library, printed books, encyclopedias and journals.

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Be organized, prepare and finish tasks early. Bring ALL your materials in a file each week. Set your goals and make a plan to complete them. Contact: To be advised in class.

01	Course Overview and explanation of requirements; Unit 1 What is a research paper? Unit 2 Topics
02	Unit 3 Research, Conferencing on Topics as needed
03	Unit 4 The Beginning Thesis Statement, Conferencing on Thesis statements as needed
04	Unit 5 The Working Outline, Conferencing as needed
05	Unit 6 Revising the Thesis Statement and Working Outline
06	Unit 7 Writing the First Draft
07	Unit 8 Writing the Title; Unit 9 Writing the Introduction
08	Unit 10 Support, Accuracy and Logic Unit 11 Writing the Body, Draft 1 due (peer reading 1)
09	Unit 12 Writing the Conclusion Unit 13 Avoiding plagiarism: Citing and quoting sources, Draft 1 handed back, Conferencing
10	Unit 14 Writing the References List
11	Unit 15 Evaluating and Rewriting Draft 2 due, Peer reading 2
12	Draft 2 returned, Conferencing
13	Draft 3 due (peer reading 3)
14	Draft 3 returned to students, Conferencing
15	Unit 19 An End and a Beginning, Final Draft due, Self-evaluation
16	なし

2018年度シラバス

科目名:Oceanian Studies	担当者:成田　弘成	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	3
受講者制限:None		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
This class is based on the diplomapolicy of our university. The aim of this class is for students to learn several aspects of Oceania areas through case studies, mainly focusing on Australia. This area is close to Japan, so we need to learn the historical relationship and cultural differences. This class will be taught using a combination of lecture, and in-class discussions to check the meaning and understanding of the material given in the class.

授業の到達目標
Upon successful completion of this course, students will be able to (a) understand the importance of Oceanian culture, (b) explain what the ethnic groups in Oceania face to, (c) think how to develop the relationship between Japan and Australia , etc.

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
This course gives the material for students to consider. Therefore, students will need to pre-read class material to prepare questions and opinions on the subject matter to share in class discussions. Post class students will need to reflect, re-read material for a better understanding, and write their weekly reflection. Then students will have to study for at least 2 hours in their preparaton for class, and also they will do for at least 2 hours in the review and homework.

評価方法
In order to be successful in this course, students will need to complete the following:(1)pass the quizzes 20%, (2)complete homework from the distributed papers 20%(3)give the presentation of one selective topic during the semester 20%. (4) successfully write a report 40%

教科書	参考図書
None	All materials will be provided

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Hironari Narita’s office is 3rd floor 7th building. The office hours will be from 12:30 to 13:00 Monday.

01	The Scope of Oceania
02	First Contact in Australia
03	Aborigines & Stolen children
04	White Australia
05	Immigrants in Australia
06	Asia Immigrants in Australia
07	Refugee issue in Australia
08	The “Bush” as local identity
09	Multiculturalism
10	Sydney Opera House
11	Ayers Rock is Aborigine’s’ Sacred place
12	World heritage in Australia
13	Australian food culture
14	Women in Australia
15	Youth culture in Australia
16	None

2018年度シラバス

科目名:British Studies	担当者:井川　恵理	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	講義
免許・資格:中学校・高等学校教諭1種免許状（英語）		開講時期	前期
		配当学年	3
受講者制限:PC use is required.		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
This course is related to 'the ability to understand other cultures and use critical thinking' mentioned in SLADE diploma policy. It aims to introduce students to the understanding of the present and past of United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland (the U.K.), its culture, society, religions and the characteristics of four nations which form the U.K. The course consists of lecture by the instructor, presentations by the students and discussion. Each student is to choose the topic related to a nation and history of the area.

授業の到達目標
Students will be able to: 1. understand the academic vocabulary associated with the U.K.. 2. explain the difference of 'the United Kingdom', 'Great Britain', 'England' and 'Igirisu'. 3. explain the basic characteristics, languages and cultures of England, Wales, Scotland, Northern Ireland and a neighbour country, the Republic of Ireland.

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
1. Keep on being interested in news of the United Kingdom.2. Prepare for your presentation using PC.3. Students are expected to study for 4 hours per week out of class.

評価方法
Discussion and Reflection 30%, Presentation 20%, Mid-Term Quiz 25%, Summary Quiz 25%

教科書	参考図書
Handouts will be given in the class.	Derek Sellen, The British Isles (Black Cat Publishing, London, 2011)教職課程履修者：「中学校学習指導要領」「高等学校学習指導要領」

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Office: 7310.Office hours and contact e-mail address will be informed in class.

01	Introduction: Images of the United Kingdom or 'Igirisu' in Japan
02	Basic knowledge on the U.K.--Four nations and the Current Issues
03	Symbols of the U.K.--Union Jack and the Formation of the United Kingdom
04	Languages and Cultures of Four Nations (1) England, London
05	Languages and Cultures of Four Nations (2) England, Other areas
06	Languages and Cultures of Four Nations (3) Wales
07	Languages and Cultures of Four Nations (4) Scotland
08	Languages and Cultures of Four Nations (5) Northern Ireland
09	The United Kingdom and Four Nations -- Mid-Term Quiz
10	Characteristics of the Nations through Sports (1) Football, Cricket
11	Characteristics of the Nations through Sports (2) the Olympics
12	Coal Mines and the U.K. Society -- Film "Billy Elliot" (1) Coal Mines and Miners
13	Coal Mines and the U.K. Socirty -- Film "Billy Elliot" (2) Thatcherism
14	The U.K. Society and Social Classes
15	Sports, Coal Mines, Classes -- Summary Quiz
16	None

2018年度シラバス

科目名:企業研究　Ⅰ	担当者:森田　優己	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	3
受講者制限:後期における「企業研究Ⅱ」を受講すること		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
この科目は、学芸学部ディプロマポリシーに掲げる「グローバル化した社会に向けて論理的で創造的に発信できる能力」を育成することを目的としている。この授業では、企業等に雇用されて働くことを前提として、就職活動に必要な情報収集の仕方を学ぶとともに、自分の職業適性について分析する。2回のレポートが課される。

授業の到達目標
就職活動の流れを理解することができるようになる。また、企業とは何かを理解し、自己分析によって自分の適性にあった業種や職種を選択することができるようになる。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
指示まちではなく、常に自分で新聞・テレビ・雑誌、インターネット等で情報収集する必要がある。事前準備と振り返り作業として、毎週、最低4時間以上の授業外学修が必要である。また、夏季休業中には、企業の1日のインターンシップに参加することが求められる（「企業研究Ⅱ」の評価項目となっている）。

評価方法
授業への参加態度40%、2回のレポート提出60%

教科書	参考図書
使用せず	授業中に指示する

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
授業時間外での質問は、オフィスアワーに研究室で受け付ける。この時間以外については、メールでアポイントをとること。オフィスアワーとメールアドレスは、授業時間内に開示する。

01	オリエンテーション　　なぜ、企業研究が必要か？労働市場という概念と市場競争を意識する
02	女子学生の就職状況と就職活動の流れ　外部講師
03	企業研究の基礎知識　　企業とは何か？　業界とは何か？　職種とは何か？
04	企業研究では、どんな情報を調べるのか、何を使って調べるのか？
05	企業研究の事例提示　　企業は戦略をたてて活動している。そこで求められるスキルとは？
06	ＰＣを使って企業の情報を検索する。自分で調べてみよう。（次週、レポート提出）
07	夏季インターンシップ説明会　（木曜５限に振り替え予定）
08	自己分析の必要性と社会的スキルチェックの実施
09	やってみよう自己分析と意見交換、他人からみた自分は？
10	自己分析からSWOT分析へ
11	夏季休業中にインターンシップに参加する企業へむけたエントリーシートを作成しよう①
12	夏季休業中にインターンシップに参加する企業へむけたエントリーシートを作成しよう②
13	雇用されて働くためのマナー講座　外部講師（次週までにレポート提出＊メール添付）
14	マナー講座のまとめ＋α　　メールの書き方　ＳＮＳとの付き合い方など
15	まとめ　夏季休業中の課題（夏季インターンシップへの参加、一般常識・ＳＰI問題集）の確認
16	なし

2018年度シラバス

科目名:企業研究 Ⅱ	担当者:森田　優己	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	3
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
この科目は、学芸学部ディプロマポリシーに掲げる「グローバル化した社会に向けて論理的で創造的に発信できる能力」を育成することを目的としている。この授業では、「企業研究Ⅰ」で身に付けた企業研究方法や自己分析が、インターンシップ研修によってどのように活かされたのかの検証を行い、学生各自の課題を明確化する。また、外部講師を招いて就職活動の実践的スキル獲得のための訓練と社会人としての責任と義務について学ぶ。３回のレポート提出が課される。

授業の到達目標
就職活動に役立つ実践的なスキルの習得方法を身につけることができる。それと同時に、社会人としてのマナーや就職後のキャリアパスについての考え方を身につけることができる。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
指示まちではなく、常に自分で新聞・テレビ・雑誌、インターネット等で情報収集する必要がある。事前準備と振り返り作業として、毎週、最低4時間以上の授業外学修が必要である。

評価方法
授業への参加態度40%、夏季インターンシップ参加報告レポート20%、その他2回のレポート40%。

教科書 使用せず	参考図書 授業中に指示

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
授業時間外での質問はオフィスアワーに研究室で受け付ける。この時間以外についてはメールでアポイントをとること。オフィスアワーとメールアドレスは授業時間内に開示する。 授業計画は順番が変更される場合がある。

01	オリエンテーション　授業計画の確認等
02	模擬テスト　一般常識（夏季課題の回答・解説）外部講師
03	模擬テスト　ＳＰＩ（夏季課題の回答・解説）外部講師
04	インターンシップ体験報告会（木曜日５限に振替）他者の経験から学ぶ（次週レポート提出）
05	夏季1日インターンシップ体験報告　一人3分程度　（インターンシップ参加報告レポート書提） 夏季1日インターンシップ体験報告　一人3分程度　（参加報告レポート提出）
06	卒業生との懇談（OBの体験から学ぶ）
07	メイク講座　外部講師　　リクルートスーツ着用
08	適職診断結果返却・解説、グループ面談
09	面接対策①　外部講師　　リクルートスーツ着用
10	面接対策②　外部講師　　リクルートスーツ着用
11	気になる企業・職種にあわせてエントリーシートの作成をしてみよう①　　ＰＣ持参のこと
12	気になる企業・職種にあわせてエントリーシートの作成をしてみよう②　　ＰＣ持参のこと
13	雇用されて働くことの責任と義務、外部講師（次週、内容の要約レポート提出）
14	キャコロ、就職資料室訪問
15	まとめ　　就職活動の流れの再確認　大学による就職情報提供について
16	なし

2018年度シラバス

科目名:International Relations	担当者:Donovan Clarke	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	3
受講者制限:Mac computer required　TOEIC score of 400		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
Overview and Methods:This course is related to using critical analysis based on knowledge acquired and to contribute to a globalized society mentioned in SLADE's diploma policy.International Relations I (IR I) is an elective course for 3rd and 4th year students. This is basically a lecture and discussion class. The instructor lectures on a topic (50%) and students will discuss (50%) the topic being presented in the class. International relations is the study of the relationships between countries, The aim of the course is to increase students' knowledge and understanding of the history of international relations, how nations and other organization interact with each other and problems facing a globalized world today. The course will also focus on skills for critical thinking and increasing students' vocabulary in this area.B. General Method: Students will study international relations topics every week. The instructor will lecture on the week's topics and students will be given an opportunity discuss topics in class with other students and teacher. Students will do homework every week and it will be checked in class. There will be quizzes throughout the semester after each general topic. Students will do a Class Reflection Portfolio (CRP) at the end of the semester.

授業の到達目標
Goals/Objective of class: In this course, students can….a. have a good understanding of international relations and its international actors. b. understand the academic vocabulary used in the course and international relationsc. have skills to critically think about global events from the international relations point of view.d. be able to reflect on their own learning.

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
Study Requirements: Students need to do the weekly homework to pass the class. Students will do Internet research to prepare for class, so students need to have access to the Internet and computer research skills. Students need to be able to discuss with other students in pairs or groups outside to prepare for some class activities. Students are asked to study for 4 hours a week for this class.

評価方法
Evaluation Methods:In order to be successful in this course, students will need to complete the following:
Participate in class well:30% Homework:25% Quizzes:35% Course Reflection Portfolio (CRP)10%

教科書	参考図書
Textbooks: To be supplied by the instructor	Reference Books and other Course Materials: To be supplied by the instructor:

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Other: (Advice to students, Contact information) TOEIC score of 400 Donovan Clarke's office is 7308 and his office hours will be announced. His e-mail is clarke@ohkagakuen-u.ac.jp Any questions or concerns about the course should be discussed with Donovan. The Moodle site will be used to provide additional materials for students.

01	Course introduction and syllabus
02	Introduction to international relations
03	Introduction to international relations
04	Quiz 1 - introduction to History of international
05	History of international relations
06	History of international relations
07	History of international relations
08	Quiz 2 - introduction to International relations theory
09	International relations theory
10	International relations theory
11	International relations theory
12	Quiz 3 - introduction to the United Nations
13	United Nations
14	United Nations
15	Review and Quiz 4 - Course reflection portfolio
16	none

2018年度シラバス

科目名:グローバルエコノミー	担当者:森田　優己	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	3
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法 この科目は、学芸学部ディプロマポリシーに掲げる「グローバル化した社会に向けて論理的で創造的に発信できる能力」を育成することを目的としている。自分たちが生きている時代を相対化してとらえるために、DVD教材を活用し、映像を通して世界経済の動きを把握するとともに、それらの時代を支えた経済学理論についても理解を進める。セクションごとに論点要約の小レポートを提出してもらう。次週、それを用いてリフレクションする。
授業の到達目標 自らの立ち位置を世界史の中で確認することができるようになる。また、自らが生きる資本主義経済をささえてきた様々な経済学的な考え方を理解できるようになる。
授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修 授業中に自分の意見をしっかりと述べることが求められる。普段から、世界の動きに目を光らせておくことが重要である。また、英語の参考文献を使用することもあるので、事前にしっかりと辞書を引き授業に備えることが必要である。事後には、論点要約レポートの作成が必要である。よって、事前・事後を含めて４時間の学修時間が必要となる。
評価方法 授業への参加態度40%、論点要約60%

教科書	参考図書
NHK『新映像の世紀』第１～第６週 (DVD)など	Economic Time Line (Moodleで配布)

その他(学生へのアドバイス、連絡手段) 授業時間外での質問は、オフィスアワーに研究室で受け付ける。この時間以外については、メールでアポイントをとること。オフィスアワーとメールアドレスは、授業時間内に開示する。

01	オリエンテーション
02	第１集 百年の悲劇はここから始まった　論点要約１
03	資源と市場分割
04	第２集　グレートファミリー　新たな支配者　論点要約２
05	超大国アメリカの誕生と世界経済
06	第３集　時代は独裁者を求めた　論点要約３
07	大恐慌と世界経済
08	第４集　世界は機密と嘘に覆われた　論点要約４
09	Cold War と世界経済　１
10	第５集　若者の反乱が世界に連鎖した　論点要約５
11	Cold War と世界経済　２
12	第６集　あなたのワンカットが世界を変える　論点要約６
13	情報化社会と世界経済
14	新自由主義とグローバリゼーションから保護主義へ、世界体制の不安定化と危機の深化
15	まとめ
16	

2018年度シラバス

科目名:グローバルビジネス	担当者:森田　優己	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	3
受講者制限:グローバルエコノミーを履修済であること		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
この科目は、学芸学部ディプロマポリシーに掲げる「グローバル化した社会に向けて論理的で創造的に発信できる能力」を育成することを目的としている。授業は講義形式で行うが、授業中に世界経済のニュースや企業活動についての意見を求める。また、内容理解を深めるために、授業内で３回小テストを行う。

授業の到達目標
21世紀における世界経済の動きを、先進国大企業、新興国大企業、両者の関係という視点からとらえることができる。世界各国をとりまく経済的・政治的危機の中で、世界の多国籍企業は成長しつづけるのかを理解することができる。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
授業中に自分の意見をしっかりと述べることが求められる。普段から、世界の動きに目を光らせておくことが重要である。ＥＳＣやインターネットを活用し、英字新聞や雑誌で経済記事を読んでおくことも重要である。事前・事後学修を合わせて、4時間の学修が必要である。

評価方法
授業への参加態度40%、3回の小テスト60%

教科書	参考図書
Moodleまたは紙媒体で資料配布する	夏目啓二編著『21世紀ＩＣＴ企業の経営戦略』文眞堂

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
授業時間外での質問は、オフィスアワーに研究室で受け付ける。この時間以外については、メールでアポイントをとること。オフィスアワーとメールアドレスは、授業時間内に開示する。

01	オリエンテーション
02	第1部　先進国大企業の経営戦略　21世紀のアメリカ多国籍企業
03	第1部　先進国大企業の経営戦略　21世紀の日本企業の衰退と日本企業のシステム変容
04	第1部　先進国大企業の経営戦略　日本半導体装置企業の衰退と持続的競争優位性とは
05	第1部　先進国大企業の経営戦略　日本企業の「グローバル採用」と人事制度改革
06	第1部　先進国大企業の経営戦略　ドイツにおけるIOT・第4次産業革命の推進
07	小テスト第一回と第１部のまとめ
08	第2部　新興国大企業の台頭と経営戦略　中国の多国籍企業化
09	第2部　新興国大企業の台頭と経営戦略　　インドのＩＣＴ企業
10	第2部　新興国大企業の台頭と経営戦略　　モバイル時代におけるレノボ社のM&Ａ
11	小テスト第二回と第２部のまとめ
12	第3部　新興国と先進国とのグローバル企業間競争　部品調達・韓国
13	第3部　新興国と先進国とのグローバル企業間競争　サムソンの戦略
14	第3部　新興国と先進国とのグローバル企業間競争　ホンハイとシャープ
15	小テスト第3回と第3部のまとめ 小テスト第三回と第３部のまとめ
16	なし

2018年度シラバス

科目名:Management	担当者:鈴木　哲	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	3
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
Management is ″the activity or skill of directing and controlling the work of a company or organization″ (Longman Business Dictionary, 2007). The course is taught on four current news articles, two of which are chosen by the students, and is intended to the ″practical ability to communicate in English in the globalized societies″ (the Diploma Policy). The class consist of lectures, discussions, presentations, and reflection journal writing. For the reflections and assignments, individual feedback is given. Active learning is encouraged, and questions are always welcome.

授業の到達目標
1. Students will understand key words and concepts of Management and how they are related to society.2. Students will facilitate business communication skills through discussions, presentations, and writing.

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
1. Read materials and write assignments before the class. Study four hours per class/week.2. Find Marketing articles, in newspaper, magazines, or on the Web for making your presentations.

評価方法
1. Active participation in class including the number of raising hands 30%2. Reflection journals with quizzes, 20%, and assignments, a week delay allowed, 20% 40%3. Semester examination (A mock test will be given two weeks earlier.) 30%4. Evaluation on the three criteria: 100-90 AA, 89-80 A, 79-70 B, 69-60 C, below 60 F. 100%

教科書
Four current news articles on Marketing, two by the instructor, and the other two by the students by their own choices.

参考図書
References will be advised in the class. be advised in the class.

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
1. Bring a learner's monolingual dictionary, assignments, a notebook, and all the class materials.2. Dictionaries suggested: Longman Dictionary of Contemporary English (LDOCE), Longman Advanced American Dictionary (LAAD), or Oxford Advanced Learner's Dictionary (OALD). An e-dictionary may carry one of these.3. Take notes. Ask questions. The number of raising hands shall be reported in the reflection journal.4. Try to attend the 16 classes. When you can not come, ask one of your classmates for the assignments. 5. Tetsu Suzuki, at tetsu_s@katch.ne.jp and 090 6572 0917, has been teaching at Ohkagakuen since 2012.

01	Course introduction: explanation based on the syllabus and the instructor's resume
02	Key concepts of Management, and how to write the reflection journal; Article 1 is given
03	The usage of a learner's monolingual dictionary for Article 1
04	Reading Article 1: words and sentences
05	Understanding Article 1: student presentations on the course
06	Solving content questions on Article 1; Article 2 is given
07	Reading Article 2: words and sentences
08	Understanding Article 2
09	Discussion on Article 2
10	Presentations on Management articles, found in newspaper, magazines, or on the Web
11	Reading Article 3 chosen by the students: words and sentences
12	Understanding Article 3
13	Reading Article 4, another one selected by the instructor: words and sentences
14	Understanding Article 4; A mock test is given
15	Mock test reviews and closing summary presentations
16	Semester examination, 60 minutes; bring the four articles and a calculator

2018年度シラバス

科目名:Marketing	担当者:鈴木　哲	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	3
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
Marketing is "activities to design and sell a product or service by considering buyers' wants or needs, for example where and how they will buy it, how much they will be willing to pay, etc." (Longman Business Dictionary, 2007). The course is taught on four current news articles, two of which are chosen by the students, and is intended to the "practical ability to communicate in English in the globalized societies" (the Diploma Policy). The class consist of lectures, discussions, presentations, and reflection journal writing. For the reflections and assignments, individual feedback is given. Active learning is encouraged, and questions are always welcome.

授業の到達目標
1. Students will understand key words and concepts of Marketing and how they are related to society.2. Students will facilitate business communication skills through discussions, presentations, and writing.

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
1. Read materials and write assignments before the class. Study four hours per class/week.2. Find Marketing articles, in newspaper, magazines, or on the Web for making your presentations.

評価方法
1. Active participation in class including the number of raising hands 30%2. Reflection journals with quizzes, 20%, and assignments, a week delay allowed, 20% 40%3. Semester examination (A mock test will be given two weeks earlier.) 30%4. Evaluation on the three criteria: 100-90 AA, 89-80 A, 79-70 B, 69-60 C, below 60 F. 100%

教科書
Four current news articles on Marketing, two by the instructor, and the other two by the students by their own choices.

参考図書
References will be advised in the class.

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
1. Bring a learner's monolingual dictionary, assignments, a notebook, and all the class materials.2. Dictionaries suggested: Longman Dictionary of Contemporary English (LDOCE), Longman Advanced American Dictionary (LAAD), or Oxford Advanced Learner's Dictionary (OALD). An e-dictionary may carry one of these.3. Take notes. Ask questions. The number of raising hands shall be reported in the reflection journal.4. Try to attend the 16 classes. When you can not come, ask one of your classmates for the assignments. 5. Tetsu Suzuki, at tetsu_s@katch.ne.jp and 090 6572 0917, has been teaching at Ohkagakuen since 2012.

01	Course introduction: explanation based on the syllabus and the instructor's resume
02	Key concepts of Marketing, and how to write the reflection journal; Article 1 is given
03	The usage of a learner's monolingual dictionary for Article 1
04	Reading Article 1: words and sentences
05	Understanding Article 1: student presentations on the course
06	Solving content questions on Article 1; Article 2 is given
07	Reading Article 2: words and sentences
08	Understanding Article 2
09	Discussion on Article 2
10	Presentations on Marketing articles, found in newspaper, magazines, or on the Web
11	Reading Article 3 chosen by the students: words and sentences
12	Understanding Article 3
13	Reading Article 4, another one selected by the instructor: words and sentences
14	Understanding Article 4; A mock test is given
15	Mock test reviews and closing summary presentations
16	Semester examination, 60 minutes; bring the four articles and a calculator

2018年度シラバス

科目名:Media English	担当者:Eduardo Shima	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	3
受講者制限:Mac computer required		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
Overview and Methods:This course is related to the ’ ability to understand languages and other cultures from the global perspective.’ mentioned in SLADE diploma policy.A.Course Description: The aim of this class is to introduce students to the techniques and styles of media. The focus of the course will be on media on TV, in the newspaper, in magazines, on the Internet and in the music and film industry. Students will be asked to demonstrate their ability to critically analyze the media. Throughout the course examples from various forms of media outlets will be use to accomplish the critical thinking tasks. The students will make a poster for the poster session reflecting what they have learned in class.B.General Approach: The main topic of the class will be introduced through mini lectures by the teacher each week. Students will discuss either in groups or in pairs about their understanding of each class content. Written exercises will be done in pairs (interview style) to help students get accustomed in vocalizing their opinions. “Weekly News Report” is expected from each student which will be presented, discussed and analyzed at the beginning of every class either in groups or in pairs. The exercise will approximately take 5~10 minutes. To prepare for the “Weekly News Report” students must watch, read or listen to the news everyday for 15~30 minutes and bring that information to class in written form (to facilitate when reporting). Two or three articles is advised to offer a variety of news to the discussion.

授業の到達目標
Goals/Objective of Course: Upon successful completion of this course, students will be able to….1. Apply their critical thinking skills when:a. reading the newspaper or magazines.b. watching televised news report.

c. surfing the Internet2. Have a general understanding of English used in different news outlets.3. Broaden their knowledge of various topics.4. Analyze and demonstrate their understanding of the media.

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修

評価方法
Evaluation Methods:Course Requirements (Major Assignments, Quizzes & Exams including Dates)In order to be successful in this course, students will need to complete the following:1. all quizzes30%2. all assignments12%3. all weekly news report28%4. poster presentation30%5. Total100%

教科書	参考図書
To be supplied by the instructor	None

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Other: (Course prerequisites, Advice to students, Contact information) Although, there are no prerequisites for this course students should be aware that enthusiasm, cooperation and energy are vital to any successful lesson. Eduardo (Ed) Shima’s email: eduardoshima@me.com. He will be on campus Wednesday mornings and Friday 1st to 3rd periods. Please email him to make an appointment.

01	1 Course Introduction : Syllabus and Quiz.
02	2 Television I - Commercials and Ads (How culture affect ads and television commercials)
03	3 Television II - Language and Cultural Comparison (View Japanese Commercials and Foreign Commercials)
04	4 Quiz - Weekly News Report Expansion
05	5 Newspaper - Headlines - What is news worthy?
06	6 Newspaper II - Politics, Business and other difficult subjects (Check your knowledge)
07	7 Fact or Fiction and Fake News (Sensationalism, celebrity news)
08	8 Quiz - Weekly News Report Expansion
09	9 Internet - websites
10	10 Internet - social networks
11	11 Internet - Net English Evolution
12	12 Quiz- Weekly News Report Expansion
13	13 Music Industry
14	14 Film Industry
15	15 Poster Presentation (Students present their poster to the class, Group Discussion and Reflection)
16	

2018年度シラバス

科目名:Business English	担当者:Eduardo Shima	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	3
受講者制限:Mac computer required		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
Overview and Methods:This course is related to the 'practical ability to communicate in English in the globalized societies ' mentioned in SLADE diploma policy.Course Overview: Business English (BE) is an elective course for 3rd year and above students. This is a basic business English course with an emphasis on American and International English. The aim of this course is to introduce students to simple English used in a work environment and take part in the English operations of a business. The class contains reading, writing, listening and speaking components. It will provide some cultural information about business around the world. The class will include such thing as; business introductions, company products and services, making appointments, emails, creating product ideas, conducting a survey and presenting the products.General Method: This class is a combination of lectures, student discussions and learning activities. In class, students will study different business topics in two or three-week cycles. The instructor will also provide supplementary materials for some classes. There will be information given on the topics and skills required for the course followed by practical application of the skills within each group. This will include teacher provided materials, student research on the Internet and group company work projects. Some weeks, students will be expected to research topics on the Internet and complete a class research sheet before coming to class. In class, this research will be discussing in pairs, groups and in the class as a whole.

授業の到達目標
Goals/Objective of Course: Upon successful completion of this course:a. Students can use basic business English. Students study business English through various activates both in and outside of the text.b. Students have some general international business knowledge. Cultural aspects of business around the world are introduced in class.c. Students have basic skills they can use in working in an English office environment. Business office skill will be introduced such as business emails and telephone English.d. Students can have a better knowledge of business. Business information and cultural aspects of business around the world will be studied.e. Students can have skills they can use when working in an English speaking or international company. Students will take part in projects as if they were working in an actual company to develop and market products.

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
Study Requirements: Students need to do the weekly homework; study the unit vocabulary lists and also study the text to pass the section quizzes. This class includes a lot of pair and group work. Students need to actively express themselves to participate in class and write monthly reflections.

評価方法
Evaluation Methods:Course Requirements (Major Assignments, Quizzes & Exams including Dates) In order to be successful in this course, students will need to complete the following:1. Actively participate in class 20%2. Skit □ 20%3. Poster presentation 20%4. Reflection□ 10% 5. Homework□0%

教科書	参考図書
To be supplied by the instructor	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Other: (Advice to students, Contact information)There are no prerequisites for this course. Eduardo (Ed) Shima 's email: eduardoshima@me.com. He will be on campus Wednesday mornings and Friday 1st to 3rd periods. Please email him to make an appointment.

01	Course introduction and Syllabus. Unit 1 - Business Introduction
02	Unit 2 - Introducing others, unit 3 - Business cards
03	Unit 4 - In the office
04	Unit 5 - Times, dates and numbers
05	Unit 6 - Work places and locations, unit 7 - Making an appointment
06	Unit 8 - Companies, unit 9 - Products: Goods and services 1
07	Unit 10 - Products: Goods and services 1
08	Unit 11 - Products: Goods and services 2, Unit 11 - Emails
09	Midterm Skit
10	Introduction to business. Unit 13 - Companies
11	Unit 14 - Company profile, Internet research
12	Unit 15 - Introduction to market research surveys
13	Unit 16 - Conduct market research survey
14	Unit 17 - Analyzing data form survey
15	Product poster presentation
16	

2018年度シラバス

科目名:Interpretation	担当者:Atsuko Sasaoka	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	3
受講者制限:TOEIC score 500 or above		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
Overview and Methods:This course is related to the 'practical ability to communicate in English in the globalized societies' mentioned in SLADE diploma policy.This is an introductory course in interpretation skills. Students will learn basic skills in interpretation using various news broadcasts, speeches and original scripts. This course includes dictation, speaking practice in pairs and presentations.

授業の到達目標
Goals/Objective of class:Upon successful completion of this course, students will be able to understand the basic methods of interpreting and the attitude of interpreter. Moreover, they will develop vocabulary, expressions and other skills needed for interpretation in various fields.

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
Study Requirements:Students must review the contents of each lesson and practice interpreting so that they will make a presentation in the following lesson. Active participation in class is vital.

評価方法
Evaluation Methods:In order to be successful in this course, students will need to complete the following:1) Assignments 30%　2) Performance in class 30%　3) Final presentation 40%

教科書	参考図書
Textbook: Power Up Your English with CNN News (Shinji Ogasawara, Ako Okuda, Pino Cutrone) Asahi PressOther course materials used will be announced in class.	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Other: Advice to students, Contact information)This course is for advanced level students. Students are required to have TOEIC score of 500 or above.Learning interpretation skills takes time, patience and dedication. It is important to review and practice for each class.

01	Introduction to interpreting skills
02	Unit1 / Shadowing training
03	Unit1 / Summarizing training
04	Unit2 / Reproduction training
05	Unit2 / Sight translating training
06	Unit3 / Review
07	Unit3 / News interpretation (social issues)
08	Unit4 / News interpretation (politics)
09	Unit4 / News interpretation (business)
10	Unit5 / News interpretation (culture)
11	Unit5 / Review
12	Unit6 / Interpretation (Japanese culture)
13	Unit6 / Interpretation (Japanese culture)
14	Unit7 / Interpretation (Japanese culture)
15	Unit7 / Final presentation
16	None

2018年度シラバス

科目名:Translation	担当者:田中　淳子	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	3
受講者制限:TOEIC scores of 400 or above		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
Translation is an elective lecture course for 3rd or 4th year students, relating to the 'practical English communication ability' mentioned in SLADE diploma policy. Students will be required to do assignments of translation every week not only to discuss the various ways of translation in the class but also to keep practice in translating English and Japanese.

授業の到達目標
Upon successful completion of this course, students will be able to ....1. Obtain basic translation skills2. Translate into English and Japanese by using basic skills3. Make their own glossaries4. Use the Internet effectively to search for the right word

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
Students need to ....1. Prepare for the class 2. Do weekly assignments3. Review the class materials4. Prepare for weekly review quizzes

評価方法
1. Weekly assignments　25%2. Weekly review quizzes　25%3. Performance in the class　25%4. Term examination　25%　Total　100%

教科書	参考図書
Students do not have to buy the textbook. All necessary materials will be provided by the instructor.	『プロが教える基礎からの翻訳スキル　英⇔日』田辺希久子、近藤京子（著）三修社

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Students need to participate in discussion and share their views with other students. Atsuko Tanaka's e-mail address is tanayan1211@yahoo.co.jp

01	Course Introduction: Detailed explanation of the course based on the syllabus
02	Introduction to Basic Translation Skills: glossaries and effective use of the Internet
03	Basic Skills: Change of the parts of speech (ex. from noun to verb)
04	Basic Skills: Inanimate subject and passive voice
05	Basic Skills: Idiom, collocation, fixed expression and proverbs
06	Basic Skills: Long passage
07	Practice: Translation of a newspaper article about social issues
08	Practice: Translation of a newspaper article about political issues
09	Practice: Translation of a newspaper article about a culture
10	Practice: Translation of a newspaper article about an economy
11	Practice: Translation of a magazine article
12	Practice: Translation of a picture book or a novel
13	Practice: Translation of a comic book or subtitles
14	Practice: Translation (topic will be decided according to student interest)
15	Review of Semester
16	Term examination

科目名:Extensive Reading I	担当者:Leslie Chivers	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	3
受講者制限:Mac required		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
This course is related to practical ability to communicate in English in the globalized societies mentioned in SLADE diploma policy. The aim of this course is to further develop the students' reading fluency and positive attitudes to reading. Students will browse, select and read a range of graded readers for more advanced readers at a level suitable for their ability and for the purpose of increasing reading confidence. Students will complete short quizzes online to get word count credit. Students will practice reading exercises e.g. Reading for Speed and Fluency and respond to reading by writing and speaking in English (Discussions). A secondary aim is to promote appreciation of English language literature through discussion and evaluation of reading. Half of each class will be spent reading and half the class in individual and group discussion of reading with specific Literature Circles roles each week.

授業の到達目標
Upon successful completion of this course, students will be able to….a. develop greater fluency and confidence in reading for meaning b. increase general vocabulary and cultural knowledgec. develop skills and confidence in responding to reading texts in authentic waysd. respond to reading in various ways incl. setting (time, place, mood), plot, characters, themes, personal reactions to stories

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
Be organized - prepare and complete tasks early. Bring your materials to class each week. Set your reading goals and make a plan to complete them. Be responsible for your own time management and reaching your word count goals.

評価方法
1. Participation - being on time to class, bringing materials, and actively doing tasks, using English in class 15%2. Literature Circles Participation 25% (5 x 5%)3. MReader Reading (45%) Minimum reading requirement to pass = 45,000 words (2000 words = 1%)4. MReader Discussions 15% (3 x 5%)

教科書	参考図書
Nation, P. Reading for Speed and Fluency 3	All course materials are available in the ESC, the library or provided by the teacher.

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Mac computer required. Access to SLADE Moodle and Mreader.org site required. There are no prerequisites for this course. Teachers' rooms - Room 7303. Email To be advised in class.

01	Course Overview
02	Guide to Literature Circle Activities and roles
03	RSF / How to Write for Literature Circle Roles
04	RSF / MReader Discussion #1
05	RSF / Literature Circle Discussion 1
06	RSF / Preparing Literature Circles 2
07	RSF / Literature Circle Discussion 2
08	RSF / Preparing for Literature Circle Discussion 3
09	RSF / Literature Circle Discussion 3
10	RSF / MReader Discussion #2
11	RSF / Preparing for Literature Circle Discussion 4
12	RSF / Literature Circle Discussion 4
13	RSF / Preparing for Literature Circle Discussion 5
14	RSF / Literature Circle Discussion 5
15	MReader Discussion #3
16	なし

科目名:Extensive Reading Ⅱ	担当者:Leslie Chivers	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	3
受講者制限:Mac required		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
This course is related to practical ability to communicate in English in the globalized societies mentioned in SLADE diploma policy. The aim of this course is to build on Extensive Reading I. Students will continue to advance their reading fluency and range. Students will read graded readers and do quizzes to prove their understanding of what they read. Students will practice reading exercises e.g. Reading for Speed and Fluency and respond to reading by writing and speaking in English (Discussions). Students will get the chance to improve their responses to literature appreciation through Literature Circles.

授業の到達目標
: Upon successful completion of this course, students will be able to….a. develop greater fluency and confidence in reading for meaning b. increase general vocabulary and cultural knowledgec. develop skills and confidence in responding to reading texts in authentic waysd. respond to reading in various ways incl. setting (time, place, mood), plot, characters, themes, personal reactions to stories

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
Be organized - prepare and complete tasks early. Bring your materials to class each week. Set your reading goals and make a plan to complete them. Be responsible for your own time management and reaching your word count goals.

評価方法
1. Participation - being on time to class, bringing materials, and actively doing tasks, using English in class 15%2. Literature Circles Participation 25% (5 x 5%)3. MReader Reading (45%) Minimum reading requirement to pass = 45,000 words (2000 words = 1%)4. MReader Discussions 15% (3 x 5%)

教科書	参考図書
Nation, P. Reading for Speed and Fluency 3	All course materials are available in the ESC, the library or provided by the teacher.

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Mac computer required. Access to SLADE Moodle and Mreader.org site required. There are no prerequisites for this course. Teachers’ rooms - Room 7303. Email To be advised in class.

01	Course Overview
02	Guide to Literature Circle Activities and roles
03	RSF / How to Write for Literature Circle Roles
04	RSF / MReader Discussion #1
05	RSF / Literature Circle Discussion 1
06	RSF / Preparing Literature Circles 2
07	RSF / Literature Circle Discussion 2
08	RSF / Preparing for Literature Circle Discussion 3
09	RSF / Literature Circle Discussion 3
10	RSF / MReader Discussion #2
11	RSF / Preparing for Literature Circle Discussion 4
12	RSF / Literature Circle Discussion 4
13	RSF / Preparing for Literature Circle Discussion 5
14	RSF / Literature Circle Discussion 5
15	MReader Discussion #3
16	なし

2018年度シラバス

科目名:American Literature	担当者:平沼　公子	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	講義
免許・資格:中学校・高等学校教諭1種免許状（英語）		開講時期	前期
		配当学年	3
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法 アメリカ合衆国の文学史をなるべく網羅する形で重要な作品を取り上げ、それらを社会・歴史背景とともに読み解いていきます。関連する時代思潮、思想潮流についても学び、グローバルな視点から言語および異文化を理解する能力を身につけることが目的です。あらかじめ課題リーディングを読んだ上で（課題映像の場合は視聴した上で）、講義とグループディスカッションを通して文学作品とその文脈を分析します。授業後には、Moodleにコメントを書き込むことが必須です。
授業の到達目標 ①アメリカ文学の基礎的な知識を身につける。②アメリカ文学作品を原文で読み、解釈することができる。③文学作品を通して、批判的思考能力を身につける。
授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修 各授業において、以下の通りの授業外学習活動が求められます。準備学習（2時間）：事前に与えられたリーディング課題の読破、または視聴覚資料の鑑賞。事後学習（2時間）：授業内で学んだ内容について、Moodleへレスポンスを投稿すること。各授業の最後に、Moodle投稿内容について指示するので、それに従って行うこと。
評価方法 授業への参加態度（ディスカッション、授業内発言等を含む）30%　Moodleへのレスポンス 30%確認テスト 40%

教科書	参考図書
プリントを配布する。	授業中に指示する。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段) 文学作品は、Fiction（虚構）であると同時に、Fiction（想像的な手法）です。単なる作り事ではなく、言葉を用いて現実社会を捉え直す手法として読んでみてください。オフィスアワー、教員連絡先は授業中に指示します。

01	イントロダクション：What is American Literature?
02	The Scarlet Letter (1850) by Nathaniel Hawthorne
03	The Scarlet Letter (1850) by Nathaniel Hawthorne
04	Adventures of Huckleberry Finn (1995) by Mark Twain
05	Adventures of Huckleberry Finn (1995) by Mark Twain
06	The Awakening (1899) by Kate Chopin
07	The Awakening (1899) by Kate Chopin
08	A Farewell to Arms (1929) by Ernest Hemingway
09	Native Son (1940) by Richard Wright
10	Native Son (1940) by Richard Wright
11	Slaughterhouse-Five (1969) by Kurt Vonnegut
12	Slaughterhouse-Five (1969) by Kurt Vonnegut
13	"A Thousand Years of Good Prayers" by Yiyun Li
14	"Cultural Relativity" by Charles Johnson
15	まとめと確認テスト
16	なし

2018年度シラバス

科目名:British Literature	担当者:井川　恵理	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	講義
免許・資格:中学校・高等学校教諭1種免許状（英語）		開講時期	前期
		配当学年	3
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
This course is related to 'the ability to understand other cultures and use critical thinking' in SLADE diploma policy. The aim of this course is to read through some typical British pieces of work in the original language. Students are to read major passages aloud and consequently have them become part of themselves. Understanding cultural or historical background of the society and the circumstances of the era is required.

授業の到達目標
Students will be able to a. read aloud and recite some of the famous parts of the work. b. understand the scene and the background of the literary work. c. rephrase the scene in other phrases. d. discuss the topics and concepts covered in class with the instructor and classmates.

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
Students are required a. to read the designated section aloud after checking pronunciation of the words. b. to search unknown words, definition of words and phrases in English-English dictionaries and prepare written notes. c. to search the historical background of some phrases and scenes. d. to read the content after the class to understand fully. 2 hours of preparation and 2 hours of reflection work are required.

評価方法
1. Presentation (Paragraph reading presentation, content explanation in English)30% 2. Recitation□ 15% 3. Preparation 15% 4. Mid-term Quiz 20% 5. Summary Exam 20%

教科書	参考図書
Handouts will be given in class.	阿部公彦著『英詩のわかり方』（研究社）、Iona and Peter Opie, The Oxford Dictionary of Nursery Rhymes (Oxford University Press),「中学校学習指導要領」「高等学校学習指導要領」

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Office 7310. Contact address will be announced in class.

01	Introduction: British Literature and Japan
02	English-Speaking World and 'Igirisu' : Characteristics of Four Nations and Their Literature
03	English-Speaking World and Nursery Rhymes (1) English rhythm
04	English-Speaking World and Nursery Rhymes (2) Mystery Stories to Films
05	British Poetry (1) William Blake (1757-1827) England
06	British Poetry (2) Robert Burns (1729-1796) Scotland
07	British Poetry (3) Dylan Thomas (1914-1953) Wales
08	British Poetry (4) Seamus Heaney (1939-2013) Northern Ireland, Rep. of Ireland
09	Nursery Rhymes, British Poetry--Recitation Contest and Mid-Term Quiz
10	Rhythm in Plays: William Shakespeare "Macbeth" : Incantation of Witches
11	Rhythm in Plays: William Shakespeare "Macbeth": Speeches of Macbeth
12	Shakespeare and Elizabethan Era
13	Novels: Harry Potter Series: Poetry and Incantations
14	Novels: "Winnie-the-Pooh": Pooh the Poet
15	Plays, Novels, Poetry: Recitation Contest and Summary Quiz
16	None

科目名:Theory of English Structure	担当者:村木　恭子	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	講義
免許・資格:中学校・高等学校教諭1種免許状（英語）		開講時期	後期
		配当学年	3
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
This course is related to the "Ability to understand languages and other cultures from the global perspective" in SLADE diploma policy. In this course, students fist review basic information from following areas of study; 1) What is Linguistics, and English Linguistics 2) Language Acquisition (Psycholinguistics), 3) Morphology 4) Phonology 5) Semantics 6) Syntax 7) Pragmatics. Then we will be focusing on Syntax including Generative Grammar, and look up on depth of the English structure, including word structure, phrase structure and sentence structure. This course will be lecture based, however we will also spending time reviewing the lecture by problem solving, discussions.

授業の到達目標
Students who pass this course will be able to understand basic ideas of; 1) Linguistics and English Linguistics, 2) Language acquisition 3) Morphology, 4) Phonology 5) Semantics 6) Syntax: 7) Pragmatics. Students also understand the basic theoretical framework of Generative Grammar, and enhance their understanding of English grammar.

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
This course is one of the “specialized courses”, self-study and self-research, including a lot of material readings are highly required. Reviewing and preparing for this course will require over one hour and a half out of class work each week.

評価方法
In order to pass this class, students must complete the following assignments:Weekly reflection journal & Mini-quizzes: Mini-quizzes will be given after each chapter. … 50 %Final report: Details will be explained in class. …　50%

教科書	参考図書
岸本英樹(2009) 『ベーシック生成文法』ひつじ書房	中学校学習指導要領・高等学校学習指導要領, Other materials will be introduced or provided in class or on the SLADE’s Moodle.

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
There are no prerequisites for this course. However, it is highly recommended to take “English Linguistics” in second year. Instructor’s contact information will be announced in the first class.

01	Orientation, including rules of the classes, how to manage the textbook, homework, What is English Linguistics (The way of thinking language) (chapter 1)
02	What is Language Acquisition (chapter 2)
03	Morphology & Phonology
04	Semantics (basic)
05	Semantics (advance) (chapter 4)
06	Syntax (Universal Grammar) (chapter 3)
07	Syntax (Syntactic Structure) (chapter 5)
08	Syntax (Syntactic Structure) (chapter 5)
09	Syntax (X-bar theory) (chapter 6, chapter 7)
10	Syntax (X-bar theory) (chapter 6, chapter 7)
11	Syntax (Wh-movement) (chapter 15)
12	Syntax & Semantics (Semantic role of the sentences) (chapter 8)
13	Passive and Active (chapter 9)
14	Subject and Head (chapter 13, chapter 14)
15	Wrap-up of the course
16	None

2018年度シラバス

科目名:Sociolinguistics	担当者:Leslie Chivers	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	3
受講者制限:Mac Required		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
This course is related to ability to understand languages and other cultures from the global perspective mentioned in SLADE diploma policy. The purpose of this course is to learn basic knowledge about the relationship between society and language. The themes of the course are world language families, language status, speech communities, attitudes to languages, variations in language and social dialects, language and gender, the function of language in social context. Special attention is paid to variation of English in the world. This course is a combination of readings and practical group activities. Students will complete a presentation project, some research and a reflection.

授業の到達目標
Upon successful completion of this course, students will be able to….a. understand key ideas in sociolinguisticsb. understand how attitudes in society influence language statusc. understand and explain how languages vary in different waysd. independently research and present on a special language of interest

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
Read the class materials before class each week so you can access the quizzes and other activities in time for class. Be organized - prepare and complete tasks early. Some class time is given to project work. You will need to allow 5 hours to complete with high quality.

評価方法
Students are expected to complete activities before class each week. 1. □35% Pre-class Readings & Quizzes

2. 25% Class Activities on Moodle3. 20 % Presentation: Language/Dialect Profile4. 20% RESEARCH (500 words) and Reflection (500 words) Assignment

教科書	参考図書
Bring Mac to class and keep a back up of materials. Office hours are found at Room 7303. Email: To be advised in class.	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)

01	Course Overview
02	What is Sociolinguistics? Ethnologue
03	Language Families and Speech Communities
04	Dialect or Language?
05	Regional Variation
06	World Englishes Pronunciation - Rhoticity
07	Grammatical variation; Research topics
08	In class preparation of Presentation
09	Presentations in class: Language/Dialect Profile
10	Research in Sociolinguistics
11	Topic research
12	Topic research
13	1st draft of research paper due
14	1st draft of research paper handed back; conferencing
15	Research in Sociolinguistics and Reflection due
16	なし

2018年度シラバス

科目名:Applied Linguistics	担当者:Leslie Chivers	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	講義
免許・資格:中学校・高等学校教諭1種免許状（英語）		開講時期	前期
		配当学年	3
受講者制限:Mac Required		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
This course is related to the ability to use critical analysis based on the acquired knowledge and to offer logical messages to the globalized societies mentioned in SLADE diploma policy. The purpose of this course is to introduce students to some of the areas of interest to English language teaching. Areas include the difference between language and communication, grammar and the brain, success in language learning, motivational differences, language acquisition and psycholinguistics Students will discuss, reflect and write on questions and activities aimed at developing their knowledge of the field. Students will identify and research an area of childhood literacy that personally interests them.

授業の到達目標
Upon successful completion of this course, students will be able to….a. understand some recent research in the field of language learning and teachingb. develop knowledge and skills about teaching literacy and languagec. improve their skills in English

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
Read and view the materials before class each week so you can participate in class. Be organized - prepare and complete tasks early. Study and work regularly so you can submit journals on time. Although some class time is given to project work, you will need to allow 5 hours over several weeks to complete them to a high quality.

評価方法
Absences and lateness will result in losing points. 1.Participation (30%)2.Journals (3 x 10%=30%) Late journals will NOT be accepted (loss of 10% for each journal)3.Reading Rockets Report (30%) Late submissions will lose 10%. 4.Round Table discussion (10%)

教科書	参考図書
No set text	All materials provided by the teacher and online

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Students are required to bring their Macs to class and keep a back-up of their materials. There are no prerequisites for this course. Office hours are posted on teacher’s - Room 7303. Email: To be advised in class.

01	Course Overview and Introduction to Applied Linguistics
02	Humans and Language
03	Communication and Language
04	Grammar and the Brain: Writing Journal 1 due NO LATE Journals accepted
05	Language Acquisition
06	Success in language learning: Writing Journal 2 due NO LATE Journals accepted
07	Motivation
08	Psycholinguistics
09	Reading Rockets - Introduction; Writing Journal 3 due NO LATE Journals accepted
10	Reading Rockets Project (Project choice due)
11	Reading Rockets Project in class study
12	Reading Rockets Project Report writing
13	Reading Rockets Project Report DUE
14	Editing your RRP Report
15	Round Table discussion on your RRP Report
16	なし

2018年度シラバス

科目名:教育相談	担当者:木村　洋太	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	講義
免許・資格:中学校・高等学校教諭1種免許状（英語）		開講時期	前期
		配当学年	3
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
本授業は、学芸学部ディプロマポリシーにある「グローバル化した社会に向けて、学んだ知識を基に論理的で創造的な発信ができる能力」と関連している。そのため、①カウンセリング理論、②現代の児童・生徒の抱える諸問題（いじめ、不登校、虐待など）や、発達障がい、様々なココロの問題などの基礎的な知識から、教育相談における基本的態度や諸問題への対応について考え、体得することを目指す。授業方法としては、講義形式を基本に、ビデオ視聴、エピソード紹介、ワーク、ディスカッションなどを行う。少人数授業なので、学生全員が毎回発言できる機会を設ける。

授業の到達目標
教育相談では、学業上の問題以上に児童生徒の人格・心身の健康を助言・育成することが求められる。その資質・能力を向上していくため、現代の児童・生徒が抱える諸問題や発達上の問題について、ビデオやエピソードを通してリアリティの高い授業を展開する。また，カウンセリング理論や自己主張についての理解を深めながら、相談活動の基本的な姿勢や対応についてその体得を目指す。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
ワークシートにある質問や意見に次回授業でフィードバックを行い，他の学生の意見も載せたまとめを配布する。これらをヒントに随時参考文献も示しながら、何を次の学習につなげ、自己学習するのかテーマを課す。個人のワークシートは、コメント入りで毎授業返却するので，授業資料だけでなく自分の考えや取り組みの変遷を振り返り，定期試験，教育実習へのまとめとして利用する。教育相談に関わる研究論文を配布するので、授業内容を参考にしながら、論文についてまとめた上で意見を述べ、ディスカッションする。

評価方法
　確認テスト（70%），毎回の授業で提出してもらうワークシート等の内容（30%)から総合的に評価する。授業参加態度が一定の基準を満たさない場合，原則として確認テストの受験資格は得られない。

教科書	参考図書
教科書は特別指定せず、授業中に自作の資料を配布する。	随時、参考図書を紹介する。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
授業の参加率、積極的な発言等を高く評価します。心理学に正しい回答はないので、自分で考えたことを自由に発言する機会を設けます。連絡先は授業中にお知らせします。

01	オリエンテーション　：教育相談とは何か　−教員にとっての教育相談の必要性−
02	教師だからこそできる教育相談の長所と短所を理解する
03	カウンセリングの基礎的な考え方と技法　−来談者中心療法と傾聴について
04	傾聴のスキルを身につける（エピソードを通してどのような傾聴を試みるか練習する）
05	教育相談に有用な心理支援①　開発的カウンセリングの考え方と方法
06	教育相談に役立つ心理支援②　行動療法、認知行動療法の考え方と方法
07	教育相談に役立つ心理支援③　ブリーフセラピーの考え方と方法
08	学校にみられる諸問題の理解①：いじめ、不登校、自殺の理解と対応
09	学校にみられる諸問題の理解②：虐待や非行など諸問題の理解と対応
10	配慮の必要な子どもの理解①　−発達障がいの理解と対応（SLDとADHD）
11	配慮の必要な子どもの理解②　−発達障がいの理解と対応（ASDと二次障がい）
12	児童期青年期に生じるココロの諸問題の理解　−精神障がいの理解と医療に繋げる判断力
13	保護者の理解と関係のとり方（保護者支援の観点から）
14	実際の相談の流れと支援計画の作り方（どのように子どもを理解し、記述するのか）
15	教育相談のための連携と協働（学内連携の意義と連携する種々の外部機関の役割）
16	定期試験

2018年度シラバス

科目名:英語科教育法 Ⅲ	担当者:柳田　綾	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	講義
免許･資格:中学校･高等学校教諭1種免許状（英語）		開講時期	前期
		配当学年	3
受講者制限:教職課程履修が学部により認められた者、及び原則として英語科教育法IとIIを履修していること		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
本授業は、学芸学部ディプロマポリシーにある「グローバルな視点から言語および異文化を理解する能力」をつけ、それらを将来教育分野において生かすことが意識されている。２年次に学んだ英語科教育法を更に発展させ、主に高等学校における教育課程編成のあり方を学ぶ。続いて英語科各科目の位置付け、目標などについて学び、英語授業を適切に行うための諸理論を学んでいく。使用テキストを概観しながら、学習指導要領と高校教科書を同時に分析していく。そして教科や科目の目標について講義を行う。必要に応じてディスカッションや発表を取り入れるが、基本的には講義中心のスタイルである。

授業の到達目標
A 高等学校における育課程編成のあり方を理解することができる。また、教育課程全体の中における英語科各科目教育の位置づけ・目標について理解することができる。 B 高等学校における英語授業の具体的な指導方法、および「授業分析方法と指導案作成方法」等の英語教育諸理論を理解することができる。 C 高等学校外国語科の学習指導案を作成することができる。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
できるだけ多くの英語教育関連図書を読み、また時間を作り、ワークショップや研究会に出席する事を強く薦める。授業外学修は最低４時間とする。

評価方法
①　授業中の小テスト　10%②　英語教育関連図書購読課題　30%③　中間・期末レポート　60%

教科書	参考図書
基礎から学ぶ英語科教育法（岡田圭子　他著、松柏社）	文部科学省　中学校／高等学校学習指導要領。その他授業時に指示する。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
オフィスアワーを含め、必要な連絡方法については授業時に指示する。

01	コース紹介、シラバス説明、英語教育の目的とは
02	英語教師論（英語教師として必要な知識・技術）
03	学習者論（学習者要因・学習ストラテジー）
04	言語習得と言語教育
05	教授法
06	学習指導要領・教科書分析（小・中・高等学校の連携）
07	学習指導要領・教科書分析（高等学校）
08	４技能と音声・語彙・文法指導
09	リスニング指導
10	スピーキング指導
11	リーディング指導
12	ライティング指導
13	ティーム・ティーチング・異文化理解教育
14	評価とテスト
15	教材研究・指導案
16	なし

科目名:英語科教育法 Ⅳ	担当者:柳田　綾	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	講義
免許･資格:中学校･高等学校教諭1種免許状（英語）		開講時期	後期
		配当学年	3
受講者制限:教職課程履修が学部により認められた者、及び原則として英語科教育法I、II、IIIを履修していること		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
本授業は、学芸学部ディプロマポリシーにある「グローバルな視点から言語および異文化を理解する能力」をつけ、それらを将来教育分野において生かすことが意識されている。英語科教育法Ⅳでは、教育実習で実際に英語授業を行うために必要な訓練を行う。前期の同授業Ⅲに続き、より実践に近い形を想定してこの授業を位置付ける。前期に学んだ英語教育諸理論を授業実践の中でどのように生かすかということを考える機会にすることが、本授業の最終的な目標である。

授業の到達目標
A 前期に学んだ英語教育理論を実践に応用することができる。B 学校文法の正しい知識を、コミュニケーション活動を中心とした活動で学習者に伝えるような高校の授業を考えることができる。C 高校の教科書をもとに、適切な学習指導案を作成することができる。D 教師／学習者それぞれの立場で積極的に模擬授業に参加することができる。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
できるだけ多くの英語教育関連図書を読み、また時間を作り、ワークショップや研究会に出席する事を強く薦める。授業外学修は最低４時間とする。

評価方法
模擬授業（50%）、図書課題（20%）、指導案・レポート（30%）

教科書	参考図書
基礎から学ぶ英語科教育法（岡田圭子　他著、松柏社）	文部科学省　中学校／高等学校学習指導要領。その他、授業時に指示する。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
オフィスアワーを含め、必要な連絡方法については授業時に指示する。

01	オリエンテーション（授業進行説明）、発音・音読の指導
02	コミュニケーション活動のデザインと実施（１）
03	コミュニケーション活動のデザインと実施（２）
04	評価とテスト
05	標準的授業構成と授業のモデル
06	指導案検討と模擬授業（１）
07	指導案検討と模擬授業（２）
08	指導案検討と模擬授業（３）
09	指導案検討と模擬授業（４）
10	指導案検討と模擬授業（５）
11	指導案検討と模擬授業（６）
12	指導案検討と模擬授業（７）
13	指導案検討と模擬授業（８）
14	指導案検討と模擬授業（９）
15	指導案検討と模擬授業（１０）
16	なし

2018年度シラバス

科目名:Social Anthropology	担当者:成田　弘成	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	3
受講者制限:None		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
This course is related to the 'Ability to understand languages and other cultures from the global perspective' mentioned in SLADE diploma policy. The aim of this class is to explore up-to-date topics of social anthropology by way of videos and materials written in English. We will focus on the social structure, drawing on case studies from the Pacific, Asia, Africa and the Americas. Throughout the course, ethnographic observations are related to anthropological theories concerning globalization, cultural change, economic development, cross-cultural communication, ethnicity, nationalism, and gender. This class will be taught using a combination of lecture, and in-class discussions to check the meaning and understanding of the material.

授業の到達目標
Upon successful completion of this course, students will be able to (a) understand the importance of anthropological concepts and methods, (b) explain globalization which many countries in the world face (c) think how to achieve the human cultural development, etc.

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
This course gives the material for students to consider. Therefore, students will need to pre-read class material to prepare questions and/or opinions on the subject matter to share in class discussions. Post class students will need to reflect, re-read material for a better understanding, and write their weekly reflection. Then students need to spend the two hours more for perparation and also two hours more for reflection after class.

評価方法
In order to be successful in this course, students will need to complete the following:(1)pass the quizzes 20%, (2)complete homework from the distributed papers 20%(3)give the presentation of one selective topic during the semester 20%. (4) successfully write a report 40%

教科書	参考図書
None	All materials will be provided.

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Hironari Narita's office is 3rd floor 7th building. His office hours will be from 12:30 to 13:00 Monday.

01	The Scope of Anthropology
02	Schools of Thought in Social Anthropology
03	Fieldwork : Kula exchange in Trobriand Island
04	Food-Getting: Hunter-Gathering People
05	Patrilineal Descent Groups: The Nuer
06	Matrilineal Societies: The Kerela
07	Meanings of Rituals
08	Market & Women
09	Shamanism and Religion
10	Minorities in the world: Australian Aborigines
11	Minorities in the world: Maori
12	Minorities in the world: American Indians
13	Case study of Papua New Guinea
14	Case study of Samoa
15	Toward the human cultural development
16	None

2018年度シラバス

科目名:Comparative Cultural Studies	担当者:成田　弘成	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	3
受講者制限:None		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
This class is related to the 'Ability to understand languages and other cultures from the global perspective' mentioned in SLADE diploma policy. In this class, we will regard the Disney culture as keyword and take up first the culture of American Disneyland and then those of other Asian & European theme parks, hence we will examine the necessary elements in the formation of global and local identity. Also we will understand the basic concept of authenticity and discuss the importance of "glocalization" which means interaction of the global and the local. This class will be taught using a combination of lecture, and in-class discussions to check the meaning and understanding of the materials.

授業の到達目標
Upon successful completion of this class, students will be able to (a) understand the importance of comparing cultures, (b) explain the differences between American and Asian culture, (c) think how to discuss the authenticity, etc.

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
This course gives the material for students to consider. Therefore, students will need to pre-read class material to prepare questions and/or opinions on the subject matter to share in class discussions. Post class students will need to reflect, re-read material for a better understanding, and write their weekly reflection. Then students need to spend the two hours more for perparation and also two hours more for reflection after class in every week.

評価方法
In order to be successful in this course, students will need to complete the following:(1)pass the quizzes 20%, (2)complete homework from the distributed papers 20%(3)give the presentation of one selective topic during the semester 20%. (4) successfully write a report 40%

教科書	参考図書
None	All materials will be provided.

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Hironari Narita's office is 3rd floor 7th building. His office hours will be from 12:30 to 13:00 Monday.

01	Walt Disney-Personal history
02	Mickey Mouse
03	Snow White
04	Disney Animations in 1990's
05	The Little Mermaid
06	Beauty and the Beast
07	The Lion King, etc.
08	Disneyland story as theme park(1) 1930's
09	Disneyland story as theme park(2) 1940's to 1950's
10	Disneyland story as theme park(3) after 1960's
11	Disneyland Japan
12	Disneyland Paris
13	Hong Kong & Shanghai Disneyland
14	Globalization of Disneyland (1) New Mission for Children
15	Globalization of Disneyland (2) Problems in the future
16	None

2018年度シラバス

科目名:観光とサブカルチャー	担当者:小栁　雅子	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	3
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
本科目は学芸学部ディプロマポリシーにおける「現代社会に必要とされる情報リテラシーを身につけ、国際社会に貢献できる能力」を育成するためのものです。現代社会には我々の生活を彩るサブカルチャーが沢山存在し、また日々新しく生まれ続けています。それらサブカルチャーを観光産業にどのように生かしていけるのかについて、具体的な事例から考えていきましょう。この授業は担当者による講義、受講生による発表および講評で進行します。

授業の到達目標
①様々なサブカルチャーの特質を理解する。②それらサブカルチャーと観光がどのように結びつきうるのかを理解する。③自らサブカルチャーを主とした観光プランを作り、そのプランの魅力等をプレゼンテーションできるようになる。以上３点を本授業の到達目標とします。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
サブカルチャーに関わる情報は、日々発信され続けています。授業で取り上げていくサブカルチャーの最新情報を、新聞やニュース、インタネットなどを通じて把握するようにしましょう。また、最終的に自分で作った観光プランを自らプレゼンテーションしてもらいますので、その準備学修が必要となります。１回の授業当たり１～２時間あたりの準備・事後学修を実施することが望ましいです。

評価方法
①毎回の授業の参加態度（授業内での発言や課題の内容：10点×15回分＝150点）②自分自身で作成する観光プランの内容（100点）②プレゼンテーション（50点）を総合評価します。60%（180点）が単位取得ラインです。

教科書 使用しません（毎回レジュメを配布します）	参考図書 授業内で適宜紹介します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
現代を若々しい感性で生きる皆さんだからこその発想を期待しています。連絡の必要性がある場合は、担当者の研究室（研究管理棟３階―12）までお越しください。オフィスアワーは授業内でお知らせします。

01	授業オリエンテーション＋現代における観光産業の課題
02	現代におけるサブカルチャーの特質－そもそもサブカルチャーって何だろう？
03	若者文化とサブカルチャー
04	サブカルチャーと観光①－「グルメ」と観光
05	サブカルチャーと観光②－「ファッション」と観光
06	サブカルチャーと観光③－「映画・ドラマ」と観光
07	サブカルチャーと観光④－「アイドル」と観光
08	サブカルチャーと観光⑤－「アニメ・コスプレ」と観光
09	サブカルチャーと観光⑥－「ゲーム」と観光
10	サブカルチャーと観光⑦－「ネット・SNS」と観光
11	観光プランを作ってみよう①－プランを作る時の留意点は？
12	観光プランを作ってみよう②－サブカルチャーを使った観光プラン作り
13	観光プランのプレゼンテーション①（受講生によるプレゼンテーションを行います）
14	観光プランのプレゼンテーション②（受講生によるプレゼンテーションを行います）
15	本授業のまとめ－人々を旅にいざなう観光とは
16	なし

2018年度シラバス

科目名:観光政策論	担当者:根尾　文彦	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	3
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
本授業は学芸学部のディプロマポリシーである現代社会において必要とされる情報リテラシーを習得し国際社会に貢献できる能力を身につけることが望まれる。少子高齢社会である我が国の観光政策も大きく変化している。昨今の大きな課題は「訪日観光（インバウンド）」と「観光まちづくり」である。なぜこれらの政策が重要であるかの社会的背景を理解し、現在のこれらの政策の現状を把握し課題を抽出しその方向性を模索する。同時に「日本人海外旅行」も伸び悩んでおり、今後はこれまで以上に大胆な政策が必要となるため、本授業ではこの３点の基礎知識について学ぶ。

授業の到達目標
①訪日観光（インバウンド）の現状を把握し、課題を抽出する。②観光まちづくりの現状を把握し、課題を抽出する。③日本人海外旅行の現状を把握し、課題を抽出する。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
観光専門雑誌（㈱トラベルジャーナル発行、発行人　森谷博）『週間トラベルジャーナル』（図書館にあり）などを読み基礎知識を身に付ける。

評価方法
授業への参加態度（50%）、レポート内容（50%）

教科書	参考図書
特になし、プリントを配布する	トラベルジャーナル

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
連絡先　neo@ohkagakuen-u.ac.jp研究室 7307教室

01	現在の我が国の観光の状況と社会的背景
02	これまでの観光政策
03	訪日旅行の現状と課題　①（これまでの経過）
04	訪日旅行の現状と課題　②（最近の状況　アジア諸国）
05	訪日旅行の現状と課題　③（最近の状況　欧米諸国）
06	訪日旅行の現状と課題　④（今後において望まれること）
07	グループディスカッション及びレポート（訪日旅行）
08	観光まちづくりの現状と課題　参考事例①
09	観光まちづくりの現状と課題　参考事例②
10	観光まちづくりの現状と課題　参考事例③
11	観光まちづくりの現状と課題　参考事例④
12	グループディスカッション及びレポート（観光まちづくり）
13	日本人海外旅行の現状と課題　①（これまでの歴史）
14	日本人海外旅行の現状と課題　②（今後において望まれること）
15	グループディスカッション及びレポート（日本人海外旅行）
16	なし

2018年度シラバス

科目名:Seminar Ⅰ	担当者:井川　恵理	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	3
受講者制限:PC use is required.		単位数	1
		必須.選択	必須

授業概要と方法
This course is related to 'ability to use critical analysis based on the acquired knowledge and to offer logical messages to the globalized societies' mentioned in SLADE diploma policy. Course Description:This seminar covers the British Studies through designated materials, Harry Potter and the Philosopher's Stone and the U.K. current issues.General Approach: Students will 1) read the above book and discuss the related topic, and make a presentation. 2) discuss the member's research content after the presentation. 3) experience local cultural event(s) to understand Japanese culture and/or the U.K.-Japan relationship. 4) prepare for the semester learning portfolio.

授業の到達目標
Upon successful completion of this course, students will be able to….a. Understand the ideas of the author (to certain extent) when creating the world of Harry Potter.b. Understand how the creation is affected by the present social systems.c. Understand how the creative work influence the society and culture.d. Research a topic related to the course subject in details.e. Present their research in a professional manner both orally and in writing.f. Experience event(s) of Japanese traditional culture and/or the U.K.-Japan relationship.g. Articulate their thoughts critically.

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
1) Students are expected to register for 'British Studies' and learn the basic knowledge of the U.K.2) Read the designated section of the textbook well. Read it aloud. Check pronunciation of unknown words and phrases. Check them in English-English dictionaries and be ready for paraphrasing. Compare the situation with modern British society. 3) Keep updated with the UK news.4) 2 hours of work outside the class is expected.

評価方法
1. Active Participation (Being on time to class, listening to other members' opinions, preparing for each task, expressing her own opinion in English) 30%2. Harry Potter and the U.K. Issues Submission and Presentation 40%3. Semester Learning Portfolio (SLP) of the previous semester20%4. Semester Learning Portfolio Presentation10%

教科書	参考図書
J. K. Rowling, _Harry Potter and the Philosopher's Stone_ (Bloomsbury 1997)	For the U.K. current issues, some on-line U.K. news (e.g. The Guardian, BBC, The Express, etc.) and Japanese news will be useful.

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Harry Potter: Read the designated section aloud and check the ambiguous words and phrases well.Contact: Office 7310. Office hours and contact e-mail address will be given in class.

01	Introduction, Explanation of the Course Conten and Schedule, My Plan
02	My Plan and Registration Check, Harry Potter and its Construction, the U.K. Issues
03	Chapter One: The Boy Who Lived (Difference from the Film version)
04	Chapter One: The Boy Who Lived (Importance of the Dursleys), SLP Submission
05	Chapter One: The Boy Who Lived ('Something strange' from muggles' point of view), SLP Presentation
06	Chapter One: The Boy Who Lived (Summary) , Poster Preparation, Experience Japanese Culture
07	Chapter Two: The Vanishing Glass (Dudley and Harry), Poster Preparation
08	Chapter Two: The Vanishing Glass (Harry and the snake), the U.K. Issues
09	Chapter Two: The Vanishing Glass (Summary)
10	Chapter Three: The Letters from No One (The U.K. School Systems-England), the U.K. Issues
11	Chapter Three: The Letters from No One (The U.K. School Systems-Other Areas)
12	Chapter Three: The Letters from No One (Wax-Sealing)
13	Chapter Three: The Letters from No One (Summary), the U.K. Issues
14	Chapter Four: The Keeper of the Keys (Symbol of a 'key' and 'keeper')
15	Chapter Four: The Keeper of the Keys (Summary), Summer Assignment
16	None

2018年度シラバス

科目名:Seminar Ⅰ	担当者:根尾　文彦	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	3
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	必須

授業概要と方法
本ゼミでは学芸学部ディプロマポリシーにある、批判的な思考ができ、グローバル化した社会に向けて論理的で創造的な発信ができる能力を身に付けることが望まれる。こ本ゼミの基本テーマは「観光まちづくり」である。少子高齢社会の中で、今や我が国の重要な成長戦略の柱の一つである地域創生において「町づくり」を観光の観点から実践的に学習する。主に愛知県内の各地へ出かけて、その地域の人々との交流を深めて抱える課題を理解し解決策を模索、提案する。また2年前から始まった「あいち学生観光まちづくりアワード」へチャレンジする。

授業の到達目標
①地域の歴史、文化、伝統、生活環境などを理解する。②その地域が抱える課題を抽出する。③課題解決策を模索し、方向性及び自分たちの考えを提案する。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
主に愛知県内の観光政策上の事例研究として地元の豊明市、名古屋市（有松・桶狭間地区及びその他地区）、豊田市足助地区、刈谷市などでフィールワーク活動を実施する。

評価方法
授業及びフィールドワーク活動内容（50%）プレゼンテーションの内容（50%）

教科書 特になし	参考図書 観光関連専門雑誌（㈱トラベルジャーナル発行）『トラベルジャーナル』など

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
連絡先　neo@ohkagakuen-u.ac.jp研究室　7307号室

01	授業概要・授業計画、MY planの作成と確認
02	現在の我が国の観光分野の現状把握、履修計画、My planの完成
03	愛知県、名古屋市、豊明市などの観光分野の現状 ①、学期学習ポートフォリオの初校提出
04	愛知県、名古屋市、豊明市などの観光分野の現状 ②
05	特定地域の研究（地域の選定 ①、学期学習ポートフォリオの初校提出、学期学習ポートフォリオの最終稿提出
06	特定地域の研究（フィールドワーク、調査） ②、学期学習ポートフォリオの発表
07	特定地域の研究（フィールドワーク、調査） ③
08	特定地域の研究（フィールドワーク、調査） ④
09	特定地域の研究（まとめ） ⑤
10	地域研究 （まとめ）⑥
11	地域研究 （まとめ）⑦
12	あいち学生町づくり企画提案書作成 ①
13	あいち学生町づくり企画提案書作成 ②
14	あいち学生町づくり企画提案書作成 ③
15	研究発表（途中経過）
16	なし

2018年度シラバス

科目名:Seminar Ⅰ	担当者:森田　優己	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	3
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	必須

授業概要と方法
この科目は、学芸学部ディプロマポリシーに掲げる「グローバル化した社会に向けて論理的で創造的に発信できる能力」を育成することを目的としている。現代日本の社会・経済問題とりわけ労働・女性・地域社会と家族の変化を中心に、文献学習と議論を積み上げる。受講者には、毎週、国内外の新聞や雑誌、インターネットのニュースを報告してもらい、情報を共有する。文献学習では、乱読・多読の一方で、内容を要領よく正確にまとめる訓練を行う。資料収集のため、学外に出ることもある。

授業の到達目標
現代日本の社会・経済問題とは何かについて、様々な視点からのアプローチがあることを知る。他人の意見を聴き、読み、その内容について、正確に要約することができる技術を身につける。データなど情報収集の仕方がわかるようになる。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
準備学修：国内外の新聞や雑誌、インターネットのニュースの報告準備、レジュメの作成　２時間事後学修：授業中に取り上げられた論点整理、１時間

評価方法
2年後期のSemester Learning Portfolio（8科目以上）15%　Presentation on Semester Learning Portfolio（一人10分）5%　毎週のニュース報告30%　　文献等の要約レジュメ30%　　授業への参加態度20%

教科書	参考図書
随時指定	授業中に指示する

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
オフィスアワー、連絡方法は授業中に連絡する。授業予定は変更することがある。

01	オリエンテーション
02	ニュース分析　同じ出来事の異なる視点　①　　関連文献・データを探してみよう①
03	ニュース分析　同じ出来事の異なる視点　②　　関連文献・データを探してみよう②　SLP Draft
04	ニュース分析　同じ出来事の異なる視点　③　　関連文献・データを探してみよう②
05	ニュース分析　乱読・多読　①　要約の技術　①　SLP Final
06	ニュース分析　乱読・多読　②　要約の技術　②　SLP Presentation
07	ニュース分析　乱読・多読　③　要約の技術　③
08	ニュース分析　乱読・多読　④　要約の技術　④
09	ニュース分析　乱読・多読　⑤　分析視角とエビデンス　①
10	ニュース分析　乱読・多読　⑥　分析視角とエビデンス　②
11	ニュース分析　乱読・多読　⑦　分析視角とエビデンス　③
12	ニュース分析　乱読・多読　⑧　異なる論点の比較整理　①
13	ニュース分析　乱読・多読　⑧　異なる論点の比較整理　②
14	ニュース分析　乱読・多読　⑧　異なる論点の比較整理　③
15	各自の到達点と課題の確認
16	なし

科目名:Seminar Ⅰ	担当者:柳田　綾	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	3
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	必須

授業概要と方法
This course is related to ability to use critical analysis on the acquired knowledge and to offer logical message to the globalized societies mentioned in SLADE diploma policy. In this seminar, students learn general ideas about what critical thinking is. They are asked to apply critical thinking skills outside of class and in their daily lives. In class, the teacher introduces several topics in a textbook. Students read chapters in the textbook, apply the skills in their lives, and report how the critical thinking skills affected their lives.

授業の到達目標
Upon successful completion of this course, students will be able to 1. understand the basic ideas of critical thinking 2. apply critical thinking skills in their lives3. be able to think with their own minds and articulate their ideas clearly4. be able to learn collaboratively with others5. research a topic related to the course subject in detail and present their research

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
Students need to come to class on time, do the homework and hand it in on time. Students are responsible for any work they miss due to an absence. Not doing homework or submitting late will result in losing points. All materials must be brought to class each week in an organized matter. They should be prepared to discuss the homework in class and they need to actively express themselves. Since this is a 1-credit course, students are asked to study for 2 hours per week out of class.

評価方法
In order to be successful in this course, students will need to complete the following: 1. Weekly Report (30%) 2. Homework (30%) 3. Research topic presentation (20%) 4. Semester Learning Portfolio (15%) 5. Semester Learning Portfolio Presentation (5%)

教科書	参考図書
あなたの思考をガイドする４０の原則　クリティカルシンキング入門編　E.B.ゼックミスタ・J.E.ジョンソン　著（北大路書房）	To be supplied by the instructor.

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Aya Yanagida’s office is 7309; office hours and e-mail will be announced.

01	Course Overview; My Plan
02	Chapter 1: (1) What is critical thinking?, My Plan finalized; Registration check
03	Chapter 1: (2) practical approach to develop CT, 1st draft of Semester Learning Portfolio due
04	Chapter 2: Think about the cause (1) inference of cause
05	Chapter 2: Think about the cause (2) criteria to decide cause-effect link, Final draft of Semester Learning Portfolio due
06	Chapter 2: Think about the cause (3) strategies to decide true cause-effect link, Semester Learning Portfolio Presentation due
07	Chapter 3: Explain behavior of others (1) internal vs. external cause
08	Chapter 3: Explain behavior of others (2) importance of causes
09	Chapter 3: Explain behavior of others (3) improve "attribution of causality"
10	Chapter 4: Reflect yourself (1) self-service bias
11	Chapter 4: Reflect yourself (2) cognitive dissonance
12	Chapter 4: Reflect yourself (3) making rational judgement on ourselves
13	Chapter 5: Analyze beliefs (1), impact of experience, Write a Course Reflection Portfolio
14	Chapter 5: Analyze beliefs (2), chance vs. probability, Write a Course Reflection Portfolio
15	Chapter 5: Analyze beliefs (3), impact of our beliefs, Write a Course Reflection Portfolio
16	

2018年度シラバス

科目名:Seminar Ⅰ	担当者:Donovan Clarke	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	3
受講者制限:Mac computer required		単位数	1
		必須.選択	必須

授業概要と方法
Overview and Methods:This course is related to using critical analysis based on knowledge acquired and to contribute to a globalized society mentioned in SLADE's diploma policy.This seminar covers the broad area of international relations, current affairs and business. Other topics of this seminar include - Current world and national issues and events; business issues, culture and events. Students will decide on an area for further research and work independently on their topics. Seminar students have a choice in looking at different aspects of International Relations, Current Affairs and business. We will have in-class discussions to talk about current affairs, business and other international relations topics introduced by the teacher and students. General Method: This seminar is a research and discussion based seminar. Students need to come to class prepared to discuss topics and events happening in the world each week. In class, all students will actively take part and learn from each other. Students will decide on an area to research deeply and work independently on their topics. Students will be required to read or watch world and business news weekly and report on issues in class. Students are required give a final presentation on their topic and turn in a CRP. A seminar trips will be based on a mutually agreed upon theme related to the course subject. Students' learning portfolio from 2nd year fall semester will be checked and graded. Student will give a presentation on their 2nd year fall semester learning portfolio.

授業の到達目標
Goals/Objective of Course: Upon successful completion of this course, students will be able to….1. understand how selected current affairs, international relations and global politics affects their lives2. understand how some current affairs, international relations and global politics affects business around the world. 3. use developed skills to relate to international events, people from different cultures and business settings4. plan, develop, and research the student's research topic.5. present their research in a professional manner orally.

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
Study Requirements:Students need to do the homework and be prepared to discuss it in English in class to pass the course. Students will do Internet research for class, so students need to have access to the Internet and computer research skills. Students must be able to work with other students to participate in this class. Also, students need to actively express themselves to participate in class.

評価方法
Evaluation Methods:Course Requirements (Major Assignments, Quizzes & Exams including Dates) In order to be successful in this course, students will need to complete the following:1. Actively Participate in class☐ 35%2. Homework☐ 20%3. Research Presentation 15%4. Learning portfolio ☐ 15%5. Learning portfolio presentation 5% 6. Class reflection portfolio☐ 10 %

教科書	参考図書
Textbooks: To be supplied by the instructor	Reference Books other Course Materials: To be supplied by the instructor

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Other: (Advice to students, Contact information) There are no prerequisites for this course. Donovan Clarke's office is 7308, his office hours will be announced. His e-mail is clarke@ohkagakuen-u.ac.jp Any questions or concerns about the course should be discussed with Donovan.The Moodle site will be used to provide additional materials for students.

01	Course introduction and syllabus
02	Current world issues - Introduction to news
03	Current world issues - N. America - Semester learning portfolio - first draft
04	Current world issues - N. America
05	Current world issues - N. America - learning portfolio - final draft
06	Semester learning portfolio presentation - N. America
07	Current world issues - Europe
08	Current world issues - Europe
09	Current world issues - Europe
10	Current world issues - Europe
11	Current world issues - Africa
12	Current world issues - Africa
13	Current world issues - Africa
14	Current world issues - student choice
15	Presentation and CRP
16	none

2018年度シラバス

科目名:Seminar Ⅰ	担当者:都　恩珍	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	3
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	必須

授業概要と方法
本授業は、学芸学部ディプロマポリシーにある「修得した知識に基づいて、批判的思考ができ、グローバル化した社会に向けて論理的で創造的な発信ができる能力」と関連しています。韓国人の行動様式を知り、日本人との違いの原因を考えます。主に大衆文化の社会的背景を理解します。毎週の韓国ニュースを一つずつ取り上げ、授業中に紹介しあい、情報を共有します。Skypeなど高度のメディアを利用して遠隔で行うことがあります。資料収集のための現地調査などを実施することがあります。

授業の到達目標
韓国文化の幅広いテーマについて理解を深めることができます。韓国語の資料やデータ、文献などを参考にしながら一部を韓国語で引用または作成できるように準備します。自分の論文のトピックを決めます。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
準備学修：テキストを読んでください。必要時間：約30分　事後学修：授業中に取り上げられたニュースについてさらに調べてまとめてください。必要時間：約１時間

評価方法
2年後期のSemester Learning Portfolio（8科目以上）15%　Presentation on Semester Learning Portfolio（一人10分）5%　毎週のニュースプレゼン30%　　資料収集・整理・要約30%　　授業への参加態度20%

教科書	参考図書
現代韓国を知るための60章【第2版】石坂浩一・福島みのり（明石書店）	授業中に提示します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
自分の視点を持って取り組みましょう。　オフィスアワー：金曜日３限　連絡方法は授業中に提示します。諸事情により予定を変更することもあります。　「日韓交流おまつりinTokyo」に参加・交流政策の視点からフィールド調査

01	授業概要・履修計画 My planの作成と確認
02	履修計画My planの完成
03	学期学習ポートフォリオの初校提出
04	現代韓国語の形成、週間韓国ニュース
05	学期学習ポートフォリオの最終稿提出
06	学期学習ポートフォリオの発表
07	現代韓国語の形成、週間韓国ニュース
08	K-POPへの道のり/K-POPアイドルの誕生、週間韓国ニュース
09	新聞・放送/ SNS、週間韓国ニュース
10	文学、週間韓国ニュース
11	韓国のプロ野球/オリンピック、週間韓国ニュース
12	日流と出版、週間韓国ニュース
13	食文化の現代化、週間韓国ニュース
14	美術/新聞・放送 、週間韓国ニュース
15	多文化時代と宗教、週間韓国ニュース、確認テスト
16	なし

2018年度シラバス

科目名:Seminar Ⅰ	担当者:Shannon Kiyokawa	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	3
受講者制限:Mac computer required.		単位数	1
		必須.選択	必須

授業概要と方法
This course is related to the ability to use critical analysis based on the acquired knowledge mentioned in the SLADE diploma policy. This seminar covers women's domestic and global issues. In this course students will at first, learn about current issues that impact the lives of women in Japan and then will expand their studies to include issues that affect women all over the world. Students will also look at the NPO's/NGO's that help and support women. In class, current women's issues will be introduced and discussed. Students will also take turns researching and presenting about these women's issues and relevant NPO's/NGO's. Students MUST read regularly, participate and communicate IN ENGLISH during class discussions.

授業の到達目標
Upon successful completion of this course, students will be able to….1. have an increased awareness of social equality and justice2. develop a greater commitment to activism for women's causes3. develop skills to analyze how current women's issues in the world affect the students' own lives. 4. research a topic related to the course subject in detail and present their research 5. be able to speak their thoughts critically

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
Students need to come to class on time. As students cannot participate if they are absent or late, participation depends in part on attendance. Students need to do the homework and hand it in on time. Students are responsible for any work they miss due to an absence. Not doing homework or submitting it late will result in losing points. All materials must be brought to class each week in an organized manner. Students are required to bring their computers to class and keep a back up of their materials. They should be prepared to discuss the homework in English in class to pass the course. Students must be able to work with other students to participate in this class. Also, students need to actively express themselves.

評価方法
Participation is graded on 1. Participation☐
40%☐ 2. Presentations ☐ 40%☐
☐ 3. Semester Learning
Portfolio 15%4. Semester Learning Portfolio
Presentation 5%

教科書	参考図書
None. The course materials will be supplied by the instructor and students should act independently in finding the resources for their presentations	None

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
There are no prerequisites for this course. Shannon Kiyokawa's office is 7325; her office hours will be announced. Her e-mail is: kiyokawa@ohkagakuen-u.ac.jp Any questions or concerns about the course should be discussed with Shannon.

01	Course Overview/ My Plan
02	My Plan finalized/Registration check
03	Japanese Women's Issues/1st draft of Semester Learning Portfolio due
04	Japanese Women's Issues
05	Japanese Women's Issues Japanese Women's Issues/Final draft of Semester Learning Portfolio due☐ Final draft of Semester Learning Portfolio due
06	Semester Learning Portfolio Presentation due / Japanese Women's Issues
07	Presentations
08	Global Women's Issues
09	Global Women's Issues
10	Global Women's Issues
11	Presentations
12	NPO/NGO
13	NPO/NGO
14	NPO/NGO
15	Presentations
16	None

2018年度シラバス

科目名:Seminar Ⅰ	担当者:高　文軍	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	3
受講者制限:中国文化に関心を持っていて、自分で資料収集・検索・閲覧等ができる者。		単位数	1
		必須.選択	必須

授業概要と方法 本授業は、学芸学部ディプロマポリシーにある「グローバルな視点から言語および異文化を理解する能力」と関連している。中国伝統文化を理解する。中国人の行動様式を知り、日本人との違いの原因を考える。中国の伝統風習について理解する。日中関係の過去を知り、現在を再認識する。中国における日本文化の受容実情、お互いの影響と様々レベルの融合を知って置く。各自が興味あるテーマについて調べ、内容を毎回紹介しあい、情報・知識を共有する。必要に応じて、Skypeなど高度のメディアを利用して遠隔で行うことがある。
授業の到達目標 中国文化の幅広いテーマについて理解を深めることができる。中国語の資料やデータ、文献などを参考にし、一部を中国語で引用または作成できるように準備する。自分の論文のトピックを確定する。
授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修 中国語の資料やデータ、文献などを収集すること、場合によって、現地へ行き自分の研究課題について調査することもある。
評価方法 授業への参加態度20%、毎回の課題40%、プレゼンテーション40%

教科書	参考図書
オリジナル資料配布	授業時に提示する

その他(学生へのアドバイス、連絡手段) ・連絡先は授業で開示する　・諸事情により予定を変更することもある。

01	Course Overview; My Plan (授業概要・履修計画 My planの作成と確認) Course Overview; My Plan (授業概要・履修計画 My planの作成と確認)
02	My Plan finalized; Registration check (履修計画My planの完成)
03	1st draft of Semester Learning Portfolio due (学期学習ポートフォリオの初校提出)
04	中国の伝統文化について
05	Final draft of Semester Learning Portfolio due (学期学習ポートフォリオの最終稿提出)
06	Semester Learning Portfolio Presentation due (学期学習ポートフォリオの発表)
07	中国人の行動様式
08	中国と日本の対照比較　テーマの構想発表①
09	中国の伝統祭日①　端午の節句と屈原、粽（ちまき）体験
10	中国の歳時風習①
11	中国の少数民族①
12	中国の大衆文化：日本文化の受け入れ①
13	中国の文化政策（1）
14	日中関係の過去と現在（1）
15	テーマの構想発表②、討論
16	なし

2018年度シラバス

科目名:Seminar Ⅱ	担当者:井川　恵理	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	3
受講者制限:PC use is required.		単位数	1
		必須.選択	必須

授業概要と方法
This course is related to 'ability to use critical analysis based on the acquired knowledge and to offer logical messages to the globalized societies' mentioned in SLADE diploma policy. Course Description:This seminar covers the British Studies through designated materials, Harry Potter and the Philosopher's Stone and the U.K. current issues.General Approach: Students will 1) read the above book and discuss the related topic, and make a presentation. 2) discuss the member's research content after the presentation. 3) experience local cultural event(s) to understand Japanese culture and/or the U.K.-Japan relationship. 4) prepare for the semester learning portfolio.

授業の到達目標
Upon successful completion of this course, students will be able to….a. Understand the ideas of the author (to certain extent) when creating the world of Harry Potter.b. Understand how the creation is affected by the present social systems.c. Understand how the creative work influence the society and culture.d. Research a topic related to the course subject in details.e. Present their research in a professional manner both orally and in writing.f. Experience event(s) of Japanese traditional culture and/or the U.K.-Japan relationship.g. Articulate their thoughts critically.

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
1) Read the designated section of the textbook well. Read it aloud. Check pronunciation of unknown words and phrases. Check them in English-English dictionaries. Compare the situation with modern British society. 2) Keep updated with the UK news.3) 2 hours of work outside the class is expected.4) Students are expected to register for British Literature.

評価方法
1. Active Participation (Being on time to class, listening to other members' opinions, preparing for each task, expressing her own opinion in English) 30%2. Harry Potter and the U.K. Issues Submission and Presentation 40%3. Semester Learning Portfolio (SLP) of the previous semester20%4. Semester Learning Portfolio Presentation10%

教科書	参考図書
J. K. Rowling, _Harry Potter and the Philosopher's Stone_ (Bloomsbury 1997)	For the U.K. current issues, some on-line U.K. news (e.g. The Guardian, BBC, The Express, etc.) and Japanese news will be useful.

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Harry Potter: Read the designated section aloud and check the ambiguous words and phrases well.Contact: Office 7310. Office hours and contact e-mail address will be given in class.

01	Introduction, Explanation of the Course Conten and Schedule, My Plan
02	My Plan and Registration Check, Seminar I review, the U.K. Issues
03	Chapter Five: Diagon Alley (Various naming of streets in the U.K.)
04	Chapter Five: Diagon Alley (U.K. School and Uniforms), SLP Submission
05	Chapter Five: Diagon Alley (U.K. School Calendar), SLP Presentation
06	Chapter Five: Diagon Alley (Summary), the U.K. Issues
07	Chapter Six: The Journey from Platform Nine and Three-Quarters (Roles of the characters: station officer)
08	Chapter Six: The Journey from Platform Nine and Three-Quarters (The Weasleys)
09	Chapter Six: The Journey from Platform Nine and Three-Quarters (Hogwarts Express, Location), the U.K. Issues
10	Chapter Six: The Journey from Platform Nine and Three-Quarters (Summary)
11	Chapter Seven: The Sorting Hat (Role of Dormitory), the U.K. Issues
12	Chapter Seven: The Sorting Hat (Rhymes)
13	Chapter Seven: The Sorting Hat (Character of Each House)
14	Chapter Seven: The Sorting Hat (Read it aloud like the Hat!), the U.K. Issues
15	Chapter Five to Seven: summary
16	None

2018年度シラバス

科目名:Seminar Ⅱ	担当者:根尾　文彦	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	3
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	必須

授業概要と方法
本ゼミでは学芸学部ディプロマポリシーにある、批判的な思考ができ、グローバル化した社会に向けて論理的で創造的な発信ができる能力を身に付けることが望まれる。本ゼミの基本テーマは「観光まちづくり」である。少子高齢社会の中で、今や我が国の重要な成長戦略の柱の一つである地域創生において「町づくり」を観光の観点から実践的に学習する。主に愛知県内の各地へ出かけて、その地域の人々との交流を深めて抱える課題を理解し解決策を模索、提案する。

授業の到達目標
①地域の歴史、文化、伝統、生活環境などを理解する。②その地域が抱える課題を抽出する。③課題解決策を模索し、方向性及び自分たちの考えを提案する。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
主に愛知県内の観光政策上の事例研究として地元の豊明市、名古屋市（有松・桶狭間地区及びその他地区）、豊田市足助地区、刈谷市などでフィールワーク活動を実施する。

評価方法
授業及びフィールドワーク活動内容（50%）プレゼンテーションの内容（50%）

教科書 特になし	参考図書 観光関連専門雑誌（㈱トラベルジャーナル発行）『週間トラベルジャーナル』など

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
連絡先　neo@ohkagakuen-u.ac.jp研究室　7307号室

01	授業概要、履修計画、My planの作成と確認
02	あいち学生町づくり企画提案書作成 ④、履修計画My planの完成、学期学習ポートフォリオの初校提出
03	あいち学生町づくり企画提案書作成 ⑤
04	あいち学生町づくり企画提案書作成 ⑥、学期学習ポートフォリオの最終稿提出
05	あいち学生町づくり企画提案書作成 ⑦、学期学習ポートフォリオの発表
06	あいち学生町づくり企画提案書作成 ⑧
07	あいち学生町づくり企画提案書作成 ⑨
08	各自地域研究（フィールドワーク、調査） ①
09	各自地域研究（フィールドワーク、調査）②
10	各自地域研究（フィールドワーク、調査） ③
11	各自地域研究（まとめ） ④
12	各自地域研究（まとめ） ⑤
13	各自地域研究 （まとめ）⑥
14	各自地域研究 （まとめ）⑦
15	研究発表
16	なし

2018年度シラバス

科目名:Seminar Ⅱ	担当者:森田　優己	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	3
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	必須

授業概要と方法
この科目は、学芸学部ディプロマポリシーに 現代日本の社会・経済問題とりわけ労働・女性・地域社会と家族の変化を中心に、文献学習と議論を積み上げる。受講者には、毎週、国内外の新聞や雑誌、インターネットのニュースを報告してもらい、情報を共有する。文献学習では、乱読・多読から卒業し、自分の問題意識にあった文献を精読し自分の考えを練り上げていく訓練を行う。機会があれば、学外の講演会などに出かけることがある。掲げる「グローバル化した社会に向けて論理的で創造的に発信できる能力」を育成することを目的としている。

授業の到達目標
問題意識を明確化し、何をどのように調べていけばいいかという研究の技術を身につけることができる。その過程を通じて、自分なりの物の見方・視点を形成する。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
準備学修：国内外の新聞や雑誌、インターネットのニュースの報告準備、レジュメの作成　２時間　事後学修：授業中に指摘された事項、他の学生の意見をもとに、レジュメを再整理する　２時間

評価方法
　3年前期のSemester Learning Portfolio（8科目以上）15%　Presentation on Semester Learning Portfolio（一人10分）5%　毎週のニュース報告30%　　文献等の要約レジュメ30%　　授業への参加態度20%

教科書	参考図書
随時指定	授業中に指示する

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
オフィスアワー、連絡方法は授業中に開示する。予定は変更することもある。

01	オリエンテーション
02	ニュースの分析と関連情報の整理　労働問題関連文献精読・発表、議論　①　My Plan,SLP Draft
03	ニュースの分析と関連情報の整理　労働問題関連文献精読・発表、議論　②
04	ニュースの分析と関連情報の整理　労働問題関連文献精読・発表、議論　③　SLP Final
05	ニュースの分析と関連情報の整理　労働問題関連文献精読・発表、議論　④　SLP Presentation
06	ニュースの分析と関連情報の整理　女性問題関連文献精読・発表、議論　①
07	ニュースの分析と関連情報の整理　女性問題関連文献精読・発表、議論　②
08	ニュースの分析と関連情報の整理　女性問題関連文献精読・発表、議論　③
09	ニュースの分析と関連情報の整理　女性問題関連文献精読・発表、議論　④
10	ニュースの分析と関連情報の整理　地域社会の変化と家族関連文献精読・発表、議論　①
11	ニュースの分析と関連情報の整理　地域社会の変化と家族関連文献精読・発表、議論　②
12	ニュースの分析と関連情報の整理　地域社会の変化と家族関連文献精読・発表、議論　③
13	ニュースの分析と関連情報の整理　地域社会の変化と家族関連文献精読・発表、議論　④
14	ニュースの分析と関連情報の整理　現代日本の社会・経済問題と世界の中での日本　議論
15	各自の到達点と課題の確認
16	なし

2018年度シラバス

科目名:Seminar Ⅱ	担当者:柳田　綾	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	3
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	必須

授業概要と方法
This course is related to ability to use critical analysis on the acquired knowledge and to offer logical message to the globalized societies mentioned in SLADE diploma policy. In this seminar, students learn general ideas about what positive psychology and critical thinking is. They are asked to do the exercises in a textbook and apply the skills outside of class and in their daily lives. In class, the teacher introduces several topics in a textbook. Students read chapters in the textbook, apply the skills in their lives, and report how skills of positive psychology affected their lives.

授業の到達目標
Upon successful completion of this course, students will be able to 1. understand the basic ideas of positive psychology and critical thinking2. apply positive psychology and critical thinking skills in their lives3. be able to think with their own minds and articulate their ideas clearly4. be able to learn collaboratively with others5. research a topic related to the course subject in detail and present their research

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
Students need to come to class on time, do the homework and hand it in on time. Students are responsible for any work they miss due to an absence. Not doing homework or submitting late will result in losing points. All materials must be brought to class each week in an organized matter. They should be prepared to discuss homework in class and they need to actively express themselves. Since this is a 1-credit course, students are asked to study for 2 hours per week out of class.

評価方法
In order to be successful in this course, students will need to complete the following: 1. Weekly Report (30%) 2. Homework (30%) 3. Research topic presentation (20%) 4. Semester Learning Portfolio (15%) 5. Semester Learning Portfolio Presentation (5%)

教科書
イラスト版 子どものためのポジティブ心理学: 自分らしさを見つけやる気を引き出す51のワーク　足立 啓美, 岐部 智恵子, 鈴木 水季, 緩利 誠, 日本ポジティブ教育協会　(合同出版)

参考図書
To be supplied by the instructor.

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Aya Yanagida's office is 7309; office hours and e-mail will be announced.

01	Course Overview; My Plan
02	Work 1, "What is culture and intercultural competence," My Plan finalized; Registration check
03	Work 2, Depth of Reflection, 1st draft of Semester Learning Portfolio due
04	Work 3, "Active Listening," multiple definition of Critical Thinking
05	Work 4, "Cascading New Knowledge," Final draft of Semester Learning Portfolio due
06	Work 5, "Description vs. Interpretation," Semester Learning Portfolio Presentation due
07	Work 6, "Encouraging Reflective Practice in Others"
08	Work 7, "Cultural Bumps"
09	Work 8, "Key Concepts in Intercultural Communication"
10	Work 9, "Critical Thinking Rubric"
11	Work 10, "Same practice, different context, different outcome"
12	Work 11, "Power differential," creating a lesson plan
13	Work 12, Revise a lesson plan, Write a Course Reflection Portfolio
14	Demonstration lesson on positive psychology, Write a Course Reflection Portfolio
15	Demonstration lesson on critical thinking, Write a Course Reflection Portfolio
16	

2018年度シラバス

科目名:Seminar Ⅱ	担当者:Donovan Clarke	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	3
受講者制限:Mac computer required		単位数	1
		必須.選択	必須

授業概要と方法
Overview and Methods:This course is related to using critical analysis based on knowledge acquired and to contribute to a globalized society mentioned in SLADE's diploma policy.This seminar continues from Seminar I and covers the broad area of international relations, current affairs and business. Other topics of this seminar include - Current world and national issues and events; business issues, culture and events. Students will decide on an area for further research and work independently on their topics. Seminar students have a choice in looking at different aspects of International Relations, Current Affairs and business. We will have in-class discussions to talk about current affairs, business and other international relations topics introduced by the teacher and students. General Method: This seminar is a research and discussion based seminar. Students need to come to class prepared to discuss topics and events happening in the world each week. In class, all students will actively take part and learn from each other. Students will decide on an area to research deeply and work independently on their topics. Students will be required to read or watch world and business news weekly and report on issues in class. Students are required give a final presentation on their topic and turn in a CRP. A seminar trips will be based on a mutually agreed upon theme related to the course subject. Students' learning portfolio from 2nd year fall semester will be checked and graded. Student will give a presentation on their 2nd year fall semester learning portfolio.

授業の到達目標
Goals/Objective of Course: Upon successful completion of this course, students will be able to….1. understand how selected current affairs, international relations and global politics affects their lives2. understand how some current affairs, international relations and global politics affects business around the world. 3. use developed skills to relate to international events, people from different cultures and business settings4. plan, develop, and research the student's research topic.5. present their research in a professional manner orally.

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
Study Requirements:Students need to do the homework and be prepared to discuss it in English in class to pass the course. Students will do Internet research for class, so students need to have access to the Internet and computer research skills. Students must be able to work with other students to participate in this class. Also, students need to actively express themselves to participate in class.

評価方法
Course Requirements (Major Assignments, Quizzes & Exams including Dates) In order to be successful in this course, students will need to complete the following:1. Actively Participate in class□ 35%2. Homework□ 20%3. Research Presentation 15%4. Learning portfolio □ 15%5. Learning portfolio presentation□ 5% 6. Class reflection portfolio□ 10 %

教科書	参考図書
Textbooks: To be supplied by the instructor	Reference Books other Course Materials: To be supplied by the instructor

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Other: (Advice to students, Contact information) There are no prerequisites for this course. Donovan Clarke's office is 7308, his office hours will be announced. His e-mail is clarke@ohkagakuen-u.ac.jp Any questions or concerns about the course should be discussed with Donovan.The Moodle site will be used to provide additional materials for students.

01	Course introduction and syllabus
02	Current world issues - Japan - learning portfolio - first draft
03	Current world issues - Japan
04	Current world issues - Japan - learning portfolio - final draft
05	Semester learning portfolio presentation
06	Current world issues - Asia
07	Current world issues - Asia
08	Current world issues - Asia
09	Current world issues - Middle East
10	Current world issues - Middle East
11	Current world issues - Middle East
12	Current world issues - S. America
13	Current world issues- S. America
14	Current world issues- S. America
15	Presentation and CRP
16	none

2018年度シラバス

科目名:Seminar Ⅱ	担当者:都　恩珍	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	3
受講者制限:Seminar Ⅰを履修した者に限る。		単位数	1
		必須.選択	必須

授業概要と方法
本授業は、学芸学部ディプロマポリシーにある「修得した知識に基づいて、批判的思考ができ、グローバル化した社会に向けて論理的で創造的な発信ができる能力」と関連しています。韓国人の行動様式を知り、日本人との違いの原因を考えます。主に環境や福祉など社会制度の現状や課題を理解します。毎週の韓国ニュースを一つずつ取り上げ、授業中に紹介しあい、情報を共有します。Skypeなど高度のメディアを利用して遠隔で行うことがあります。資料収集のための現地調査などを実施することがあります。

授業の到達目標
韓国文化の幅広いテーマについて理解を深めることができます。韓国語の資料やデータ、文献などを参考にしながら一部を韓国語で引用、作成できるように準備します。自分の論文テーマの問題点を整理します。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
準備学修：テキストを読んでください。必要時間：約30分　事後学修：授業中に取り上げられたニュースについてさらに調べてまとめてください。必要時間：約１時間

評価方法
3年前期のSemester Learning Portfolio（8科目以上）15%　Presentation on Semester Learning Portfolio（一人10分）5%　毎週のニュースプレゼン30%　　資料収集・整理・要約30%　　授業への参加態度20%

教科書	参考図書
現代韓国を知るための60章　石坂浩一・福島みのり【第2版】（明石書店）	授業中に提示します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
自分の視点を持って取り組みましょう。オフィスアワー：金曜日３限　連絡方法は授業中に提示します。諸事情により予定を変更することもあります。

01	授業概要・履修計画 My planの作成と確認
02	履修計画My planの完成
03	教育システム/教育の新しい動き/いじめ・学校暴力、週間韓国ニュース
04	学期学習ポートフォリオの最終稿提出
05	学期学習ポートフォリオの発表
06	環境問題と政策/環境問題に関する市民運動/原発の現状、週間韓国ニュース
07	女性の人権、卒業論文の構想発表①
08	性暴力と社会的対応、週間韓国ニュース
09	在韓韓国人と移住労働者、週間韓国ニュース
10	定住外国人、週間韓国ニュース
11	在外コリアン、週間韓国ニュース
12	社会保険制度、週間韓国ニュース
13	福祉サービス、週間韓国ニュース
14	貧困と雇用、週間韓国ニュース
15	住宅と福祉、卒業論文の構想発表②、確認テスト
16	なし

科目名:Seminar Ⅱ	担当者:Shannon Kiyokawa	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	3
受講者制限:Mac computer required.		単位数	1
		必須.選択	必須

授業概要と方法
This course is related to the ability to use critical analysis based on the acquired knowledge mentioned in the SLADE diploma policy. This seminar is a continuation of Seminar I. It will continue to cover women's domestic and global issues. In this course students will at first, learn about current issues that impact the lives of women in Japan and then will expand their studies to include issues that affect women all over the world. Students will also look at the NPO's/NGO's that help and support women. In class, current women's issues will be introduced and discussed. Students will also take turns researching and presenting about these women's issues and relevant NPO's/NGO's. Students MUST read regularly, participate and communicate IN ENGLISH during class discussions. The final few weeks of the semester will be spend deciding the topic of Seminar III/IV Phone Booth Project.

授業の到達目標
Upon successful completion of this course, students will be able to….1. have an increased awareness of social equality and justice2. develop a greater commitment to activism for women's causes3. develop skills to analyze how current women's issues in the world affect the students' own lives. 4. research a topic related to the course subject in detail and present their research 5. be able to speak their thoughts critically

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
Students need to come to class on time. As students cannot participate if they are absent or late, participation depends in part on attendance. Students need to do the homework and hand it in on time. Students are responsible for any work they miss due to an absence. Not doing homework or submitting it late will result in losing points. All materials must be brought to class each week in an organized manner. Students are required to bring their computers to class and keep a back up of their materials. They should be prepared to discuss the homework in English in class to pass the course. Students must be able to work with other students to participate in this seminar. Also, students need to actively express themselves.

評価方法
Participation is graded on 1. Participation☐
40%☐ 2. Presentations ☐ 40%☐
☐ 3. Semester Learning
Portfolio 15%4. Semester Learning Portfolio
Presentation 5%

教科書	参考図書
None. The course materials will be supplied by the instructor and students should act independently in finding the resources for their presentations	None

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
There are no prerequisites for this course. Shannon Kiyokawa's office is 7325; her office hours will be announced. Her e-mail is kiyokawa@ohkagakuen-u.ac.jp Any questions or concerns about the course should be discussed with Shannon.

01	Course Overview/ My Plan
02	My Plan finalized/ Registration check
03	Japanese Women's Issues
04	Japanese Women's Issues /Final draft of Semester Learning Portfolio due
05	Japanese Women's Issues/Semester Learning Portfolio Presentation due
06	Japanese Women's Issues
07	Presentations
08	Global Women's Issues
09	Global Women's Issues
10	Global Women's Issues
11	Global Women's Issues
12	Presentations
13	Phone Booth Project Discussion
14	Phone Booth Project Discussion
15	Attendance at Graduation Interviews
16	None

2018年度シラバス

科目名:Seminar Ⅱ	担当者:高　文軍	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	3
受講者制限:中国文化に関心を持っていて、自分で資料収集・検索・閲覧等ができる者。		単位数	1
		必須.選択	必須

授業概要と方法
本授業は、学芸学部ディプロマポリシーにある「グローバルな視点から言語および異文化を理解する能力」と関連している。中国伝統文化を理解する。中国人の行動様式を知り、日本人との違いの原因を考える。中国の伝統風習について理解する。日中関係の過去を知り、現在を再認識する。中国における日本文化の受容実情、お互いの影響と様々レベルの融合を知って置く。各自が、興味あるテーマについて調べ、内容を毎回紹介しあい、情報・知識を共有する。場合によって、Skypeなど高度のメディアを利用して遠隔で行うことがある。

授業の到達目標
中国文化の幅広いテーマについて理解を深めることができる。中国語の資料やデータ、文献などを参考にし、一部を中国語で引用または作成できるように準備する。自分の論文のトピックを確定する。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
中国語の資料やデータ、文献などを収集すること研究課題によって、現地調査や資料を集めることがある。

評価方法
授業への参加態度　20%、毎回の課題40%、プレゼンテーション40%

教科書 オリジナル資料配布	参考図書 授業時に提示する

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
・連絡先は授業で開示する　・諸事情により予定を変更することもある。

01	前期内容の振り返る、今後の目標再確認
02	My Plan finalized; Registration check（履修計画My planの完成・履修登録確認）; 1st draftof Semester Learning Portfolio due（学期学習ポートフォリオの初校提出） 中国の伝統文化（２）
03	中国映画鑑賞とデイスカッション
04	Final draft of Semester Learning Portfolio due（学期学習ポートフォリオの最終稿提出） 映画理解の続き
05	Semester Learning Portfolio Presentation due （学期学習ポートフォリオの発表） 中国人の行動様式（２）
06	中国と日本との違い（２）　論文の構想発表②
07	中国の伝統祭日②　中秋節とお正月　体験
08	中国の歳時風習②
09	中国の少数民族②
10	中国の大衆文化：日本文化の受け入れ②
11	中国今の文化政策
12	日中関係の過去と現在（２）
13	歴史認識について
14	様々な交流
15	論文の構想発表③、討論
16	なし

2018年度シラバス

科目名:特別活動の指導法	担当者:澤田　好江	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	講義
免許・資格:中学校・高等学校教諭1種免許状（英語）		開講時期	後期
		配当学年	3
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
「特別活動」「総合的な学習の時間」の意義や原理を理解させる。指導計画の立て方、参加、共同、協働、探究活動の方法、課題に対する情報収集、分析、整理の仕方およびまとめ方、体験活動の計画、準備、総括などのさせ方等の指導方法、指導技術を身につけさせる。そのために、活動事例や授業実践記録を分析、検討をし、指導案作り、模擬授業等を行う。本授業は、学芸学部ディプロマポリシーにある「グローバル化した社会に向けて論理的で創造的な発信ができる能力」と関連している。また、「修得した知識に基づいて、批判的思考ができ、グローバル化した社会に向けて論理的で創造的な発信ができる能力」や、「現代社会に必要とされる情報リテラシーを身につけ、国際社会に貢献できる能力」を育成することをねらいとしている。

授業の到達目標
「特別活動」「総合的な学習の時間」の果たす役割と、活動、授業計画の重要性を理解することができる。学習指導要領に基づきながら、その目標と内容を理解し、「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」「探求的な見方・考え方」を働かせ、横断的、総合的な学習や活動を通して、自己の生き方を考えさせていく指導のあり方を考えることができる。指導計画の作成、具体的な指導の方法、評価等に関する知識・技能を身につけることができる。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修

評価方法
授業への参加・態度50%　小テスト50%

教科書	参考図書
「特別活動」教師教育テキストシリーズ12　折出健二著　学文社　2008年	小学校学習指導要領　中学校学習指導要領

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)

01	「特別活動」及び「総合的な学習の時間」の役割と意義、歴史
02	学習指導要領における「特別活動」「総合的な学習の時間」の目標及び内容
03	教育課程における「特別活動」「総合的な学習の時間」の位置づけと各教科との関連
04	学級活動、ホームルーム活動、児童会・生徒会活動、クラブ活動、学校行事等の特質
05	「特別活動」「総合的な学習の時間」と、体験活動
06	実践事例分析、検討「子供の参加と自治」
07	実践事例分析、検討「学校の『内』と『外』に足をかけて」
08	「特別活動」「総合的な学習の時間」の年間指導計画の作成の重要性とその具体例
09	授業実践検討「オリンピックの歴史と意義」で、電子教材を使用した教材作りと実践の検討
10	授業実践検討「南北問題を考える」で、ICT技術を使用した授業作りと実践の検討
11	授業実践検討「地域の課題を教材にする」で、評価の方法と地域に開かれた教育課程の検討
12	「総合的な学習の時間」の単元計画の作成の重要性と、単元計画・指導案作り
13	「特別活動」「総合的な学習の時間」にふさわしい教育評価のあり方
14	模擬授業とその検討
15	まとめと確認テスト
16	

2018年度シラバス

科目名:教育行政	担当者:首藤　貴子	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	講義
免許・資格:中学校・高等学校教諭1種免許状（英語）		開講時期	後期
		配当学年	3
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
本授業は、学芸学部ディプロマポリシーにある「習得した知識に基づいて、批判的思考ができ、グローバル化した社会に向けて論理的で創造的な発信ができる能力」に関連している。本講義では、日本の教育行財政のしくみや実態について、歴史的なアプローチと諸外国との比較を交えて考察することによって、学校教育における諸問題の本質に迫ることをめざす。意見交換をしながら理解を深め、教育行財政のあるべき姿や今後の方向性について検討する。授業形態は講義であるが、学生による発表や発言の機会を設ける。確認テストを3回程度実施する。

授業の到達目標
・現行の日本の教育行財政のしくみについて、その生成の経緯を踏まえて理解する。・現行の日本の教育行財政の実態を検討するための指標をもち、問題点を見定めることができる。・理解した諸概念を用いて、わが国の教育行財政のしくみと実態について説明し、あるべき姿や改革の方策についての自己の意見を展開できる。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
・日本近現代史における基本事項を確認した上で受講すること。・教育に関する新聞記事等に日頃から目を通すこと。・授業の予習・復習、文献を読む等、毎週4時間程度の授業外学習が必要である。

評価方法
授業への参加状況（発表・発言等）30%　　確認テスト　30%　課題（小レポート等）40%

教科書	参考図書
授業中に資料を配布する。	授業中に適宜紹介する。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
連絡手段等は、授業で指示する。

01	オリエンテーション：学校教育における諸問題
02	教育行政を学ぶ意味
03	子どもの権利
04	教育法のしくみ
05	教育課程行政
06	わが国の教育行政の特質①：戦後改革期を中心に
07	わが国の教育行政の特質②：教育基本法改定をめぐって
08	教職員
09	義務教育：不登校の子どもの学習権保障を中心に
10	教育の機会均等①：貧困状態にある子どもの学習権保障を中心に
11	教育の機会均等②：障害のある子どもの学習権保障を中心に
12	学校と家庭との連携
13	学校と地域との連携
14	諸外国の教育行政
15	まとめ
16	なし

科目名:教育実習指導	担当者:石渡　雅之	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	講義
免許・資格:中学校・高等学校教諭1種免許状（英語）		開講時期	前期
		配当学年	4
受講者制限:４年次の教育実習が、学部により認められた者		単位数	1
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
（概要）本授業は、学芸学部ディプロマポリシーにある「グローバル化した社会に向けて論理的で創造的な発信ができる能力」を教育分野で発揮することを大きな目標として運用されるものである。　教育実習を実施するにあたり、これまでに学んだ「英語科教育法」「道徳の指導法」「教育相談」など教育実習生として求められる知識や技術を実際の教育現場において使うことができるように再確認していく。また、実習生に求められる姿勢や具体的な実習記録簿の書き方・教育実習中の心得/規則等についても過去の事例から必要なことをピックアップして説明し、教育実習できちんとした成果が出るよう指導をしていく。（方法）教育実習実施にあたり、必要な知識、技能（日誌の書き方、指導案作成を含む）を再確認するために、講義形式で授業を行っていく。

授業の到達目標
a. 教育実習の意義、目的を理解することができる。 b. 教育実習に出かける姿勢を再確認することができる。 c. 実習の３要素（観察／参加／実習）の持つ意味を理解することができる。 d. 各種講義で学んだ知識をどのように実践にいかすべきか？考えることができる。 e. 教育現場における、必要な生徒指導の方法を理解することができる。 f. 教職課程における介護等体験の意義を理解することができる。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
各実習校の教育目標や教育実践方法を自ら確認し、事前指導にも積極的な姿勢で参加する必要がある。実習後は各学校の行事等にも参加し、学習者とのコミュニケーションを継続しながら、学習者を多面的な観点で見つめられる姿勢を保つことが要求される。また、教育に関係するボランティアやインターンシップ、フィールドワークにも機会があれば積極的に取り組むこと。

評価方法
①　授業ごとの小レポート　　１０％②　実習日誌内容　　４０％③　学期末レポート　　５０％

教科書	参考図書
教育実習の手引き（桜花学園大学学芸学部版）	文部科学省　中学校／高等学校学習指導要領

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
本授業には次の受講要件が適用される。３年次終了までに、学科で指示した免許取得に必要な全ての授業を履修し、単位取得していることが原則である。また学科が指定する各種教育実習実施許可要件を満たしていることも必須である。これらの他、学科教職課程委員会、及び教育実習委員会の判断が履修条件に加わることがある。教育実習は、教師を目指す者にとって、大変重要な位置づけのものである。教壇に立つ者としてのきちんとした姿勢を最後まで崩さず、実習前後に限らず、常に教職の勉強に取り組むことが重要である。また、部分的とはいえ、これが社会公共的な活動への参加であることの意味を強く認識すること。研究室：７３１１

01	教育実習の課題と実施計画
02	中学校における観察・参加の実際について
03	中学校における部分実習・指導実習の実際について
04	高等学校における観察・参加の実際について
05	高等学校における部分実習・指導実習の実際について
06	実習目標、課題についての教育現場からの提言【※中間アンケート実施】
07	学習指導案の意義と作成方法確認（中学校／高等学校共通−特別活動）
08	学習指導案の意義と作成方法確認（中学校／高等学校共通−総合的な学習の時間）
09	学習指導案の意義と作成方法確認（中学校−道徳）
10	学習指導案の意義と作成方法確認（中学校−外国語／英語）
11	学習指導案の意義と作成方法確認（高等学校−外国語）
12	実習日誌の記録方法について
13	教育実習についての諸注意
14	介護等体験の持つ意味、および教育実習との関係
15	教育実習・介護等体験の総括
16	なし

科目名:教育実習Ⅰ	担当者:石渡　雅之	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	実習
免許・資格:中学校・高等学校教諭1種免許状（英語）		開講時期	前期・後期
		配当学年	4
受講者制限:		単位数	4
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
本実習は、学芸学部ディプロマポリシーにある「グローバル化した社会に向けて論理的で創造的な発信ができる能力」を教育分野で実際に発揮することを大きな目標として運用されるものである。具体的な実習概要と方法は以下の通りである。（概要）中学校、または高等学校における３週間の実習である。（方法）各学校の指導による。

授業の到達目標
中学校、または高等学校における３週間の実習で、観察・参加・実習を通して、教育の実際を体験的に理解する。理解が求められる具体的な内容は次のとおりである。a. 学校の役割や機能についての理解ができる。b. 学校に就学している生徒の実際についての理解ができる。c. （主として）参加・実習を通し、中学校の教育（教科／特別活動／総合的な学習の時間等の指導、生徒指導等）の実際についての理解ができる。d. 各学校における教諭の職務内容についての理解ができる。

e. 各学校と家庭、地域との関係についての理解ができる。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
実際に教壇に立つ者としての自覚を持ち、教育実践を行うのに必要な知識等を幅広く集めること。常に教育関連のニュースに目を向ける姿勢も必要である。尚、教育に関するボランティア等を実習前に経験しておくことも強く薦められる。

評価方法
A. 評価の方針実習校からの評価を中心とする。B. リフレクションとフィードバック教育実習指導（講義科目）において、必要な事前指導を行う。また、実施後も同講義において、各実習の様子について交流・反省をし、教育実習の持つ意義や課題を再確認していく。C. 評価に関する要件実習校からの評価、実習日誌、実習後に求めるレポートを総合評価する。

教科書	参考図書
学部指定の実習記録、他実習校より指示があったもの。	文部科学省　中学校／高等学校学習指導要領

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
実習実施までに、学科が指定した教職課程に関する授業を履修済みであること。ならびに、学科教育実習委員会が許可した者が、教育実習の登録をすることができるものとする。実習中は、常に担当教員と連絡がとれるようにしておく（緊急時の携帯電話や通常コミュニケーションとしてムードルサイトの利用など）予定である。　研究室　７３１１

01	各実習校の指示に従い、教育実習を実施していく。教育実習にあたっては、各学校の関係教員による講義を受け、観察・参加・実習の３分野を状況に応じて経験／実施していくことになる。各学校においては３週間の実習のうち、学校関係者による講義を１５時間分（週５回）受けるものとし、観察・参加・実習を全て合わせた実習総合は９０時間（週あたり３０時間）以上を実施するものとする。これにより、最終的に評価が可能な場合は４単位を修得するものとする。
02	
03	
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

科目名:教育実習Ⅱ	担当者:石渡　雅之	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	実習
免許・資格:中学校・高等学校教諭1種免許状（英語）		開講時期	前期・後期
		配当学年	4
受講者制限:教育実習実施が学部により認められた者		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
本実習は、学芸学部ディプロマポリシーにある「グローバル化した社会に向けて論理的で創造的な発信ができる能力」を教育分野で実際に発揮することを大きな目標として運用されるものである。具体的な実習概要と方法は以下の通りである。（内容）原則として高等学校における２週間の実習である。（高等学校で３週間実施の場合は、教育実習Iを履修するものとする）（方法）各高等学校の指導による。

授業の到達目標
高等学校における２週間の実習で、観察・参加・実習を通して、教育の実際を体験的に理解する。理解が求められる具体的な内容は次のとおりである。a. 高等学校の役割や機能についての理解ができる。b. 高等学校に就学している生徒の実際についての理解ができる。c. （主として）参加・実習を通し、高等学校の教育（教科／特別活動／総合的な学習の時間等の指導、生徒指導等）の実際についての理解ができる。d. 高等学校教諭の職務内容についての理解ができる。e. 高等学校と家庭、地域との関係についての理解ができる。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
実際に教壇に立つ者としての自覚を持ち、教育実践を行うのに必要な知識等を幅広く集めること。尚、教育に関するボランティア等を実習前に経験しておくことも強く薦められる。

評価方法
A. 評価の方針実習校からの評価を中心とする。B. リフレクションとフィードバック教育実習指導（講義科目）において、必要な事前指導を行う。また、実施後も同講義において、各実習の様子について交流・反省をし、教育実習の持つ意義や課題を再確認していく。実週中は、常に担当教員と連絡がとれるようにしておく（緊急時の携帯電話や通常コミュニケーションとしてムードルサイトの利用など）予定である。C. 評価に関する要件実習校からの評価、実習日誌、実習後に求めるレポートを総合評価する。

教科書	参考図書
学部指定の実習記録、他実習高等学校より指示があったもの。	文部科学省　高等学校学習指導要領

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
実習実施までに、学科が指定した教職課程に関する授業を履修済みであること。ならびに、学科教育実習委員会が許可した者が、教育実習の登録をすることができるものとする。実週中は、常に担当教員と連絡がとれるようにしておく（緊急時の携帯電話や通常コミュニケーションとしてムードルサイトの利用など）予定である。　研究室　７３１１

01	各実習校の指示に従い、教育実習を実施していく。教育実習にあたっては、各学校の関係教員による講義を受け、観察・参加・実習の３分野を状況に応じて経験／実施していくことになる。各学校においては２週間の実習のうち、学校関係者による講義を４時間分（週２回）受けるものとし、観察・参加・実習を全て合わせた実習総合は２６時間（週あたり１３時間）以上を実施するものとする。これにより、最終的に評価が可能な場合は２単位を修得するものとする。
02	
03	
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

科目名:Listening and Speaking Ⅲ	担当者:Shannon Kiyokawa,Leslie Chivers	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:中学校・高等学校教諭1種免許状（英語）		開講時期	通年
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
This course is related to the 'practical English communication ability' mentioned in SLADE diploma policy. This course has three main components: speaking, listening and vocabulary study with reading and writing incorporated when necessary. It teaches students to use various listening and communication strategies to help improve their overall skill to interact fluently and accurately in English. Students will be required to demonstrate their ability to think critically and interact with their teacher and classmates very naturally in English. Students will be expected to participate during class discussions, ask questions, and actively work on improving their communication skills. There will be a stand up speaking activity at the beginning of every class followed by listening and speaking skills work which will incorporate reading and writing. Students will need to read and research in order to create, write and complete various tasks. In class focus will be on initial understanding of the topic, vocabulary, and task. Students will be required to demonstrate their ability to think deeply-comparing, analyzing and reflecting personally on the topics.

授業の到達目標
This class focuses on strategies for better listening and speaking skills but it includes reading and writing skills to complete various tasks. Specific goals include:1. Students can understand information and ideas for different purposes while they listen to English from various genres on various topics.2. Students can understand information and ideas for different purposes while they read English from various genres on various topics. 3. Students can speak (interact / present) about various topics depending on the purposes, occasions, and situations. 4. Students can write about various topics depending on the purposes, occasions, and situations.5. Students can conduct language activities, which integrated multiple fields.The overall level of English proficiency goal is more than CEFR B2.

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
This is an important core course, which prepares students to succeed throughout their four years of study. Absences are not acceptable. Work needs to be done consistently week by week. Students need to focus on bettering their communication skills with their teachers and classmates in English. Students will be expected to participate during class discussions, ask questions during class, and actively work on improving their communication skills. Attendance is necessary.

評価方法
1. Attitude and Class Participation = 25%: Active participation is expected from all the students. 2. Listening Quizzes = 20%3. Speaking Quizzes= 20%4. Course Reflection Portfolio = 10%5. Homework (vocabulary, videos) = 25%

教科書	参考図書
Expanding Tactics for Listening (third edition) by Jack C. Richards, Oxford WordEngine (e-learning vocabulary learning system)Task-based Learning Booklet provided by the teacher	None

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Mac computer required. The instructors' office hours will be posted outside their offices at the beginning of the semester. Their offices and email address are as follows:Shannon Kiyokawa's office is 7325 and her email address is kiyokawa@ohkagakuen-u.ac.jp Leslie Chiver's office is 7303 and her email address is chiveres@ohkagakuen-u.ac.jp

01	Class description and orientation /Stand up and talk
02	Stand up and talk review/ ETL Unit 1 Small Talk/ Classroom manners Task
03	Stand-up and talk/ ETL Unit 1 Small Talk/ Classroom manners Task
04	Stand up and talk review/ ETL Unit 2 Plans/ Classroom manners Task
05	Stand-up and talk/ ETL Unit 2 Plans/ Classroom manners Task
06	Stand up and talk review/ ETL Unit 3 Successful Businesses/ Classroom manners Task
07	Stand-up and talk/ ETL Unit 3 Successful Businesses/ Classroom manners Task
08	Stand up and talk review/ ETL Unit 4 Apologies and Excuses/ Classroom Manners Task
09	Stand-up and talk/ ETL Unit 4 Apologies and Excuses/ Classroom manners Task
10	Stand up and talk review/ ELT Unit 1-4 TEST/ Unit 5 Character Traits
11	Stand-up and talk/ ETL Unit 5 Character Traits/ Classroom manners Task
12	Stand up and talk review/ ETL Unit 6 Travel/ Classroom manners Task
13	Stand-up and talk/ ETL Unit 6 Travel/ Classroom manners Task
14	Stand up and talk review/ ETL Unit 7 Housing/ Classroom manners Task
15	Speaking Test/ ETL Unit 7 Housing/ Classroom manners Task
16	Midterm Listening Quiz
17	Stand-up and talk/ ETL Unit 8 Can You Believe it?/ Create and perform a TV commercial
18	Stand up and talk review/ ETL Unit 8 Can You Believe it?/ Create and perform a TV commercial
19	Stand-up and talk/ ETL Unit 5-8 TEST/ ETL Unit 9 Friendship
20	Stand up and talk review/ ETL Unit 9 Friendship/ Create and perform a TV commercial

21	Stand-up and talk/ ETL Unit 10 Television/ Create and perform a TV commercial
22	Stand up and talk review/ ETL Unit 10 Television/ Create and perform a TV commercial Task
23	Stand-up and talk/ ETL Unit 11 Cities/ Create and perform a TV commercial Task
24	Stand up and talk review/ ETL Unit 11 Cities/ Create and perform a TV commercial Task
25	Stand-up and talk/ ETL Unit 12 Urban Life/ Create and perform a TV commercial Task
26	Stand up and talk review/ ETL Unit 12 Urban Life/ Create and perform a TV commercial Task
27	ETL Unit 9-12 TEST
28	Speaking Quiz practice
29	Speaking Quiz
30	Final Listening Quiz / Course Refection Portfolio
31	

科目名:Listening and Speaking Ⅳ	担当者:Shannon Kiyokawa,Leslie Chivers	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:中学校・高等学校教諭1種免許状（英語）		開講時期	通年
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
This course is related to the 'practical English communication ability' mentioned in SLADE diploma policy. This course has three main components: speaking, listening and vocabulary study with reading and writing incorporated when necessary. It teaches students to use various listening and communication strategies to help improve their overall skill to interact fluently and accurately in English. Students will be required to demonstrate their ability to think critically and interact with their teacher and classmates very naturally in English. Students will be expected to participate during class discussions, ask questions, and actively work on improving their communication skills. There will be a stand up speaking activity at the beginning of every class followed by listening and speaking skills work which will incorporate reading and writing. Students will need to read and research in order to create, write and complete various tasks. In class focus will be on initial understanding of the topic, vocabulary, and task. Students will be required to demonstrate their ability to think deeply-comparing, analyzing and reflecting personally on the topics.

授業の到達目標
This class focuses on strategies for better listening and speaking skills but it includes reading and writing skills to complete various tasks. Specific goals include:1. Students can understand information and ideas for different purposes while they listen to English from various genres on various topics.2. Students can understand information and ideas for different purposes while they read English from various genres on various topics. 3. Students can speak (interact / present) about various topics depending on the purposes, occasions, and situations. 4. Students can write about various topics depending on the purposes, occasions, and situations.5. Students can conduct language activities, which integrated multiple fields.The overall level of English proficiency goal is more than CEFR B2.

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
This is an important core course, which prepares students to succeed throughout their four years of study. Absences are not acceptable. Work needs to be done consistently week by week. Students need to focus on bettering their communication skills with their teachers and classmates in English. Students will be expected to participate during class discussions, ask questions during class, and actively work on improving their communication skills. Attendance is necessary.

評価方法
1. Attitude and Class Participation = 25%: Active participation is expected from all the students. 2. Listening Quizzes = 20%3. Speaking Quizzes= 20%4. Course Reflection Portfolio = 10%5. Homework (vocabulary, videos) = 25%

教科書	参考図書
Expanding Tactics for Listening (third edition) by Jack C. Richards, Oxford WordEngine (e-learning vocabulary learning system)Task-based Learning Booklet provided by the teacher	None

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Mac computer required. The instructors' office hours will be posted outside their offices at the beginning of the semester. Their offices and email address are as follows:Shannon Kiyokawa's office is 7325 and her email address is kiyokawa@ohkagakuen-u.ac.jp Leslie Chiver's office is 7303 and her email address is chiveres@ohkagakuen-u.ac.jp

01	Class description and orientation /Stand up and talk
02	Stand up and talk review/ ETL Unit 13 Special Days/ Environmental plan Task
03	Stand-up and talk/ ETL Unit 13 Special Days/ Environmental plan Task
04	Stand up and talk review/ ETL Unit 14 Fashion/ Environmental plan Task
05	Stand-up and talk/ ETL Unit 14 Fashion /Environmental plan Task
06	Stand up and talk review/ ETL Unit 15 Favorites/ Environmental plan Task
07	Stand-up and talk/ ETL Unit 15 Favorites/ Environmental plan Task
08	Stand up and talk review/ ETL Unit 16 Phone Messages / Environmental plan Task
09	Stand-up and talk/ ETL Unit Unit 16 Phone Messages/ Environmental plan Task
10	Stand up and talk review/ ELT Unit 13-16 TEST/ ELT Unit 17 Past Events
11	Stand-up and talk/ ETL Unit 17 Past Events/ Environmental plan Task
12	Stand up and talk review/ ETL Unit 18 Vacations/ Environmental plan Task
13	Stand-up and talk/ ETL Unit 18 Vacations/ Environmental plan Task
14	Stand up and talk review/ ETL Unit 19 The News/ Environmental plan Task
15	Speaking Test/ ETL Unit 19 The News/Environmental plan Task
16	Midterm Listening Quiz
17	Stand-up and talk/ ETL Unit 20 Opinions/ SLADE News Task
18	Stand up and talk review/ ETL Unit 20 Opinions/ SLADE News Task
19	Stand-up and talk/ ETL Unit 17-20 TEST/ ETL Unit 21 Famous People
20	Stand up and talk review/ ETL Unit 21 Famous People/ SLADE News Task

21	Stand-up and talk/ ETL Unit 22 Food and Nutrition/ SLADE News Task
22	Stand up and talk review/ ETL Unit 22 Food and Nutrition/ SLADE News Task
23	Stand-up and talk/ ETL Unit 23 Predicaments/ SLADE News Task
24	Stand up and talk review/ ETL Unit 23 Predicaments / SLADE News Task
25	Stand-up and talk/ ETL Unit 24 Global Issues/ SLADE News Task
26	Stand up and talk review/ ETL Unit 24 Global Issues/ SLADE News Task
27	ETL Unit 21-24 TEST
28	Speaking Quiz practice
29	Speaking Quiz
30	Final Listening Quiz / Course Refection Portfolio
31	

科目名:Reading and Writing Ⅲ	担当者:Donovan ClarkeRebecca Jackson	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	通年
		配当学年	2
受講者制限:Mac computer required		単位数	3
		必須.選択	必須

授業概要と方法
Overview and Methods:This course is related to acquiring practical ability to communicate in English as mentioned in SLADE's diploma policy.Reading and Writing III is a required course for all 2nd year students and is a continuation of the R&W I & II. The aim of this course is to develop students' reading and writing speed and comprehension. In this class, students will work on building their reading and writing fluency. In reading, students will focus more on academic reading and in writing, on paragraph and multi paragraph writings. Each class students will do a variety of exercises to improve their reading and writing skills. The readings will focus on exercises that will help develop reading strategies, so that students can read faster and understand more. Students will continue to learn basic writing terms, rules and the writing process into an essay. Numerous writing activities that give students the opportunity to practice and refine their spelling, grammar and writing knowledge and skills will also be done in class.

授業の到達目標
Goals/Objective of class:1. continue to build confidence and motivation in reading and writing2. increase their level in reading and writing fluently and speed3. understand more difficult academic texts4. understand and use the elements of paragraph structure and essay structure.5. reflect on their learning

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
Study Requirements:Be organized - prepare and complete homework early. Bring your materials to class each week. Students need to read the reading text many times and do as much reading outside of class as they can. Students will be expected to work on the homework gradually day by day and not just the night before the next class. Students are expected to do their own work and not copy from other students or outside sources. Attendance is very important. Students need to express themselves actively to participate in class and through their writing.

評価方法
Evaluation Methods:1. Active class participation 10%2. Reading 40% 2. Writing 40% 3. Course Reflection Portfolio 10%

教科書
Textbooks: Reading for Speed and Fluency 2 by Paul Nation and Casey Malarcher ISBN 978-1-59966-101-8Textbooks: Thoughts and Notions, Reading and Vocabulary Development 2, Cengage Learning, ISBN: 978-986-5840-56-30ther Course Materials: To be provided by the instructor.

参考図書
Reference Books: Mac computer required and access to the moodle site

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Other: (Advice to students, Contact information)It is best if students take R&W I and II before doing this course. Students will need a computer to do this course. The coordinator for Academic Reading III is Donovan Clarke. His office is 7308. His e-mail is clarke@ohkagakuen-u.ac.jp

01	Course introduction and syllabus
02	Topic Writing I - funny story
03	Unit 1-1 Reading and scanning for dates
04	Topic Writing I - funny story
05	Unit 1-2 reading and sentence stress
06	Topic Writing I - funny story
07	Unit 1-3 reading and Wh questions
08	Topic Writing I - funny story
09	Unit 2-1 reading and using before/after
10	Topic Writing I - funny story
11	Unit 2-2 reading skimming for topics
12	Topic Writing II - How have you changed essay
13	Unit 2-3 reading finding main ideas
14	Topic Writing II - How have you changed essay
15	Class reading review
16	Topic Writing II - How have you changed
17	Unit 3-1 reading and using passive voice
18	Topic Writing II - How have you changed
19	Unit 3-2 reading and word stress
20	Topic Writing II - How have you changed?
21	Unit 3-3 reading and using adverbs
22	Topic Writing III - An Attractive International Item
23	Unit 4-1 reading and skimming for main idea

24	Topic Writing III - An Attractive International Item
25	Unit 4-2 reading and introducing opinions
26	Topic Writing III - An Attractive International Item
27	Unit 4-3reading and so + adjective +
28	Topic Writing III - An Attractive International Item
29	writing review
30	Class reading review and CRP
31	

科目名:Reading and Writing Ⅳ	担当者:Donovan ClarkeRebecca Jackson	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	通年
		配当学年	2
受講者制限:Mac computer required		単位数	3
		必須.選択	必須

授業概要と方法
Overview and Methods:This course is related to acquiring practical ability to communicate in English as mentioned in SLADE's diploma policy.Reading and Writing III is a required course for all 2nd year students and is a continuation of the R&W I & II. The aim of this course is to develop students' reading and writing speed and comprehension. In this class, students will work on building their reading and writing fluency. In reading, students will focus more on academic reading and in writing, on paragraph and multi paragraph writings. Each class students will do a variety of exercises to improve their reading and writing skills. The readings will focus on exercises that will help develop reading strategies, so that students can read faster and understand more. Students will continue to learn basic writing terms, rules and the writing process into an essay. Numerous writing activities that give students the opportunity to practice and refine their spelling, grammar and writing knowledge and skills will also be done in class.

授業の到達目標
Goals/Objective of class:1. continue to build confidence and motivation in reading and writing2. increase their level in reading and writing fluently and speed3. understand more difficult academic texts4. understand and use the elements of paragraph structure and essay structure.5. reflect on their learning

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
Study Requirements:Be organized - prepare and complete homework early. Bring your materials to class each week. Students need to read the reading text many times and do as much reading outside of class as they can. Students will be expected to work on the homework gradually day by day and not just the night before the next class. Students are expected to do their own work and not copy from other students or outside sources. Attendance is very important. Students need to express themselves actively to participate in class and through their writing.

評価方法
Evaluation Methods:1. Active class participation 10%2. Reading 40% 2. Writing 40% 3. Course Reflection Portfolio 10%

教科書
Textbooks: Reading for Speed and Fluency 2 by Paul Nation and Casey Malarcher ISBN 978-1-59966-101-8Textbooks: Thoughts and Notions, Reading and Vocabulary Development 2, Cengage Learning, ISBN: 978-986-5840-56-3

参考図書
Reference Books other Course Materials: To be provided by the instructor

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Other: (Advice to students, Contact information)It is best if students take R&W I and II before doing this course. The coordinator for Academic Reading III is Donovan Clarke. His office is 7308. His e-mail is clarke@ohkagakuen-u.ac.jp

01	Course introduction and syllabus
02	Topic Writing IV - Opinion Essay
03	Unit 5-1 reading and adding information
04	Topic Writing IV - Opinion Essay
05	Unit 5-2 reading and politely refusing and using at the; in the
06	Topic Writing IV - Opinion Essay
07	Unit 5-3 reading and Phrasal verbs
08	Topic Writing IV - Opinion Essay
09	Unit 6-1 reading and using present perfect tense
10	Topic Writing IV - Opinion Essay
11	Unit 6-2 reading and gerunds
12	Topic Writing V - Research Essay
13	Unit 6-3 reading and using little or few
14	Topic Writing V - Research Essay
15	Class reading review
16	Topic Writing V - Research Essay
17	Unit 7-1 reading and using while
18	Topic Writing V - Research Essay
19	Unit 7-2 reading and scanning for information
20	Topic Writing V - Research Essay
21	Unit 7-3 reading and using relative pronouns
22	Topic Writing V - Research Essay
23	Unit 8-1 reading and adjective word order

24	Topic Writing V - Research Essay
25	Unit 8-2 reading and phrasal verbs 2
26	Writing - CRP essay
27	Unit 8-3 reading and past perfect tense
28	Writing - CRP essay
29	Writing class review
30	Class reading review and CRP
31	

科目名:English Presentation Ⅲ	担当者:Shannon Kiyokawa,井川　恵理,Emma L. Servando	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	必須

授業概要と方法
This course is related to the 'practical English communication ability' and 'ability to contribute to globalized society with the acquired information technology literacy' in SLADE diploma policy.The course provides students with the skills, experience, and confidence they need to give their own ideas clearly and effectively through presentations. Students will also learn speech-building strategies for describing people, places, and events, which help them generate details, find, evaluate, and organize information, and develop and support ideas. They will learn non-verbal communication skills as well as voice control skills. Students work in pairs or in groups to learn and practice skills and strategies. Students need to think independently and critically through frequent practice of asking and answering critical questions as they create presentations, and they evaluate each other's performances. Students are given more control over their own learning, and they gain valuable experience using English and negotiating among their peers. Feedback will be given through Moodle site to each student's assignment submission.

授業の到達目標
By the end of this course, students will be able to:1. identify the features of good speeches and public speakers; 2. brainstorm and cluster ideas and descriptive details;3. explain a process and an explain in an organized way; 4. select the most relevant and important details5. distinguish between statements of fact and opinion; 6. explain cause and effect relationships:7. use eye contact and body language for maximum effect; 8. control voice in their presentations for maximum effect.

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
Study Requirements:Students need to express themselves to actively participate in class. This course combines the basic theory of presentation with practice and students will be asked to demonstrate their understanding of the content on their presentation performance as well as weekly assignments and quizzes. Spending some time on required work and preparation is necessary. Students can post questions to the Class Moodle Site any time to get help with the material.

評価方法
If you cannot attend class, please inform your teacher in advance. Three late arrivals will count as one absence. Students are responsible for information they miss through absences or lateness. Work that is turned in late will drop one letter grade.. At the end of each class time, students will spend 5 to 10 minutes writing reflection/journal of the day on the Class Moodle. At the end of the semester, students will be asked to write a semester reflection.Grades will be based on: 1. make presentations (80%) 2. submit weekly reflection (10 %) 3. submit semester course reflection portfolio (CRP) (10 %)

教科書
Present Yourself 2: Viewpoints (2nd Edition) by Steven Gershon, Cambridge University PressThe course site on Ohka Moodle contains information about the course, an up-to-date schedule, handouts, audio files, exercises, quizzes, this syllabus, and other documents. Current assignments (and their due dates) and class announcements are kept up to date and archived. Students and instructors are required to check it regularly to keep up to date with the course.

参考図書
None

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Mac computer required. The coordinator of this course is Shannon Kiyokawa. Her office is 7325; her office hours will be announced. Her e-mail is kiyokawa@ohkagakuen-u.ac.jp Any questions or concerns about the course should be discussed with Shannon. The other instructors' contact information will be provided in the first class

01	Course introduction / One-min. self-intro
02	How to make a presentation review/ Overseas Studies Presentation Homework
03	Overseas Studies: rehearsal and revision
04	Presentations of Overseas Studies
05	A person to admire: exploring the topic, focusing on language, brainstorming
06	A person to admire: outlining, adding impact, developing presentation techniques
07	A person to admire: rehearsal and revision
08	Mid-term Questionnaire/ A person to admire: rehearsal and revision
09	Presentation of a person to admire
10	A great vacation idea: exploring the topic, focusing on language, brainstorming
11	A great vacation idea: organizing ideas, outlining, adding impact
12	A great vacation idea: using slides, body language, preparation for a presentation
13	Semester CRP/ A great vacation idea: rehearsal and revision
14	Semester CRP/ A great vacation idea: rehearsal and revision
15	End of Sem. Questionnaire/ Presentation of a great vacation idea
16	None

科目名:English Presentation Ⅳ	担当者:Shannon Kiyokawa,井川　恵理,Emma L. Servando	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	必須

授業概要と方法
This course is related to the 'practical English communication ability' and 'ability to contribute to globalized society with the acquired information technology literacy' in SLADE diploma policy. It is a continuation of English Presentation III. It provides students with the skills, experience, and confidence they need to give their own ideas clearly and effectively through presentations. Students will also learn speech-building strategies for describing people, places, and events, which help them generate details, find, evaluate, and organize information, and develop and support ideas. They will learn non-verbal communication skills as well as voice control skills. Students work in pairs or in groups to learn and practice skills and strategies. Students need to think independently and critically through frequent practice of asking and answering critical questions as they create presentations, and they evaluate each other's performances. Students are given more control over their own learning, and they gain valuable experience using English and negotiating among their peers. Feedback will be given through Moodle site to each student's assignment submission.

授業の到達目標
By the end of this course, students will be able to:1. identify the features of good speeches and public speakers; 2. brainstorm and cluster ideas and descriptive details;3. explain a process and an explain in an organized way; 4. select the most relevant and important details5. distinguish between statements of fact and opinion; 6. explain cause and effect relationships7. use eye contact and body language for maximum effect; 8. control voice in their presentations for maximum effect.

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
Study Requirements:Students need to express themselves to actively participate in class. This course combines the basic theory of presentation with practice and students will be asked to demonstrate their understanding of the content on their presentation performance as well as weekly assignments and quizzes. Spending some time on required work and preparation is necessary. Students can post questions to the Class Moodle Site any time to get help with the material.

評価方法
If you cannot attend class, please inform your teacher in advance. Three late arrivals will count as one absence. Students are responsible for information they miss through absences or lateness. Work that is turned in late will drop one letter grade.. At the end of each class time, students will spend 5 to 10 minutes writing reflection/journal of the day on the Class Moodle. At the end of the semester, students will be asked to write a semester reflection.Grades will be based on: 1. make presentations (80%) 2. submit weekly reflection (10 %) 3. submit semester course reflection portfolio (CRP) (10 %)

教科書
Present Yourself 2: Viewpoints (2nd Edition) by Steven Gershon, Cambridge University PressThe course site on Ohka Moodle contains information about the course, an up-to-date schedule, handouts, audio files, exercises, quizzes, this syllabus, and other documents. Current assignments (and their due dates) and class announcements are kept up to date and archived. Students and instructors are required to check it regularly to keep up to date with the course.

参考図書
None

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Mac computer required. The coordinator of this course is Shannon Kiyokawa. Her office is 7325; her office hours will be announced. Her e-mail is kiyokawa@ohkagakuen-u.ac.jp Any questions or concerns about the course should be discussed with Shannon. The other instructors' contact information will be provided in the first class.

01	Course orientation/ Unit 3 Young People Today
02	Unit 3 Young People Today
03	Unit 3 Young People Today presentation
04	Unit 3 Young People Today: practice and revision
05	PRESENTATION on Unit 3 Young People Today
06	Unit 4 Let Me Explain
07	Unit 4 Let Me Explain
08	Unit 4 Let Me Explain
09	Unit 4 Let Me Explain: practice and revision
10	PRESENTATION on Unit 4 Let Me Explain
11	Unit 5 In My Opinion
12	Unit 5 In My Opinion
13	Semester CRP/ Unit 5 In My Opinion
14	Semester CRP/ Unit 5 In My Opinion: practice and revision
15	End of Sem. Questionnaire/ PRESENTATION on Unit 5 In My Opinion /Semester CRP
16	None

科目名:English Phonetics Ⅰ	担当者:柳田　綾	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	講義
免許・資格:中学校・高等学校教諭1種免許状（英語）		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:There are no prerequisites for this course.		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
This course is related to the “practical English communication ability” mentioned in SLADE diploma policy. English Phonetics I is a required course. This course introduces the basic training for mastering English sound system, particularly putting emphasis on American English. Students will learn intonation, liaison, pronunciation of phrases and sentences as well as articulation mechanism of English vowels. They will also learn International Phonetic Alphabets. Although English Phonetics I is a lecture course, a lot of practice time will be provided. Students will listen to audios on the Class Moodle site at home and submit reading assignments. In class, they will be asked to demonstrate the production of English sound they have learned.

授業の到達目標
Upon successful completion of this course, students will be able to 1. understand the English vowel system.2. understand the English rhythm system and intonation system.3. understand reduction, linking, assimilation system of English.4. understand the consonant clusters of English syllable structure.5. understand the basic differences in sound system between Japanese and English.6. pronounce words and phrases with correct stress pattern.7. understand and use some of the basic phonetics terminology.8. understand and use phonetic alphabets.

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
To understand English pronunciation system and reproduce them will help students to have better listening abilities and to have better communication with native speakers, because they will understand you more easily. Therefore, students must spend enough time practicing and submit their recordings. There are no prerequisites for this course.

評価方法
1. quizzes (20 %)　2. submit assignments and do performance in class (60%)　3. submit weekly reflections and submit a semester reflection (20%)

教科書	参考図書
Sounds Make Perfect 英語音声学への扉　～発音とリスニングを中心に～　今井由美子他　英宝社	To be supplied by the instructor or they will be available on Moodle.

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
The instructor’s email address and office hours will be notified in the first class.

01	Introduction to Course, explanation of the syllabus, computer and the Class Moodle
02	Stress and intonation, intonation and meaning
03	English syllabic structures and Japanese syllabic structures
04	Stress and intonation, intonation and meaning
05	Front vowels, contractions 1, thought group 1
06	Mid vowels, contractions 2, thought group 2
07	Back vowels, contractions 3, thought group 3
08	Diphthongs 1, contractions 4, thought group 4
09	Diphthongs 2, linking 1
10	Minimal pairs of vowels 1, linking 2
11	Minimal pairs of vowels 2, linking 3
12	Content words and stress, assimilation
13	Reduction of function words: pronouns
14	Reduction of other function words
15	Review of the course and semester reflection
16	

科目名:English Phonetics Ⅱ	担当者:柳田　綾	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	講義
免許・資格:中学校・高等学校教諭1種免許状（英語）		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:There are no prerequisites for this course		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
This course is related to the “practical English communication ability” mentioned in SLADE diploma policy. English Phonetics II is a required course. This course introduces the basic training for mastering English sound system, particularly putting emphasis on American English. Students will learn intonation, liaison, pronunciation of phrases and sentences as well as articulation mechanism of English consonants. They will also learn International Phonetic Alphabets. Although English Phonetics II is a lecture course, a lot of practice time will be provided. Students will listen to audios on the Class Moodle site at home and submit reading assignments. In class, they will be asked to demonstrate the production of English sound they have learned.

授業の到達目標
Upon successful completion of this course, students will be able to 1. understand the English consonant system.2. understand the English rhythm system and intonation system.3. understand reduction, linking, assimilation system of English.4. understand the consonant clusters of English syllable structure.5. understand the basic differences in sound system between Japanese and English.6. pronounce words and phrases with correct stress pattern.7. understand and use some of the basic phonetics terminology.8. understand and use phonetic alphabets.

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
To understand English pronunciation system and reproduce them will help students to have better listening abilities and to have better communication with native speakers, because they will understand you more easily. Therefore, students must spend enough time practicing and submit their recordings. There are no prerequisites for this course.

評価方法
1. summer homework (10 %)　2. quizzes (15%)　3. submit assignments and do performance in class (55%)　4. submit weekly reflections and submit a midterm/semester reflections (20%)

教科書	参考図書
Sounds Make Perfect 英語音声学への扉　～発音とリスニングを中心に～　今井由美子他　英宝社	To be supplied by the instructor or they will be available on Moodle.

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
The instructor’s email address and office hours will be notified in the first class.

01	Introduction to Course, explanation of the syllabus and the Class Moodle site
02	Stop consonants
03	Fricative consonants
04	Fricatives and affricates
05	Nasals
06	Lateral and semi-vowels
07	Assimilations of n & m, consonant cluster 1
08	Phrasal verbs and stress, consonant cluster 2
09	Compound words and stress, consonant cluster 3
10	Noun series
11	Learn pronunciation in a movie 1
12	Learn pronunciation in a movie 2
13	Intonation pattern (exclamation, superlative, emphasis)
14	Intonation pattern (speaker’s intention)
15	Review of the course and semester reflection
16	

2018年度シラバス

科目名:Overseas Studies Ⅱ	担当者:井川　恵理	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	前期・後期
		配当学年	2
受講者制限:Need to complete the first year in SLADE. (Open to 2nd to 4th year students)		単位数	4
		必須.選択	選択

授業概要と方法
Overview: This course is related to the 'practical English communication ability' and 'contribution to the global society' mentioned in SLADE diploma policy. It will give students1. more chances to use English language in the native speaking environment. 2. more real-life experience with another culture of their own choice and to get deeper understandingof the culture. 3. to have an opportunity to be independent learners and members of society to let them prepare works before the departure and after the experience.In preparatory class, students are to present their goals and plan to achieve them to the instructor, exchange ideas with other students in discussion. After the overseas studies, students are to prepare their presentations to make the instructor and other students understand their experience with critical thinking.

授業の到達目標
Each student will be able to 1. set her own clear goals depending on English language levels (TOEIC, STEP, IELTS, etc.) 2. understand the importance of cultural understanding of the area. 3. make clear reflection on her experience and make a presentation with critical thinking.

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
1. Each student is to choose a country and an institution with English-speaking environment based on the discussion with the instructor.2. Study goals and plan are to be made to reported them to the instructor.4. The journal needs to be kept and the presentation after the experience needs to be prepared.5. Review 'safety and emergency advice session' before departure.

評価方法
1. Preparatory document submission 20%, 2. Journal 30%, 3. Open presentation 30%, 4. Reflection essay (plan, experience, achievement of goals and other items with critical thinking)

教科書	参考図書
SLADE Overseas Studies explanation booklet and original handouts will be given.	『海外安全　虎の巻』MOFA (外務省)

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Once the destination is finalized, each student needs to be registered on 'Tabi-Reji (たびレジ)' prepared by Ministry of Foreign Affairs, Japan. SLADE instructors and the office need to be informed the details of the stay, change of location or conditions. (ikawa@ohkagakuen-u.ac.jp)

01	Basic instruction: how to prepare for the program, passport check
02	Plan your own overseas studies: What are the purposes and goals?
03	Make your destination and the length of stay clear
04	Make your institution clear
05	Check the details of the institution and its courses
06	Contact the institution and ask for accommodation
07	Check your English level and set the goal of English level 'before' the departure
08	Contact travel agency, Prepare for the VISA status, etc.
09	Find out more about the country and the area (1) location, weather
10	Find out more about the country and the area (2) people, culture
11	Find out more about the country and the area (3) language
12	Find out more about the country and the area (4) politics
13	Prepare for the emergency
14	Check what needs to be done during the overseas studies: items for presentation, etc.
15	Journal and reflection essay preparation, final check before departure
16	None

2018年度シラバス

科目名:日本研究	担当者:斎　孝則	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:パソコン使用		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法 この科目は学部のディプロマポリシーに謳われている「幅広い教養」の根幹をなすものとして位置づけられており、履修系統図では「日本の文化」に直結させている。広く世界に目を向けるグローバル人材になることを目標として、日本の文化や歴史等に関する基本的な事柄を簡潔かつ丁寧に説明する練習を積みます。説明は日本語と英語両方で行ってもらいます。グループ学習やグループ発表を何度も行います。提出された課題にはMoodle サイトを通じてフィードバックを行います。
授業の到達目標 (1)「日本の文化や歴史等に関する基本的な事柄」を理解する。(2)上記について日本語で簡潔かつ丁寧に説明できるようになる。(3)上記について英語で簡潔かつ丁寧に説明できるようになる。
授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修 授業で習ったことをヒントとして、授業外では日本の文化や歴史等に関してさらに研究を深めます。また、それを日本語と英語で簡潔にまとめます。さらにまとめたものを日本語と英語で発表する練習をします。１回の授業に対して４時間程度の予習復習をして下さい。
評価方法 授業中の学修活動は主にグループ発表における発表の簡潔さ、丁寧さで評価します。また、文章に書いてもらい、文章の簡潔さ、丁寧さで評価します。授業外の学修活動は Moodle で提出されたまとめの簡潔さ、丁寧さで評価します。（評価の配分）小テスト30%、プレゼンテーション30%、リフレクション30%、コース・リフレクション・ポートフォリオ10%

教科書	参考図書
自作テキスト配布予定	テキストに掲載します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段) 資料の提示やレポート等の提出をMoodleで行います。連絡先は授業で開示します。質問は月４限と月・金のオフィスアワーを活用して下さい。

01	年中行事(1)：お彼岸とは何か
02	年中行事(2)：七草粥は英語で何というか
03	日本の宗教：日本にはカミさまは何柱（どのくらいの数）おられるか
04	祭りと縁日：縁日には何をするか
05	東京の名所：皇居はどこにあるか
06	京都の名所：金閣寺はいつ頃できた？
07	日本の大学：その特徴
08	日本の教育：良い点、悪い点
09	日本の伝統料理：懐石料理って何？
10	和食のマナー：説明できますか？
11	日本の政治：基本的な仕組みを思い出そう。
12	日本の経済：旭化成はどこにある？
13	代表的日本人(1)
14	代表的日本人(2)
15	代表的日本人(3)
16	なし

2018年度シラバス

科目名:異文化研究	担当者:斎　孝則	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	講義
免許・資格:中学校・高等学校教諭1種免許状（英語）		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:パソコン使用		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
この科目は学部のディプロマポリシーに謳われている「幅広い教養」の根幹をなすものとして位置づけられており、履修系統図では「日本研究」に直結させている。広く世界に目を向けるグローバル人材になることを目標として、異文化や外国の歴史等に関する基本的な事柄を簡潔かつ丁寧に説明する練習を積みます。説明は日本語と英語両方で行ってもらいます。グループ学習やグループ発表を何度も行います。提出された課題にはMoodle サイトを通じてフィードバックを行います。

授業の到達目標
(1)「異文化や外国の歴史等に関する基本的な事柄」を理解する。(2)上記について日本語で簡潔かつ丁寧に説明できるようになる。(3)上記について英語で簡潔かつ丁寧に説明できるようになる。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
授業で習ったことをヒントとして、授業外では異文化や歴史等に関してさらに研究を深めます。また、それを日本語と英語で簡潔にまとめます。さらにまとめたものを日本語と英語で発表する練習をします。１回の授業に対して４時間程度の予習復習をして下さい。

評価方法
授業中の学修活動は主にグループ発表における発表の簡潔さ、丁寧さで評価します。また、文章に書いてもらい、その文章の簡潔さ、丁寧さで評価します。一方、授業外の学修活動は Moodle で提出されたまとめの簡潔さ、丁寧さで評価します。（評価の配分割合）小テスト30%、プレゼンテーション30%、リフレクション30%、コース・リフレクション・ポートフォリオ10%

教科書	参考図書
自作テキスト配布予定	中学校・高等学校学習指導要領

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
資料の提示やレポート等の提出をMoodleで行います。連絡先は授業で開示します。質問は月・金のオフィスアワーを活用して下さい。

01	干支の研究：１２時のことをなぜ正午というか
02	故事：蛍雪の功とは何か
03	錦絵：長坂橋の張飛はなぜ人気？
04	アフタヌーンティーの起源を調べよう
05	イギリスの街になくてはならぬもの
06	パブの本質は何か？
07	なぜロンドン駅はないか？
08	シェイクスピアの世界
09	オースティンの小説
10	自由の女神
11	アメリカン・ドリーム
12	ディズニー映画
13	ミュージカル
14	『オズの魔法使い』の生まれた場所
15	レディー・ファースト
16	なし

2018年度シラバス

科目名:Asian Studies	担当者:布　和	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	講義
免許･資格:中学校･高等学校教諭1種免許状（英語）		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
　この授業は、学芸学部ディプロマ・ポリシーにある「現代社会に必要とされる情報リテラシーを身につけ、国際社会に貢献できる能力」という能力の養成に関連している。この授業は、アジアに関する知識を学ぶ。授業では、アジア全体の状況を紹介し、関連する各国の歴史・文化・宗教などの事相を紙媒体資料並びに視聴覚資料によって具体的に学ぶ。授業過程では、グループ学習を取り入れ、また、プレゼンテーションを行う形で授業に対する理解を深めるつもりである。

授業の到達目標
　15回の講義を通じて、学生たちは、アジアに関する基本的な知識を身に付くようになり、アジアの国々の特徴と実情について十分な理解を得られる。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
　アジアの多様性や直面する課題についての予習と復習を少なくともそれぞれ２時間程度行うこと。

評価方法
　欠席数が6回になれば、単位を不認定する。成績は、授業参加意欲（50%）とレポート（50%）の質で総合評価する。

教科書	参考図書
教科書は使わないが、講義ごとにプリントを配布するつもりである。	「中学校学習指導要領」・「高等学校学習指導要領」

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
　状況によって授業進度は多少の変化が生じる。教員のオフィスアワーは授業中に知らせる。

01	講義紹介（アジアの現状）
02	アジアの歴史
03	アジアの政治
04	アジアの経済
05	アジアの宗教
06	アジアの文化
07	アジアの課題
08	小結
09	東アジア
10	東南アジア
11	南アジア
12	西アジア
13	中央アジア
14	これからのアジア
15	まとめ
16	なし

2018年度シラバス

科目名:American Studies	担当者:齋藤　祐実	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	講義
免許･資格:中学校･高等学校教諭1種免許状（英語）		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
この授業はディプロマポリシーの「グローバルな視点から言語および異文化を理解する能力」を育成していくことを目標とし、アメリカ史上重要な出来事をアメリカの社会・政治・「人種」関係に注目し、毎回考察していきます。「白人」と「黒人」いう二項対立的にアメリカ社会に構築されてきた「人種」関係だけでなく、より複雑な多文化・多民族社会の中での力学関係、アフリカ系アメリカ人やアジア系移民の経験、マイノリティの社会運動について理解を深めていきます。

授業の到達目標
①社会的構築物としての「人種」をテーマに18世紀から現在までのアメリカ社会を理解する。②多文化・多民族社会内の力学関係とマイノリティの主体性を理解する。③異文化理解能力を養う。④批判的な視点・思考能力を身に着ける。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
この科目は２単位ですので、各授業４時間程度の授業時間以外での学修が必要になっています。そこで、準備学修として、次週扱うテーマについて本やインターネットにて調べて参加することが望ましい。授業中には、映像資料も取り入れますが、時間がないため全部見ることが難しいため、事後学修にて各自で見てもらうとさらに理解が深まるでしょう。

評価方法
定期試験70%と授業内の課題の取り組みやディスカッションへの参加30%で総合的に評価します。

教科書
なし

参考図書
「中学校学習指導要領」「高等学校学習指導要領」川島正樹『アメリカニズムと「人種」』(名古屋大学出版社) 矢口祐人『ハワイの歴史と文化：悲劇と誇りのモザイクの中で』(中公新書) 中嶋弓子『ハワイ・さまよえる楽園:民族と国家の衝突』(東京書籍)

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
授業中には、ディスカッションも行うので、積極的に発言をして下さい。

01	ガイダンス
02	アメリカ社会と「人種」
03	奴隷制と「人種」
04	南北戦争後：奴隷解放と人種隔離政策の樹立
05	20世紀初頭の「人種」：新移民とアジア系移民
06	第二次世界大戦と「人種」：軍隊の人種隔離・日系人強制収容・第442連隊
07	公民権運動の高揚と公民権法・投票法成立
08	黒人解放運動：ブラック・パワー・黒人音楽
09	ベトナム戦争・反戦運動
10	教育と「人種」：ブラウン判決、アファーマティブ・アクション、再隔離
11	ハワイ王朝転覆
12	ハワイの民主化へ向けて：民主党革命・州昇格にむけて
13	1960年代以降のハワイの「人種・エスニシティ」関係とアロハ・アイナ
14	最近の社会運動：「ブラック・ライブズ・マター」やウィメンズ・マーチ
15	まとめ　トランプ政権と「人種」
16	定期試験

2018年度シラバス

科目名:イギリス文学入門	担当者:斎　孝則	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	講義
免許･資格:中学校･高等学校教諭1種免許状（英語）		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:なし。パソコン使用		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
この科目は学部のディプロマポリシーに謳われている「幅広い教養と論理的・創造的な思考力」と関連しており、履修系統図では「文学の世界」に直結させている。A. 授業内容　イギリスの代表的な文学作品のさわりを読み、歴史的地理的背景についても学ぶ。 B. 授業方法　講義を基本としつつ、さわりの暗記や朗読、分析とレポート、議論と発表などを行う。C. グループワーク、演技、プレゼンテーションなどの活動を行う。提出された課題にはMoodle サイトを通じてフィードバックを行います。

授業の到達目標
１．イギリス文学における名場面、名台詞の暗唱ができるようになる　２．イギリス文学における代表的作家を知り、説明ができるようになる　３．イギリス文学における代表的作品の歴史的、地理的、文化的背景を説明できるようになる

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
１．毎週、予習範囲を指定するので、そこを読んでまとめてくること。　２．授業後はMoodle のWeekly Reflectionに授業のまとめと感想を書く。　　なお、１回の授業に対して４時間程度の予習復習をして下さい。

評価方法
A. 評価の方針　授業中の議論、文章作成への参加とリフレクションの提出を基本に評価する。B. リフレクションとフィードバック　リフレクションへの返信で、フィードバックする。 C. 評価に関する要件　①演技の録画 15点　②小テスト 30点　③リフレクション 40点　④コース・リフレクション・ポートフォリオ 15点

教科書	参考図書
自作テキスト配布	中学校・高等学校学習指導要領

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
資料提示、リフレクションにはMoodleを使用します。連絡先は授業で開示します。質問等は月・金のオフィスアワーをご利用下さい。

01	授業オリエンテーション。欽定訳聖書
02	欽定訳聖書（英語）
03	シェイクスピア『ロミオとジュリエット』(1)
04	シェイクスピア『ロミオとジュリエット』(2)
05	シェイクスピア『ロミオとジュリエット』(3)
06	イングランドの詩（Mid-term Feedback実施予定）
07	スコットランドの詩
08	アイルランドの詩
09	ディケンズ『オリバー・トゥイスト』(1)
10	ディケンズ『オリバー・トゥイスト』(2)
11	ディケンズ『オリバー・トゥイスト』(3)
12	ディケンズ『オリバー・トゥイスト』(4)
13	ワイルド『幸福な王子』(1)
14	ワイルド『幸福な王子』(2)　（授業評価実施予定）
15	ワイルド『幸福な王子』(3)　　セメスター・リフレクション
16	なし

2018年度シラバス

科目名:アメリカ文学入門	担当者:斎　孝則	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	講義
免許･資格:中学校･高等学校教諭1種免許状（英語）		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:なし。パソコン使用		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
この科目は学部のディプロマポリシーに謳われている「幅広い教養と論理的・創造的な思考力」と関連しており、履修系統図では「イギリス文学入門」に直結させている。A. 授業内容　アメリカの代表的な文学作品のさわりを読み、歴史的地理的背景についても学ぶ。 B. 授業方法　講義を基本としつつ、さわりの暗記や朗読、分析とレポート、議論と発表などを行う。 C. グループワーク、演技、プレゼンテーションなどの活動を行う。提出された課題にはMoodle サイトを通じてフィードバックを行います。

授業の到達目標
１．アメリカ文学における名場面、名台詞の暗唱ができるようになる　２．アメリカ文学における代表的作家を知り、説明ができるようになる　３．アメリカ文学における代表的作品の歴史的、地理的、文化的背景を説明できるようになる

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
１．毎週、予習範囲を指定するので、そこを読んでまとめてくること。　２．授業後はMoodle のWeekly Reflectionに授業のまとめと感想を書く。　　なお、１回の授業に対して４時間程度の予習復習をして下さい。

評価方法
A. 評価の方針　授業中の議論、文章作成への参加とリフレクションの提出を基本に評価する。B. リフレクションとフィードバック　リフレクションへの返信で、フィードバックする。 C. 評価に関する要件　①演技の録画 15点　②小テスト 30点　③リフレクション 40点　④コース・リフレクション・ポートフォリオ 15点

教科書	参考図書
自作テキスト配布	中学校・高等学校学習指導要領

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
資料提示、リフレクションにはMoodleを使用します。連絡先は授業で開示します。質問は月・金のオフィスアワーをご利用下さい。

01	授業オリエンテーション。ストウ夫人『アンクル・トムの小屋』(1)
02	ストウ夫人『アンクル・トムの小屋』(2)
03	ストウ夫人『アンクル・トムの小屋』(3)
04	ストウ夫人『アンクル・トムの小屋』(4)
05	フォースター『懐かしきケンタッキーの我が家』
06	卒業の歌『仰げば尊し』 (Mid-term Feedback 実施予定)
07	黒人霊歌『ディープ・リバー』、『ジェリコの歌』
08	トウェイン『トム・ソーヤの冒険』(1)
09	トウェイン『トム・ソーヤの冒険』(2)
10	トウェイン『トム・ソーヤの冒険』(3)
11	トウェイン『トム・ソーヤの冒険』(4)
12	ウェブスター『あしながおじさん』(1)
13	ウェブスター『あしながおじさん』(2)
14	ウェブスター『あしながおじさん』(3) (授業評価実施予定)
15	ウェブスター『あしながおじさん』(4) コース・リフレクション・ポートフォリオ
16	なし

2018年度シラバス

科目名:フィールドワーク	担当者:根尾　文彦	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	実習
免許・資格:		開講時期	前期・後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法 本授業は学芸学部のディプロマポリシーにある現代社会に必要とされる情報リテラシーを身につけ、国際社会に貢献できる能力を身につけることが望まれる。国社会では営利を目的とした活動から非営利活動に至るまで、様々な機能を持った組織体が社会を構成している。それぞれの組織体（企業、自治体、ＮＧＯ、ＮＰＯなど）がどの様な活動を通して社会に貢献しているかを、事前調査、現地フィールドワーク、事後調査の分析を通して理解する。
授業の到達目標 ①自分で行う課外活動であり、より積極的な考え方、行動を身に付ける。②各自でテーマを選択して、文献などによる事前調査、課題設定、相手機関へのアポイント連絡、現地調査及び　まとめ発表等を全て1人でやりきる能力を身に付ける。
授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修 各テーマに沿った各自で資料等を使って事前・事後調査を行う。予習復習併せて週4時間程度の学習が望まれる。
評価方法 全体を通しての参加態度（50%）、レポート内容及び発表内容（50%）

教科書 特になし	参考図書 その都度指示する

その他(学生へのアドバイス、連絡手段) 連絡先　neo @ohkagakuen-u.ac.jp研究室　7307号室

01	この実習はあくまでも学生自身が主体となり、テーマを選定して現地実習を行い、総括してレポート発表する内容である。よって特定のテーマが決められている訳ではなく、各自が関心があること、疑問に思うことなどから特定のテーマを選定します。そのテーマに添って文献などで事前学習し、必ず現地にてフィールドワークを数回実施することにより、文献だけでは得ることの出来ない実体験から生きた情報を習得します。そこでは必ず人との関わりが発生し、社会との関わりの中で、人との交流が如何に大切であるかを学びます。フィールドワークを通して得た内容を事後学習としてレポートにまとめて発表します。
02	
03	
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

2018年度シラバス

科目名:English Linguistics	担当者:村木　恭子	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:中学校・高等学校教諭1種免許状（英語）		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
This course is related to the "Ability to understand languages and other cultures from the global perspective" in SLADE diploma policy. English Linguistics is aimed to scientifically build the images of what language is, especially on “English Linguistics”. This course will be covering seven areas of study; 1) What is Linguistics, and English Linguistics 2) Language Acquisition (Psycholinguistics), 3) Morphology 4) Phonology 5) Semantics 6) Syntax 7) Pragmatics. This course will be lecture based, however we will also spending time reviewing the lecture by problem solving, discussions.

授業の到達目標
Students who pass this course will be able to understand; 1) Basic ideas of the Linguistics and English Linguistics, 2) Language acquisition; how we learn to speak, 3) Morphology; how words are made, 4) Phonology; how words have sounds; 5) Semantics; how words have meaning, 6) Syntax: how English phrases and sentences are formed, 7) Pragmatics: how to communicate with other people.

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
This course is one of the “specialized courses”, self-study and self-research, including a lot of material readings are highly required. Reviewing and preparing for this course will require over one hour and a half out of class work each week.

評価方法
In order to pass this class, students must complete the following assignments:Weekly reflection journal & Mini-quizzes: Mini-quizzes will be given after each chapter. … 50 %Final report: Details will be explained in class. …　50%

教科書	参考図書
中島平三（2011)『ファンダメンタル英語学改訂版』ひつじ書房	中学校学学習指導要領・高等学校学習指導要領Other materials will be introduced or provided in class or on the SLADE’s Moodle.

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
There are no prerequisites for this course. However, students who wish to receive Teaching Certification are required to take this course. Instructor’s contact information will be announced in the first class.

01	Orientation, including rules of the classes, how to manage the textbook, homework, Introduction of Linguistics and History of English
02	What is Linguistics, English Linguistics (chapter 1)
03	Language Acquisition
04	Morphology (chapter 4)
05	Morphology (chapter 4), Phonology
06	Morphology (chapter 4), Phonology
07	Semantics (chapter 6)
08	Semantics (chapter 6)
09	Semantics (chapter 6)
10	Syntax (1) (chapter 2)
11	Syntax (1) (chapter 2)
12	Syntax (2) (chapter 3)
13	Syntax (2) (chapter 3)
14	Pragmatics
15	Wrap-up of the course
16	None

2018年度シラバス

科目名:英語学習と学習指導要領	担当者:石渡　雅之	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:英語コースまたは教育コースを選択している者。また原則として夏に行われるJ-SHINE語学実習に参加する予定の者。		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
（概要）本授業は、学芸学部ディプロマポリシーにある「グローバル化した社会に向けて論理的で創造的な発信ができる能力」を教育分野で発揮することを大きな目標として運用されるものである。　本授業においては、小学校における外国語活動や英語教育について、学習指導要領を中心に分析し、①導入の経緯②望ましい教員の質③授業案作成時の注意事項④評価規準の設定方法⑤中学校英語との関わり⑤国際理解教育の質等を学んでいく。（方法）学習指導要領分析を行う講義が中心となるが、受講者に参加してもらうディスカッション受講者に教員役をしてもらう小学校−中学校−高等学校比較の為の模擬授業も実施される。

授業の到達目標
A. 小学校の教育課程に外国語活動や英語の授業が入っている／くる意味を理解することができる。B. 英語を通した国際理解教育とは何か？という問題について理解することができる。C. .４技能（リスニング・スピーキング・リーディング・ライティング）の指導方法を理解することができる。D. 小学校英語教育のための学習指導案や評価規準を作成することができる。E.　小学校-中学校−高等学校のそれぞれの英語教育のつながりを理解することができる。F. 小学校英語指導員資格（J-SHINE）の趣旨を理解し、良質な指導者になるための心構えを持つことができる。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
準備学修として、小学校学習指導要領をよく読みこなすことが重要である。事後学修については、本授業は夏に開講される「J-shine語学実習」につながるため、その授業において、本授業で学んだ内容を実践できることが望ましい。

評価方法
①　授業中に実施する模擬授業　　60%　　40%③　学習指導案作成を含む学期末のレポート

教科書	参考図書
高橋美由紀（編著）他　これからの小学校英語教育の構想（アプリコット）高橋美由紀（編著）他　これからの小学校英語教育の構想（アプリコット）	文部科学省　小学校／中学校／高等校学習指導要領小学校学習指導要領解説（外国語科・外国語活動）

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
小学校における英語教育の重要性を理解し、J-shineを教育現場でどのようにいかすのか？ということを常に考える姿勢が求められる。研究室：７３１１

01	オリエンテーション（授業進行説明）
02	学習指導要領とは何か？またその歴史とは？
03	小学校学習指導要領分析①（外国語活動）
04	小学校学習指導要領分析②（外国語科）
05	小学校学習指導要領、関連答申分析①（２０１５年）
06	小学校学習指導要領、関連答申分析②（２０１６年）　（※中間アンケート実施）
07	学習指導要領における外国語活動と英語の違いについて
08	小学校における英語教育と総合的な学習の時間との関係
09	小学校における英語教育と道徳の時間との関係
10	英語をいかした他社理解の授業実践
11	コミュニケーション能力とは何か？
12	外国語・英語模擬授業比較①（小学校−中学校比較）
13	英語模擬授業比較②（中学校−高校比較）
14	J-shineとは何か？またこの資格を教育現場でどのように活用すべきなのか？
15	授業総括（日本における初等教育と外国語学習）
16	なし なし

2018年度シラバス

科目名:J-SHINE 語学実習	担当者:石渡　雅之	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	実習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:英語コース、または教育コースを履修していること。かつ前期の講義科目「英語学習と学習指導要領」を履修していること。		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法 本授業は、学芸学部ディプロマポリシーにある「グローバル化した社会に向けて論理的で創造的な発信ができる能力」を教育分野で発揮すことを大きな目標として運用されるものである。具体的には、J-SHINEの資格取得を目指し、キャンパスにおける１２時間分の集中オリエンテーションを実施した後に、カナダケローナ地区における英語集中講座を受けたのちに現地実習を行う。
授業の到達目標 小学校での英語指導について、理論と実践を効果的に組み合わせることができる。
授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修 前期の講義科目「英語学習と学習指導要領」が事前学修の場となる。カナダでの実習実施後は国内において、小学生を対象とした英語を指導する場にボランティアとして出かけることが望ましい。
評価方法 オリエンテーションへの参加態度（３０％）、現地実習の参加態度（３０％）、実習評価（４０％）

教科書	参考図書
吉田研作監修　小学校英語指導プラン完全ガイド（アルク）	バナナじゃなくてbananaチャンツ（MPI）／Let’s Sing Together（APRICOT）等授業時に随時紹介する。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段) 小学校に導入される「外国語科」、および学年配当が変更になる「外国語科」について、学習指導要領でその内容自学にて分析しておくことを強く薦める。連絡方法は授業で指示する。

01	８月下旬：キャンパスにおけるオリエンテーション（３日間実施予定） ９月初旬～９月中旬：カナダケローナの小学校（Studio 9）における現地実習（１４日間実施予定） ※本授業は講義・演習・実習が組み合わさっている授業である。講義９時間、演習７時間、実習６．５時間の合計２２．５時間をもって２単位を履修することが可能になるプログラムである。
02	
03	
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

科目名:English for Children Ⅰ	担当者:Rebecca Jackson	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
This course is related to practical ability to communicate in English as mentioned in the SLADE diploma policy. The aim of this course is to introduce students to various techniques and activities used when teaching English to pre-school children, and how to use them.

授業の到達目標
Upon successful completion of this course, students will be able to…a. use games, flashcards, puppets, books and songs to teach English to pre-school childrenb. recognize what topics and activities are or are not suitable for pre-school childrenc. discuss the topics and concepts covered in class with the instructor and their classmatesd. apply the methods & techniques covered in class in their own designed mini-classe. plan and teach a basic mini-classf. critically evaluate what they have learned in the course through reflection

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
The class will be taught in English and students are expected to use English in class. The course uses an active learning approach. Full class participation in class activities is required to demonstrate understanding and ability on a weekly basis. Class activities include demonstrations of techniques, discussions (pairs, groups and class), active application by students of the various teaching techniques and the completion of a weekly class reflection journal.Timely completion of homework tasks is required. Students are solely responsible for obtaining homework or class-notes that they miss due to an absence from the teacher or their classmates. Bringing the course booklet each week is also required.

評価方法
1. Weekly class attitude for participation in activities (15%)2. Individual micro-class teaching (25%)3. Group micro-class teaching (20%)4. Reflection journal (20%)5. Course reflection report (20%)

教科書	参考図書
All textbook materials will be provided by the instructor in a booklet.	None

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
There are no prerequisites to this course. This course is related to the Teacher License Course. Missed coursework components may be re-scheduled with the instructor’s permission. If students have any questions about the course they should contact the teacher promptly via email or through their reflection journal. Teacher contact information will be provided in class.

01	Course overview & explanation
02	Overview of suitable pre-school topics and vocabulary
03	Introduction to teaching aids; Teaching aids part one - flashcards and gestures
04	Teaching aids part two - games and classroom English
05	Review & practice using flashcards and gestures
06	Practice using games and classroom English
07	Teaching aids part three- puppets, songs and books
08	Practice using puppets, songs and books
09	Review
10	Individual micro-teaching preparation
11	Individual micro-teaching
12	Individual micro-teaching
13	Group micro-teaching preparation
14	Group micro-teaching preparation
15	Group micro-teaching
16	

科目名:英語科教育法 Ⅰ	担当者:石渡　雅之	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	講義
免許・資格:中学校・高等学校教諭1種免許状（英語）		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:教職課程履修が学部により認められた者		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
（概要）本授業は、学芸学部ディプロマポリシーにある「グローバル化した社会に向けて論理的で創造的な発信ができる能力」を教育分野で発揮することを大きな目標として運用されるものである。　本授業においては、始めに（主として中学校）学習指導要領を概観しながら、教育現場における教育課程編成のあり方や教育課程全体の中における英語科教育の位置づけについて学んでいく。その後、具体的な教科教育方法の技術として基本４技能である「リスニング指導のあり方」「ライティング指導のあり方」「スピーキング指導のあり方」「リーディング指導のあり方」、更には「授業分析方法と指導案作成方法」といった教育全般に関する諸理論を学んでいく。（方法）講義形式を中心とする。尚、英語教育理論を多角的に見ることで、より高度な授業実践を目指していくことも目標とする。そのため数回関連分野（英語学−語用論や社会言語学、教育学など）の英語論文を多量に読む課題も提出し、関連分野の学問内容理解にも踏み込む予定である。

授業の到達目標
a. 学習指導要領を理解し、主として中学校における教育課程編成のあり方を理解することができる。また学習指導要領における中学校での外国語教育の位置づけを理解することができる。b.４技能（リスニング・スピーキング・リーディング・ライティング）の指導方法を理解することができる。c.英語教育諸理論、ならびに関連分野の諸理論を理解することができる。d.主として中学校における授業を想定した指導案を作成することができる。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
教育は大変時間が必要とされる分野である。しっかりとした理論を書籍や研究論文を通して学び、それをどのように授業実践にいかしていくべきなのか？ということを常に考えることが必要である。また、英語教育に関するニュース等は常に意識して、見たり聞いたりすることが望ましい。

評価方法
①　授業中の小テスト　10%②　原書購読課題　30%③　学期末のレポート　60%

教科書	参考図書
石田雅近・小泉仁・古家貴雄（著）新しい英語科授業の実践（金星堂）笠島準一（他　代表）NEW HORIZON 1/2/3（東京書籍）	文部科学省　小学校／中学校／高等学校学習指導要領

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
１年次の教職科目をすべて履修していること、および学習指導案の作り方を理解していることを原則とする。その他、学科教職課程委員会の定める履修規定が適用される 研究室：７３１１

01	オリエンテーション（授業進行説明）
02	中学校教育課程編成のあり方について
03	試験−英語教育と語用論中学校教育課程編成のあり方について
04	英語教育に求められているもの
05	中学校授業実施のための学習指導案作成方法、および授業分析方法
06	中学校英語授業の現状　（中間アンケート実施）
07	学習指導要領における外国語活動（小学校）の位置づけについて
08	小学校における外国語活動と英語教育
09	英語教授法解説
10	コミュニケーション能力の育成について
11	リスニング指導のあり方（選択的リスニング・包括的リスニング・相互作用的リスニング）
12	スピーキング指導のあり方（発音指導・ゲームの有用性・インフォメーションギャップをいかした指導法）
13	リーディング指導のあり方（スキーマ理論・音読/黙読の有効性）
14	ライティング指導のあり方（フリーライティングアプローチ・パラグラフパタンアプローチ・文法/統語・構成アプローチ）
15	授業総括／英語模擬授業について
16	なし

科目名:英語科教育法 Ⅱ	担当者:石渡　雅之	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	講義
免許・資格:中学校・高等学校教諭1種免許状（英語）		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:教職課程履修が学部により認められた者。前期の英語科教育法Ⅰ、またはそれに相当する授業を履修済みであること。		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
（概要）本授業は、学芸学部ディプロマポリシーにある「グローバル化した社会に向けて論理的で創造的な発信ができる能力」を教育分野で発揮することを大きな目標として運用されるものである。　本授業においては、前期に学んだ英語教育諸理論をいかに実践につなげることができるか？ということをテーマとして進めていく。実践を重視するため、受講者にはかなり多くの（中学校を想定した）模擬授業の機会が与えられることになる。また、教師に必要な学校文法の知識も再確認していく。（方法）主として中学校を想定した模擬授業をできるだけ多く実施する。模擬授業を実施するのにあたっては、毎回学習指導案を作成することが求められる。各授業後にはその模擬授業についての分析/解説を教員が行う。

授業の到達目標
a. 前期に学んだ英語教育理論を実践に応用することができる。b. 学校文法の正しい知識を、コミュニケーション活動を中心とした活動で学習者に伝えるような授業を考えることができる。c. 教科書をもとに、適切な学習指導案を作成することができる。d. 教師／学習者それぞれの立場で積極的に模擬授業に参加することができる。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
教育は、その実践を行う前に大変準備時間が必要とされる分野である。模擬授業指導案は、様々な実践方法をDVDなどを通してイメージし、時間をかけて作成しなければならない。また、英語教育理論をしっかりと前期に学び、それをどのように実践にいかしていくべきなのか？ということを常に思い出すことが要求される。

評価方法
①　授業中の小テスト　10%②　担当授業に対しての学習指導案の作成　20%③　模擬授業において、教師として 授業をマネジメントする姿勢　20%④　学期末のレポート　50%

教科書	参考図書
石田雅近・小泉仁・古家貴雄（著）新しい英語科授業の実践（金星堂）笠島準一（他　代表）NEW HORIZON 1/2/3（東京書籍）	文部科学省　小学校／中学校／高等学校学習指導要領

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
前期の英語科教育法Ⅰ受講に際し、適用される要件、並びに英語科教育法Ⅰを履修済みであることを、原則として受講条件とする。研究室：７３１１

01	オリエンテーション（授業概要説明）
02	模擬授業１、およびその分析（テーマ：be動詞の指導方法）
03	模擬授業２、およびその分析（テーマ：一般動詞の指導方法）
04	模擬授業３、およびその分析（テーマ：疑問詞の指導方法）
05	模擬授業４、およびその分析（テーマ：助動詞の指導方法）
06	模擬授業５、およびその分析（テーマ：過去形の指導方法）
07	模擬授業６、およびその分析（テーマ：進行形の指導方法）
08	模擬授業７、およびその分析（テーマ：不定詞の指導方法）
09	模擬授業８、およびその分析（テーマ：比較構文の指導方法）
10	模擬授業９、およびその分析（テーマ：There構文の指導方法）
11	模擬授業10、およびその分析（テーマ：受動態の指導方法）
12	模擬授業11、およびその分析（テーマ：現在完了の指導方法）
13	模擬授業12、およびその分析（テーマ：関係代名詞の指導方法）
14	講義-新学習指導要領に基づく望ましい中学校英語授業のあり方について
15	授業、模擬授業総括
16	なし

2018年度シラバス

科目名:観光ホスピタリティ	担当者:杉井　健二	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須. 選択	選択

授業概要と方法 概要：ホスピタリティ産業の代表である宿泊業、交通運輸業、旅行業、テーマパークなどの観光産業でホスピタリティ（おもてなしの心）が発揮され、人に喜びや感動を与えている取り組みを学習する。本授業は、学芸学部ディプロマポリシーにある「グローバル化した社会に向けて論理的で創造的な発信ができる能力」と関連している。方法：経験・体験を通した実践的な内容とした講義スタイル。レポート（４回）課題をディスカッションする。
授業の到達目標 観光産業に限らず、人にしかできない分野・部門が大切であることが理解でき、働くことの意味及び自分のキャリアを育むことができる。また、社会生活のあらゆる場面で必要な「思いやり、気づき、取り組み姿勢」などの社会人の基礎力が増し、社会生活への意識を高めることができる。
授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修 次回の授業内容、関連する事柄を伝えるので、授業の理解度を高めるために事前に学修しておく。授業後、配布レジメに沿って授業内容をまとめ、日常生活で触れる空間や人的サービスに関心をもち、実践することを習慣化する。
評価方法 ①課題レポート（4回）20%　②確認テスト（テーマ内容の理解度、主体性など）60%　③授業への参加態度20%①②③の総合評価とする。

教科書	参考図書
授業ごとに概要を説明したレジメを配布します。	特になし

その他(学生へのアドバイス、連絡手段) ・授業前後30分は講師控室か、根尾教授の研究室7号館7307室に在室。・観光産業に限らず、サービス産業に就職を考えている学生の履修を勧めます。

01	ガイダンス　（授業の目指すところ、学ぶこと、学ぶことの身近な事例）
02	ホスピタリティとは　　（語源、概念、日本語での言葉）
03	ホスピタリティとサービスの違い　（サービスの語源、概念、定義、ビジネス上の違い）
04	求められる背景①消費行動の変化　（モノ消費からコト消費へ、サービスの質的変化が加速）
05	求められる背景②産業構造の変化　（サービス経済社会へ、ホスピタリティ産業の必要性）
06	観光産業について　（観光とは、とりまく業種・業界、役割）
07	宿泊業（ホテル）のホスピタリティ①宿泊産業の仕組み、業務内容
08	宿泊業（ホテル）のホスピタリティ②語源との関係、ホスピタリティの実践事例
09	航空会社のホスピタリテイ　（業務内容、ホスピタリティの実践事例）
10	テーマパークのホスピタリティ　（ディズニーのホスピタリティ、実践事例）
11	旅行業のホスピタリティ①仕組み、役割、業務内容
12	旅行業のホスピタリティ②ホスピタリティの実践事例
13	ホスピタリティ発揮の現場をみる　（観光産業で活躍している女性社員に学ぶ）
14	ホスピタリティを社会生活で活かす（活かし方、コミュニケーション力の大切さ、働き方）
15	授業のまとめと確認テスト
16	なし

2018年度シラバス

科目名:旅行地誌　Ⅰ（国内）	担当者:根尾　文彦	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
本授業は学芸学部のディプロマポリシーにある現代社会に必要とされる情報リテラシーを身につけ、国際社会に貢献できる能力を身につけることが望まれる。松尾芭蕉の「奥の細道」が辿った1都13県の主要都市・観光地の地理、歴史、文化及びその風土などを行程順に学びます。主だった観光情報だけでなく、芭蕉と俳句に関わる観光資源も組み入れて、より文学的な基礎情報も学びます。基本的には講義スタイルであるが「奥の細道を歩く」ＤＶＤを活用したり、コミュニケーションカードを活用し質疑応答の時間を設けるなど、より分かり易い内容である。

授業の到達目標
①関東、東北、北陸、東海地方の主要観光地の地理、歴史、文化、生活などの一般的な知識を身に付ける.②「奥の細道」の文献内容及びその背景を理解する。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
学習対象地域の文献、地図帳等を使って、事前・事後学習を行うことを勧める。またテレビ、新聞、雑誌などの情報にも関心を持ち、より多くの情報を習得する。予習復習併せて毎週4時間程度の学習が望まれる。

評価方法
授業への参加態度（20%）、定期試験（80%）を総合して評価する。

教科書	参考図書
プリントを配布	奥の細道に関する文献多数

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
連絡先　neo@ohkagakuen-u.ac.jp研究室　7307

01	「奥の細道」概要
02	東京（深川）～日光～白河（1）
03	東京（深川）～日光～白河（2）
04	東京（深川）～日光～白河（3）
05	白河～飯坂～仙台
06	仙台～松島～平泉（1）
07	仙台～松島～平泉（2）
08	仙台～松島～平泉（3）
09	平泉～新庄（1）
10	平泉～新庄（2）
11	新庄～出羽三山～鶴岡
12	鶴岡～酒田～新潟
13	新潟～親不知～金沢
14	金沢～山中温泉～福井
15	福井～敦賀～大垣
16	定期試験

2018年度シラバス

科目名:旅行地誌 Ⅱ (外国)	担当者:根尾　文彦	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	3
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法 本授業は学芸学部のディプロマポリシーにある現代社会に必要とされる情報リテラシーを身につけ、国際社会に貢献できる能力を身につけることが望まれる。前半はフランス（主に北フランス）の各地方の歴史、文化、風土、生活習慣などを学ぶ。後半はイタリア各地の歴史、文化、風土、生活習慣などを学ぶ。主に講義スタイルであるが、各都市毎に授業に併せてパワーポイントによる画像、ＤＶＤ映像も見ながらより分かりやすい内容である。
授業の到達目標 日本でも観光客に人気のフランスとイタリアの両国について、全般的な知識を習得することにより、世界地理に関心を持つ。観光地理検定（海外旅行）の試験問題を参照しながら更に知識を習得する。
授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修 両国について各自で文献、映像などで学習し、更に理解を深める。予習復習併せて毎週4時間程度の学習が望まれる。
評価方法 授業への参加態度（10%）、定期試験（80%）、その他レポート（10%）を総合的に評価する。

教科書 特になし、プリントを配布	参考図書 授業にて指示する

その他(学生へのアドバイス、連絡手段) 連絡先　neo@ohkagakuen-u.ac.jp研究室　730号室

01	フランスの歴史、文化、経済など
02	フランスの世界遺産、建築など
03	パリとイルドフランス（1）ロワール地方（1）
04	パリとイルドフランス（2）ロワール地方（2）
05	ノルマンディ、ブルターニュ地方
06	白ワイン街道、赤ワイン街道、ローヌ・アルプ、オーヴェルニュ地方
07	パリとイルドフランス（1）
08	パリとイルドフランス（2）
09	イタリアの歴史、文化、経済など
10	ミラノとその周辺
11	ヴェネチアとその周辺
12	フィレンツェとその周辺
13	ローマとその周辺
14	その他地域
15	南イタリアとシチリア
16	定期試験

2018年度シラバス

科目名:Basic Seminar Ⅲ	担当者:石渡　雅之	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:特になし（※クラス分けは学部で行い、指示する）		単位数	1
		必須.選択	必須

授業概要と方法
The aim of this course is to develop students' ability to adjust globalized society by using effective English and communication ability. The course will supply some basic knowledge required in various life stages and carrier, including basic knowledge of English, math, etc. There will be presentation sessions; also, group learning will happen fairly often.

授業の到達目標
Upon successful completion of this course, students will be able to a. understand the meaning of themselves and the society: b. understand the life; c. evaluate their own studying; d. use the vocabulary required for a successful life.

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
Students need to express themselves to actively participate in class. They need to review the various strategies to be successful on campus. They also increase their vocabulary so that they can have better communication at university. Spending some time on required assigned work and preparation is essential.

評価方法
In order to be successful in this course, students will need to:1. Submit assignments 50 %: 2. Pass the quizzes 20%: 3. Participation for discussion 20% 4. Submit reflection 10%

教科書	参考図書
小中秀彦（編著）スヌーピーと覚える日常表現（朝日出版社）	Needed information is given through the Moodle site.

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Students are supposed to submit reflections through Moodle site. The instructor will present material through it, too.Office: 7311 (ishiwata)

01	Semester portfolio; English (conversation, ondoku, etc.), オリエンテーション／ 前期の目標設定
02	CASEC (English) Test
03	Semester portfolio; English (conversation, ondoku, etc.), キャリア・デザイン／学芸学部・最新就職状況
04	English (conversation, ondoku, etc.), 社会人基礎力　新聞記事調査（グループディスカッション）
05	English (conversation, ondoku, etc.), 社会人基礎力　世界情勢調査（グループディスカッション）
06	English (conversation, ondoku, etc.), 社会人基礎力　社会人のマナー（グループディスカッション）
07	English (conversation, ondoku, etc.), 健康（女性がかかりやすい病気）
08	English (conversation, ondoku, etc.), 健康（健康チェックの仕組み）
09	English (conversation, ondoku, etc.), 健康（健康維持の方法。運動・食事・睡眠など）
10	English (conversation, ondoku, etc.), 保険（保険とは何か。保険の種類）
11	English (conversation, ondoku, etc.), 保険（ライフスタイルにあったライフプランを）
12	English (conversation, ondoku, etc.), 保険（保険のタイプ。保険会社の選び方）
13	English (conversation, ondoku, etc.), 時事（グループディスカッション）
14	English (conversation, ondoku, etc.), 時事。Course Reflection Portfolio
15	English (conversation, ondoku, etc.), 時事。Course Reflection Portfolio
16	None

2018年度シラバス

科目名:Basic Seminar Ⅲ	担当者:斎　孝則	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:This course requires students to use their computers.		単位数	1
		必須.選択	必須

授業概要と方法
This course will help realize the departmental goal 'to foster a person with broad liberal arts and logical and creative thinking faculty.' It is closely connected with 'Basic Seminar II' in the curriculum tree. The aim of this course is to develop students' ability to adjust globalized society by using effective English and communication ability. The course will supply some basic knowledge required in various life stages and carrier, including basic knowledge of English, math, etc. There will be presentation sessions; also, group learning will happen fairly often. Feedback will be given through Moodle site to each student's assignment submission.

授業の到達目標
Upon successful completion of this course, students will be able to a. understand the meaning of themselves and the society: b. understand the life; c. evaluate their own studying; d. use the vocabulary required for a successful life.

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
Students need to express themselves to actively participate in class. They need to review the various strategies to be successful on campus. They also increase their vocabulary so that they can have better communication at university. Spending some time on required assigned work and preparation is essential. *Since this is a one-credit course, students are asked to study for an hour per week out of class.

評価方法
In order to be successful in this course, students will need to:1. Submit assignments 50 %: 2. Pass the quizzes 20%: 3. Submit the learning portfolio 20% 4. Submit reflection 10%

教科書	参考図書
"Snoopy's World of English" 小中 秀彦 編著 (朝日出版社)	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Students are supposed to submit reflections through Moodle site. The instructor will present material through it, too. Office: 7326. You may use my office hours on Monday and Friday to ask questions.

01	Semester portfolio; English (conversation, ondoku, etc.), Orientation; Spring Semester Goals
02	CASEC (English) Test
03	Semester portfolio; English (conversation, ondoku, etc.)
04	Semester portfolio; English (conversation, ondoku, etc.),社会人基礎力
05	Semester portfolio; English (conversation, ondoku, etc.), 社会人基礎力
06	English (conversation, ondoku, etc.), 社会人基礎力 社会人のマナー
07	English (conversation, ondoku, etc.), 健康 (女性がかかりやすい病気)
08	English (conversation, ondoku, etc.), 健康 (健康チェックの仕組み)
09	English (conversation, ondoku, etc.), 健康 (健康維持の方法。運動・食事・睡眠など)
10	English (conversation, ondoku, etc.), 保険 (保険とは何か。保険の種類)
11	English (conversation, ondoku, etc.), 保険 (ライフスタイルにあったライフプランを)
12	English (conversation, ondoku, etc.), 保険 (保険のタイプ。保険会社の選び方)
13	English (conversation, ondoku, etc.), 時事
14	English (conversation, ondoku, etc.), 時事。Course Reflection Portfolio
15	English (conversation, ondoku, etc.), 時事。Course Reflection Portfolio
16	None

2018年度シラバス

科目名:Basic Seminar Ⅳ	担当者:石渡　雅之	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:特になし（※クラス分けは学部で行い、指示するものとする）		単位数	1
		必須.選択	必須

授業概要と方法
The aim of this course is to develop students' ability to adjust globalized society by using applied English and communication ability. The course will supply some basic knowledge required in various life stages and carrier, including basic knowledge of English, math, etc. There will be presentation sessions; also, group learning will happen fairly often.

授業の到達目標
Upon successful completion of this course, students will be able to a. understand the meaning of themselves and the society: b. understand the life; c. evaluate their own studying; d. use the vocabulary required for a successful life.

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
Students need to express themselves to actively participate in class. They need to review the various strategies to be successful on campus. They also increase their vocabulary so that they can have better communication at university. Spending some time on required assigned work and preparation is essential.

評価方法
In order to be successful in this course, students will need to:1. Submit assignments 50 %: 2. Participation for class discussion 20%: 3. Submit the learning portfolio 20% 4. Submit reflection 10%

教科書	参考図書
小中秀彦（編著）スヌーピーで覚える日常表現	Needed information is given through the Moodle site.

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Students are supposed to submit reflections through Moodle site; the instructor will present materials through it, too.Office: Ishiwata (7311)

01	Semester portfolio; English (conversation, ondoku, etc.),　オリエンテーション・後期の目標。
02	Semester portfolio; English (conversation, ondoku, etc.), 正規採用にこだわろう
03	English (conversation, ondoku, etc.), 自身の進路について考える１（個別面談）
04	English (conversation, ondoku, etc.), 自身の進路について考える２（個別面談）
05	English (conversation, ondoku, etc.), 希望進路、専門分野についての情報収集
06	English (conversation, ondoku, etc.), 意見交換（ここまでのまとめ）
07	English (conversation, ondoku, etc.), 集団面接練習（世界的な視野で見つめるべき問題とは？）
08	English (conversation, ondoku, etc.), 調査（ブラック企業／ブラックアルバイトとは何か？）
09	English (conversation, ondoku, etc.), 講義３年生ゼミとは何か？
10	English (conversation, ondoku, etc.), 集団面接練習（ゼミ選択に向けて何を考えなければいけないか？）
11	English (conversation, ondoku, etc.), 進路決定情報。集団面接（日本の歴史について何か話して下さい）
12	English (conversation, ondoku, etc.), 講義（クリスマスの話）
13	English (conversation, ondoku, etc.), 講義（３年生のゼミに向けて何を準備しなければいけないか？）
14	CASEC (English) Test
15	English (conversation, ondoku, etc.), Course Reflection Portfolio
16	None

科目名:Basic Seminar Ⅳ	担当者:斎　孝則	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:This course requires students to uses their computers.		単位数	1
		必須.選択	必須

授業概要と方法
This course will help realize the departmental goal 'to foster a person with broad liberal arts and logical and creative thinking faculty.' It is closely connected with 'Basic Seminar III' in the curriculum tree.The aim of this course is to develop students' ability to adjust globalized society by using applied English and communication ability. The course will supply some basic knowledge required in various life stages and carrier, including basic knowledge of English, math, etc. There will be presentation session, also, group learning will happen fairly often. Feedback will be given through Moodle site to each student's assignment submission.

授業の到達目標
Upon successful completion of this course, students will be able to a. understand the meaning of themselves and the society: b. understand the life; c. evaluate their own studying; d. use the vocabulary required for a successful life.

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
Students need to express themselves to actively participate in class. They need to review the various strategies to be successful on campus. They also increase their vocabulary so that they can have better communication at university. Spending some time on required assigned work and preparation is essential. *Since this is a one-credit course, students are asked to study for an hour per week out of class.

評価方法
In order to be successful in this course, students will need to:1. Submit assignments 50 %: 2. Pass the quizzes 20%: 3. Submit the learning portfolio 20% 4. Submit reflection 10%

教科書	参考図書
"Snoopy's World of English"小中 秀彦 編著 (朝日出版社)	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Students are supposed to submit reflections through Moodle site. The instructor will present material through it, too. Office: 7326 You may use my office hours on Monday and Friday to ask questions.

01	Semester portfolio; English (conversation, ondoku, etc.), Orientation; Fall Semester Goals
02	Semester portfolio; English (conversation, ondoku, etc.), Seek full-timer position
03	English (conversation, ondoku, etc.); Think about future pathway 1; Individual interview
04	English (conversation, ondoku, etc.); Think about future pathway 2; Individual interview
05	English (conversation, ondoku, etc.); Future pathway; information collection
06	English (conversation, ondoku, etc.); Opinion exchange on what we have dealt with.
07	English (conversation, ondoku, etc.), Group interview: What are global problems?
08	English (conversation, ondoku, etc.), Survey "What is a black business, part-time job?"
09	English (conversation, ondoku, etc.), What is a Seminar from the 3rd-year on?
10	English (conversation, ondoku, etc.), Group interview "What to think in seminar selection"
11	English (conversation, ondoku, etc.); Pathway info; Talk something about Japanese history.
12	English (conversation, ondoku, etc.); Group discussion and Lecture "What is Christmas?"
13	English (conversation, ondoku, etc.); What to prepare for Seminar from 3rd-year on
14	CASEC (English) Test
15	English (conversation, ondoku, etc.), Course Reflection Portfolio
16	None

2018年度シラバス

科目名:道徳教育の指導法	担当者:柴田　康正	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	講義
免許・資格:中学校・高等学校教諭1種免許状（英語）		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
本授業は、学芸学部ディプロマポリシーにある「修得した知識に基づいて、批判的思考ができ、グローバル化した社会に向けて論理的で創造的な発信ができる能力」と関連している。　授業では、教科や総合学習・特別活動と道徳教育との関係、生徒指導の場における道徳教育、道徳の時間の運営の各領域にわたってわが国の教育実践例を知り、欧米における道徳教育改革の動向をも踏まえて、道徳教育実践の基礎的能力を身につける。また、現代は人格破壊の危機・道徳的危機というべき様相を呈している。このような状況の中で、学校教育の中の道徳教育は

授業の到達目標
①道徳教育の制度的な位置づけと、学校教育におけるその意味と役割について基礎的な事項を理解する。②道徳教育を支える思想や理念についての基礎的理解にもとづき、道徳の授業がいかにあるべきかを理解する。③道徳の授業が成立するための具体的な知識や技法を習得する。④道徳の授業における資料の分析方法、学習指導案作成の手順、発問や話し合いの方法ついて理解を深める。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
「模擬授業」の事前準備、振り返りで30時間程度の予習復習を要します。また、毎時間ごとの文献購読や事前課題、グループワークの振り返りで30時間程度の学習を考えています。課題意識を持って、意欲的に授業に臨んでほしい。道徳教育に対して常に関心を持ち、参考文献なども読み進めておくことが求められます。

評価方法
①話し合ったことなど自分の意見を明確に整理してまとめ、毎授業ごと小レポートを提出する。これも評価をする。②課題の提出期限を厳守すること。③学習指導案を作成し、模擬授業をする。④授業の妨げとなるため、やむを得ない事情のない限り、遅刻は認めない。⑤評価に関する主な観点は以下のとおりである。・授業の議論の内容、及び参加状況　10%、学習指導案　10%、模擬授業　20%、定期試験　60%

教科書 特に使用しない	参考図書 中学校学習指導要領、高等学校学習指導要領

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
・連絡手段　月曜昼休み講師控室

01	今日における道徳教育の課題
02	学校教育における道徳教育の構成
03	道徳教育と家庭の問題状況
04	道徳教育と地域の問題状況
05	子どもの発達と道徳性の形成
06	道徳教育の倫理学的・哲学的・心理学的基礎
07	日本における道徳教育の歴史
08	学習指導要領と道徳教育
09	道徳性の発達と道徳の授業
10	道徳教育の教材と指導過程
11	道徳教育の指導案をつくる①（道徳内容「自分自身に関すること」を題材とする）
12	道徳教育の指導案をつくる②（道徳内容「他の人とのかかわりに関すること」
13	道徳教育の指導案をつくる③（道徳内容「自然や崇高なものとのかかわりに関すること」
14	道徳教育の指導案をつくる④（道徳内容「集団や社会とのかかわりに関すること」
15	道徳の授業の実際（模擬授業）
16	定期試験

2018年度シラバス

科目名:生徒・進路指導論	担当者:柴田　康正	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	講義
免許・資格:中学校・高等学校教諭1種免許状（英語）		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須. 選択	選択必須

授業概要と方法
　授業は、学芸学部ディプロマポリシーにある「修得した知識に基づいて、批判的思考ができ、グローバル化した社会に向けて論理的で創造的な発信ができる能力」と関連している。　授業では、学校教育の全領域における生徒指導（教育相談、進路指導を含む）の原則と指導方法を検討し、学校教育における生徒指導のあり方を探求する。生徒指導について深く理解できるよう、時事的な話題を盛り込みながら、様々な問題と課題および実践的方法を紹介する。　講義形式をとるが、随時、受講生の意見や感想を求めるので、自らの問いを立てて授業にのぞむことを求める。双方向型の授業を重視し、ディスカッションも多く取り入れていきたい。

授業の到達目標
①学校教育における生徒指導の目的と原則について理解する。②生徒指導の意義と課題、並びに具体的な指導のあり方について理解する。③生徒指導の各場面における「子ども理解」の重要性が意識でき、子どもの人権尊重の視点に立った子ども理解ができるようになる。④現代の生徒指導にかかわる諸課題と、指導の内容と方法について、学校現場での事例を通して理解できる。⑤近年進路指導の中核となりつつあるキャリア教育の意義と課題を理解する。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
　文献の購読や事前課題を30時間、グループワークの振り返り、復習、期末テスト対策等でおおよそ30時間の学習を要します。　課題意識を持って、意欲的に授業に臨んでほしい。教育問題に対して常に関心を持ち、参考文献なども読み進めておくことが求められます。

評価方法
①毎授業ごと小レポートを提出する。これらは評価の対象となる。②課題の提出期限を厳守すること。③授業の妨げとなるため、やむを得ない事情のない限り、遅刻は認めない。④評価に関する主な観点は以下のとおりである。・授業の議論の内容、及び参加状況　10%、課題（小レポート等）20%、定期試験　70%

教科書 特に使用しない	参考図書 中学校学習指導要領、高等学校学習指導要領

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
・連絡手段　月曜昼休み講師控室

01	生徒指導の意義と課題
02	生徒理解と生徒指導
03	不登校と生徒指導
04	今日におけるいじめ問題と生徒指導
05	校則と生徒指導
06	生徒に対する懲戒と体罰禁止
07	学級経営における生徒指導
08	生徒指導と教育課程
09	教科指導や道徳・特別活動における生徒指導
10	進路指導と生徒指導
11	進路指導の意義と実際
12	生徒指導と生活指導
13	生活指導の歴史的系譜
14	「総合的な学習の時間」における生徒指導
15	まとめ　今日における生徒指導の課題
16	定期試験

2018年度シラバス

科目名:教育方法・技術論	担当者:小泉　卓	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:中学校・高等学校教諭1種免許状（英語）		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:中学校・高等学校教諭1種免許状取得希望者		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
本授業は、ディプロマポリシー「3.修得した知識に基づいて、批判的思考ができ、グローバル化した社会に向けて論理的で創造的な発信ができる能力」を具体化するものです。授業内容は、過去から現代までの教育方法・技術の基礎的理論の学習。美術館鑑賞及び学習指導案作成。情報機器の活用です。授業方法は、 自己の対象化と省察による学びを核として、クラス員、教員とのインタラクティブな関係において相互に探究していきます。

授業の到達目標
1. 教育方法・技術の歴史や現代の教育方法・技術の基礎的理論を理解し、授業実践に活かす基礎を養う。2. 学習指導理論の基礎を踏まえ目標・内容・指導・評価の構造や教材・教具及び板書と発問の方法、学習形態、　　教室環境、対話の重要性などを理解し、学習指導案の作成方法を経験する。3. 情報機器を活用し教材づくり学級づくりに活用する方略を持つ。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
A 準備学修　(1) 自分の学び（学習含む）の対象化とその省察を継続する。　　(2) 次回の学習のために配布された資料や添付メールで送信された資料を読む。　　(3) 課題は、事前に提起するので、必ず取り組む。B 事後学修　(1) 授業を振り返り整理し、授業ノートを作成する。ノートをポートフォリオとして評価します。　　(2) 提起された課題に取り組む。　(3) 配布された資料は、必ず読む。

評価方法
ポートフォリオとしての授業ノート（感想含む）30%、レポート発表30%。テスト30%、インタラクティブな関係が求められるので、教師と学生、学生と学生の対話を重視します10%。

教科書	参考図書
特に指定なし。適宜、授業時に資料を配布します。	『新しい時代の教育方法』田中耕治、『君たちはどう生きるか』、中学校学習指導要領、高等学校学習指導要領

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
授業の終了前に、毎回、手書きの感想を書いてもらいます。コメントをつけて次週に返却します。出席要件は、2/3以上です。連絡手段を、最初の授業で確認します。

01	ガイダンス（教育の方法や技術を学ぶ価値、授業計画や評価方法及び学生の学習方法などの説明）
02	教育方法・技術の基本概念
03	ICTを活用した授業づくり・学級づくり及びカリキュラム・マネジメント
04	学びを育む学習環境デザイン（ICT・教室・図書館・多目的スペース・学校家具）
05	教育方法の理論と歴史（コメニウス…ルソー…ペスタロッチ…デューイ…ブルーナー…）
06	授業の論点：経験主義と系統主義／わかる授業と楽しい授業／授業の技術化と芸術化
07	教育目標と内容を具体化する教師と教材・教具（ICT含む）及び学習形態と教室環境
08	学習の構成主義と脳科学・身体性・状況学習論・探求の共同体からのアプローチ
09	世界の授業は！…フィンランド、Learning by Designプロジェクト、WISEプロジェクト
10	教育目的・目標・内容・指導・評価の構造…逆向き設計論と学びの物語
11	現代の日本の「授業研究（美術館鑑賞含む）」…実践事例
12	板書と発問・話法の技術
13	学習指導案作成の方法…グループによる作成／学年・単元（題材）と分担などの決定
14	指導計画及び評価計画作成とプレゼンの準備
15	グループによる学習指導案の発表　講評と省察
16	定期試験・実施

科目名:英語ベーシック Ⅰ	担当者:石渡　雅之,井川　恵理,斎　孝則	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:特になし（※クラス指定は学部で行う）		単位数	1
		必須.選択	必須

授業概要と方法
（概要）本授業は、学科の大きな目標である「グローバル化した社会における実践的な英語コミュニケーション能力」を持った人材を育成すること」を実現するために、学習者が英語を様々な角度から学ぶことができるように計画されたものである。具体的には語彙や文法の再学習、及び発音練習を通して、日常的に英語を使用する環境に早く慣れる為の場を提供したいと考えている。下に書かれた、毎回の授業内容（授業計画欄）については、第１回目のオリエンテーションにて詳しく説明する。（方法）本授業は、実際に発音訓練をするような演習を中心とするが、日常会話に必要な語彙や文法の再学習を行う際には、若干の講義も行われる。授業の３０％は発音の際の注意事項や文法解説等教員主導の内容になる。そして、授業の７０％は音読訓練等、受講者自身の演習時間となる。英語を日常的に使うことについて、早く慣れる為には、正確な文法力、実際の言葉の運用能力、発音が要求されるため、学習者には一定の自習、かつ積極的な姿勢による学習時間の確保が求められる。また、課題提出や予復習にあたり、パソコンを活用する。

授業の到達目標
本授業受講後の成果としては、以下の各項目が期待される。a. 英語の基本文法が再確認できる。b. 自然な英語の発音が身に付く。c. 他者が話す英語を聞き取る事ができる。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
英語運用能力を上げる重要な要素の１つは日常使用される英語の文法事項について、正確な知識を持つ事である。そして、正確な各種知識を持った上で、実際に使用することも求められる。このため、学習者は授業で学んだ各種知識（発音方法や語彙、文法等）をできるだけ多くの場面において、積極的に使用する、という姿勢や努力が求められる。尚、必要な自己学習時間について、詳細はその都度授業時に説明するが、毎時間の授業について、準備、復習を合わせ２時間以上かけることを原則とする。

評価方法
A. 評価の方針 1. 毎週交互に提出するRecording とReflectionで６割。 2. 隔週で実施する小テストとまとめのReview Test で３割。 3. 授業まとめのポートフォリオで１割。　　＊なお、課題は締切厳守。遅れて出したものは評価の対象としない。B. リフレクション（学修振り返り）と教員からの応答学習者は、隔週の授業後に振り返りの作業を行う。その日の授業で新たに学んだ点、復習的に学んだ点、学びができなかった点などについて、一定の文章を書く事が求められる。それらの文章を担当教員に送る、といったやりとりを通して、例えば授業改善を求めたりするなどのコミュニケーションが可能である。

教科書	参考図書
English Locomotion／参加して学ぶ総合英語（成美堂）	必要に応じて配布する

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
・資料の提示やレポート等の提出はMoodleで行う・授業履修に際して受講条件はないが、受講の仕方や発音訓練等の方法について、オフィスアワー等を利用して常にアドバイザー（担当教員）に助言を求める事が必要である。　研究室:7326 （斎） 7310 （井川） 7311 （石渡）

01	全体オリエンテーション
02	Nice to meet you! 1 ～Sentence patterns～ pronunciation practice 1
03	Nice to meet you! 2 ～Sentence patterns～ pronunciation practice 2
04	Looking at recipes. 1 ～Understanding Verbs～ pronunciation practice 3
05	Looking at recipes. 2 ～Understanding Verbs～ pronunciation practice 4
06	What do you do in your free time? 1 ～Tense and Progressive～　※中間授業アンケート実施
07	What do you do in your free time? 2 ～Tense and Progressive～ pronunciation practice 5
08	What are you going to bring? 1 ～Noun and Pronoun～ pronunciation practice 6
09	What are you going to bring? 2 ～Noun and Pronoun～ pronunciation practice 7
10	Making a comfortable room. 1 ～Preposition～ pronunciation practice 8
11	Making a comfortable room. 2 ～Preposition～ pronunciation practice 9
12	Leading healthy life. 1 ～Auxiliary verb～ pronunciation practice 10
13	Leading healthy life. 2 ～Auxiliary verb～ pronunciation practice 11
14	Let’s go on a trip! 1 ～Infinitive and Gerund～ pronunciation practice 12
15	Let’s go on a trip! 2 ～Infinitive and Gerund～ pronunciation practice 13
16	None

科目名:英語ベーシックⅡ	担当者:石渡　雅之,井川　恵理,斎　孝則	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:特になし（※クラス指定は学部で行う）		単位数	1
		必須.選択	必須

授業概要と方法
（概要）本授業は、学科の大きな目標である「グローバル化した社会における実践的な英語コミュニケーション能力」を持った人材を育成すること」を実現するために、学習者が英語を様々な角度から学ぶことができるように計画されたものである。前期のⅠで学んだ、語彙や文法、及び発音をいかし、より実践的な英語を使用する機会を多く提供したいと考えている。下に書かれた、毎回の授業内容（授業計画欄）については、第１回目のオリエンテーションにて詳しく説明する。（方法）本授業は、実際に発音訓練をするような演習を中心とするが、日常会話に必要な語彙や文法の再学習を行う際には、若干の講義も行われる。授業の３０％は発音の際の注意事項や文法解説等教員主導の内容になる。そして、授業の７０％は音読訓練等、受講者自身の演習時間となる。英語を日常的に使うことについて、早く慣れる為には、正確な文法力、実際の言葉の運用能力、発音が要求されるため、学習者には一定の自習、かつ積極的な姿勢による学習時間の確保が求められる。

授業の到達目標
本授業受講後の成果としては、以下の各項目が期待される。a. 英語の文法とその実際の使用方法が確認できる。b. 自然な英語の発音が身に付く。c. 他者が話す英語を正確に聞き取ることができる。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
英語運用能力を上げる重要な要素の１つは日常使用される英語の文法事項について、正確な知識を持つ事である。前期の授業Ⅰで身につけた正確な知識を、本授業では実際の使用場面を多く想定した上で、使う訓練を多く導入する。このため、学習者は授業で学んだ各種知識（発音方法や語彙、文法等）を積極的に使用する、という姿勢や努力が求められる。尚、必要な自己学習時間について、詳細はその都度授業時に説明するが、毎時間の授業について、準備、復習を合わせ２時間以上かけることを原則とする。

評価方法
A. 評価の方針1. 毎週交互に提出するRecording とReflectionで６割。 2. 隔週で実施する小テストとまとめのReview Test で３割。 3. 授業まとめのポートフォリオで１割。 ＊なお、課題は締切厳守。遅れて出したものは評価の対象としない。B. リフレクション（学修振り返り）と教員からの応答学習者は、隔週の授業後に振り返りの作業を行う。その日の授業で新たに学んだ点、復習的に学んだ点、学びができなかった点などについて、一定の文章を書く事が求められる。それらの文章を担当教員に送る、といったやりとりを通して、例えば授業改善を求めたりするなどのコミュニケーションが可能である。

教科書	参考図書
English Locomotion／参加して学ぶ総合英語（成美堂）	必要に応じて配布する

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
・資料の提示やレポート等の提出はMoodleで行う・授業履修に際して受講条件はないが、受講の仕方や発音訓練等の方法について、オフィスアワー等を利用して常にアドバイザー（担当教員）に助言を求める事が必要である。研究室:7326 （斎） 7310 （井川） 7311 （石渡）

01	全体オリエンテーション
02	Let’s have a party! 1 ～Present participle～ pronunciation practice 14
03	Let’s have a party! 2 ～Present participle～ pronunciation practice 15
04	A broken window? 1 ～Past participle～ pronunciation practice16
05	A broken window? 2 ～Past participle～ pronunciation practice 17
06	Let’s play sports!1 ～Present Perfect～ pronunciation practice 18
07	Let’s play sports! 2 ～Present Perfect～ pronunciation practice 19
08	Let’s go shopping! How about flea market? 1 ～Adjective and Comparative～ pronunciation practice 20
09	Let’s go shopping! How about flea market? 2 ～Adjective and Comparative～ pronunciation practice 21
10	Submitting a term paper. 1 ～Relative pronoun～ pronunciation practice 22
11	Submitting a term paper. 2 ～Relative pronoun～ pronunciation practice 23
12	Where do you live? 1 ～The use of IT～ pronunciation practice 24
13	Where do you live? 2 ～The use of IT～ pronunciation practice 25
14	Lucky LOT! 1 ～Subjunctive mood～ pronunciation practice 26
15	Lucky LOT! 2 ～Subjunctive mood～ pronunciation practice 27
16	None

科目名:Listening and Speaking Ⅰ	担当者:Shannon Kiyokawa,Donovan Clarke	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	通年
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
This course is related to the 'practical English communication ability' mentioned in SLADE diploma policy.The aim of this course is to provide students with various conversation and listening strategies in order to facilitate their overall ability to interact in English through their 1st year courses and beyond. Students will be required to demonstrate their ability to interact with their teacher and classmates in English. Students will be expected to participate during class discussions, ask questions and actively work on improving their communication skills. Students will also use an online vocabulary learning system.

授業の到達目標
Upon successful completion of this class students will be able to..1.develop confidence and motivation in speaking and listening2.greatly increase their vocabulary3.talk about their lives with others and talk to them about their lives, too4.memorize and use various set phrases for use in all of their classes.5.ask questions of other members of the class in English to help carry on a conversation and to expand on a topic.6.create their own personal scrapbook and present it in small groups7.make a video of themselves and reflect on their improvement over the course of the semester8.demonstrate appropriate body language skills9.use software to write a Course Reflection paragraph

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
1. Attitude and Class Participation = 30%: Active participation is expected from all the students. 2. Vocab Homework = 30%3. Scrapbook = 20% (6 scrapbook pages, graded scrapbook talks)4. Course Reflection Portfolio = 10%5. Homework = 10% (3 videos)

評価方法
This is an important core course, which prepares students to succeed throughout their four years of study. Work needs to be done consistently week by week. Students need to focus on bettering their communication skills with their teachers and classmates in English. Students will be expected to participate during class discussions, ask questions during class, and actively work on improving their communication skills. Attendance is necessary.

教科書
Out Front Practical English Conversation by Robert Diem & Roberto Rabbini, English Education PressWordEngine (Online Vocabulary Learning System)Other course materials will be provided by the teacher

参考図書
None

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Mac computer required. The instructors' office hours will be posted outside their offices at the beginning of the semester. Their offices and email address are as follows:Shannon Kiyokawa's office is 7325 and his email address is kiyokawa@ohkagakuen-u.ac.jp Donovan Clarke's office is 7308 and his email address is clarke@ohkagakuen-u.ac.jp

01	Orientation, Course Description, Make 1st video
02	Personal Information / Online Vocab Learning Orientation
03	Personal Information
04	Personal Information/Scrapbook
05	Personal Information/Scrapbook
06	Communicative Group Work
07	Family and Home
08	Family and Home
09	Family and Home/Scrapbook
10	Family and Home/Scrapbook
11	Communicative Group Work
12	Hobbies and Preferences
13	Hobbies and Preferences
14	Hobbies and Preferences/Scrapbook
15	Hobbies and Preferences/Scrapbook
16	Communicative Group Work
17	Make 2nd video/Graded Scrapbook Talk
18	Graded Scrapbook Talk
19	Times and Dates
20	Times and Dates
21	Times and Dates/Scrapbook
22	Times and Dates/Scrapbook
23	Communicative Group Work

24	Shopping
25	Shopping
26	Shopping/Scrapbook
27	Shopping/Scrapbook
28	Make 3rd Video/Graded Scrapbook Talk
29	Graded Scrapbook Talk/CRP
30	Graded Scrapbook Talk/CRP
31	

科目名:Listening and Speaking Ⅱ	担当者:Shannon Kiyokawa,Donovan Clarke,Saburi	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
This course is related to the 'practical English communication ability' mentioned in SLADE diploma policy. This course is a continuation of Listening & Speaking I The aim of this course is to provide students with various conversation and listening strategies in order to facilitate their overall ability to interact in English through their 1st year courses and beyond. Students will be required to demonstrate their ability to interact with their teacher and classmates in English. Students will be expected to participate during class discussions, ask questions and actively work on improving their communication skills. Students will also use an online vocabulary learning system.

授業の到達目標
Upon successful completion of this class students will be able to..1.develop confidence and motivation in speaking and listening2.greatly increase their vocabulary3.talk about their lives with others and talk to them about their lives, too4.memorize and use various set phrases for use in all of their classes.5.ask questions of other members of the class in English to help carry on a conversation and to expand on a topic.6.create their own personal scrapbook and present it in small groups7.make a video of themselves and reflect on their improvement over the course of the semester8.demonstrate appropriate body language skills9.use software to write a Course Reflection paragraph

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
1. Attitude and Class Participation = 30%: Active participation is expected from all the students. 2. Vocab Homework = 30%3. Scrapbook = 20% (6 scrapbook pages, graded scrapbook talks)4. Course Reflection Portfolio = 10%5. Homework = 10% (3 videos)

評価方法
This is an important core course, which prepares students to succeed throughout their four years of study. Work needs to be done consistently week by week. Students need to focus on bettering their communication skills with their teachers and classmates in English. Students will be expected to participate during class discussions, ask questions during class, and actively work on improving their communication skills. Attendance is necessary

教科書
Out Front Practical English Conversation by Robert Diem & Roberto Rabbini, English Education PressWordEngine (Online Vocabulary Learning System)Other course materials will be provided by the teacher

参考図書
None

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Mac computer required. The instructors' office hours will be posted outside their offices at the beginning of the semester. Their offices and email address are as follows:Shannon Kiyokawa's office is 7325 and his email address is kiyokawa@ohkagakuen-u.ac.jpDonovan Clarke's office is 7308 and his email address is clarke@ohkagakuen-u.ac.jp

01	Student Booklet, Vacation!
02	Vacation! Make Fall Video 1
03	Vacation!/Scrapbook
04	Vacation!/ Communicative Group Work,
05	Routines,
06	Routines
07	Routines/ Scrapbook
08	Routines,/Scrapbook
09	Communicative Group Work
10	Help! I'm Lost!
11	Help! I'm Lost!
12	Help! I'm Lost!/Scrapbook
13	Help! I'm Lost!/Scrapbook
14	Make Fall Video 2/Graded Scrapbook Talk
15	Graded Scrapbook Talk
16	Travel
17	Travel/Scrapbook
18	Travel/Scrapbook
19	Communicative Group Work
20	Dating
21	Dating
22	Dating/Scrapbook

23	Dating/Scrapbook
24	Health
25	Health
26	Health/Scrapbook
27	Health/Scrapbook
28	Make 3rd Video/ Communicative Group Work
29	Graded Scrapbook Talk
30	Course Reflection Portfolio (CRP)
31	

2018年度シラバス

科目名:Reading and Writing Ⅰ	担当者:Leslie Chivers,Rebecca Jackson	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	通年
		配当学年	1
受講者制限:MacBook Required		単位数	3
		必須.選択	必須

授業概要と方法
This course is related to practical ability to communicate in English in the globalized societies mentioned in SLADE diploma policy. The aim of this course is to give a strong base in English reading and writing. Students will read many graded readers, do quizzes for understanding and meet word count targets. Students will focus on expressing their ideas using accurate sentence structures and paragraphs. Students will share reading and writing in pairs and groups.

授業の到達目標
Upon successful completion of this course, students will be able to….1.□ave confidence and motivation in reading and writing English2.□rite accurate sentences and basic paragraphs 3.□eflect on and respond to reading and writing4.□se Microsoft Office and Moodle

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
Students must read and write every week for homework. Reading requirement to pass is 20,000 words. Students will upload their work to Moodle by due dates. Penalties apply for late work. Students will be required to do their own work and to write in their own voice. Plagiarism or on-line translations will not be accepted.

評価方法
1. Reading 45% (i) IR = 40% (25% = 20,000; 30% = 40,000; 35% = 50,000; 40% = 60,000) (ii) Book Shares = 5%2. Writing 45% (i) Homework = 25%, (ii) Reading Reports = 20%3. Course Reflection Portfolio 10%

教科書
Reading for Speed and Fluency 1, Paul Nation & Casey Malarcher, Writing Sentences - The Basics of Writing, Dorothy Zemach, Macmillan

参考図書
Reading materials are available in the library.

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Be organized, prepare and finish tasks early. Bring ALL your materials in a file each week. Set your goals and make a plan to complete them. Contact: To be advised in class.

01	Course Overview, Setting Goals, Planning
02	Mreader & Guide to Reading Resources
03	Information about Mreader / reading plans
04	1a Basic Parts of Speech: Nouns, pronouns, verbs
05	RSF / SWM / Reading Log / HW: prepare Report #1
06	1b Sentences 5, 6, 7
07	RSF / SWM / IR / Reading Report #1
08	1c Put It Together: Sentence Chains
09	RSF / SWM / IR / Book Share 1
10	2a Basic Parts of Speech: Preps, adj., adverbs
11	RSF / SWM / IR / HW: prepare Report #2
12	2b Recognizing Parts of Speech (PiT)
13	RSF / SWM / IR / Reading Report #2
14	3a Be verb s/verb agreement and sentence patterns
15	RSF / SWM / IR / Book Share 2
16	3b Spelling Review: Put It Together I am from poem
17	RSF / SWM / IR / HW: prepare Report #3
18	4a Stative verbs
19	RSF / SWM / IR / Reading Report #3
20	4b There is/are, location adverbs
21	RSF / SWM / IR / Book Share 3
22	4c Put It Together / CRP & Reflective writing
23	RSF / SWM / IR / HW: prepare Report #4
24	5a have verb, a and an
25	RSF / SWM / IR / Reading Report #4
26	5b Have and be (PiT)
27	RSF / SWM / IR / Book Share 4
28	CRP 1st draft due
29	Book Awards update Reading Log
30	CRP 2nd draft due

31	なし

科目名:Reading and Writing Ⅱ	担当者:Leslie Chivers,Rebecca Jackson	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	通年
		配当学年	1
受講者制限:Mac required		単位数	3
		必須.選択	必須

授業概要と方法
This course is related to practical ability to communicate in English in the globalized societies mentioned in SLADE diploma policy. The aim of this course is to continue a strong base in English reading and writing. Students will read many graded readers, do quizzes for understanding and meet word count targets. Students will focus on expressing their ideas using accurate sentence structures and paragraphs. Students will share reading and writing in pairs and groups.

授業の到達目標
Upon successful completion of this course, students will be able to….1.□ave confidence and motivation in reading and writing English2.□rite accurate sentences, basic paragraphs and a thesis statement 3.□eflect on and respond to reading and writing4.□se Pages, Numbers, Keynote and Moodle

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
Students must read and write every week for homework. Reading requirement to pass is 30,000 words. Students will upload their work to Moodle by due dates. Penalties apply for late work. Students will be required to do their own work and to write in their own voice. Plagiarism or on-line translations will not be accepted.

評価方法
1. Reading 45% = (i) IR = 40% (25% = 30,000; 30% = 40,000; 35% = 50,000; 40% = 60,000) (ii) Book Shares = 5%2. Writing 45% = (i) Homework = 15%, (ii) Topic Writing = 10%, (iii) Reading Reports = 20%3. Course Reflection Portfolio 10%

教科書	参考図書
Reading for Speed and Fluency 1, Paul Nation & Casey Malarcher, Writing Sentences - The Basics of Writing, Dorothy Zemach, Macmillan	Reading materials are available in the library.

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Be organized, prepare and finish tasks early. Bring ALL your materials in a file each week. Set your goals and make a plan to complete them. Contact: Your teacher’s email will be given in class

01	Course Overview, Setting Goals, Planning / IR
02	Unit 10 1 - 3, p. 75; Passive, 4 p. 76; Topic sentence, 8, p. 78
03	Information about Mreader / reading plans
04	Unit 10 Supporting sentences, 9, p. 79; Concluding, 11, p. 80
05	RSF / SWM / Reading Log / prepare Report #1
06	Unit 11 1 - 5, p. 83 - 84; Adding support p. 86
07	RSF / SWM / IR / Reading Report #1
08	Unit 11 Strengthen/weaken adj, 9-11, p. 87; too, not … enough
09	RSF / SWM / IR / Book Share 1
10	Unit 7 1 - 3, 5 p. 52, 53; Pronouns 6 - 7, p. 54; Combining sentences and, but and so 8, p. 55
11	RSF / SWM / IR / HW: prepare Report #2
12	Unit 7 Combining adjectives 11 - 13, p. 57
13	RSF / SWM / IR / Reading Report #2
14	Unit 7 PiT: c; Unit 8 1 p. 60-61, 2 - 3, p. 61; Tense: Simple present p. 62; Adverbs frequency, 6, p. 63
15	RSF / SWM / IR / Book Share 2
16	Verb tense: Simple present 5 p. 62; Tense: Present progressive, 8 p. 64; Paragraph format, p. 65
17	RSF / SWM / IR / HW: prepare Report #3
18	Unit 8 PiT: Zodiac; Unit 9 1 - 2 p. 68-69; Indirect objects p. 69
19	RSF / SWM / IR / Reading Report #3
20	Postcard or email/ Inf. & formal language 6 - 7 p. 71
21	RSF / SWM / IR / Book Share 3
22	Unit 12 1 - 2, present perfect, 3 p. 91 - 92; Contrast with the simple past, 5, p. 93
23	RSF / SWM / IR / HW: prepare Report #4
24	10, p. 95, However, 11 - 12
25	RSF / SWM / IR / Reading Report #4
26	PiT My story so far p. 97, CRP 1st draft due
27	RSF / SWM / IR / Book Share 4
28	CRP 2nd draft due
29	Reading Log
30	Class Review

31	なし

2018年度シラバス

科目名:English Presentation Ⅰ	担当者:斎　孝則,柳田　綾	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:The course requires students to use their computers.		単位数	1
		必須.選択	必須

授業概要と方法
This course will help realize the departmental goal 'to foster a person with practical English communication ability to function in a globalized society.' It is closely connected with 'English Basics' in the curriculum tree. The aim of the course is to develop students' abilities to clearly express themselves in English in front of a group. This will be done by learning various presentation skills and practicing both verbal and non-verbal forms of communication. There will be three presentation sessions, and group learning will often happen in class. Feedback will be given through Moodle site to each student's assignment submission.

授業の到達目標
Upon successful completion of this course, students will be able to 1. Articulate their speech in narration and presentation, 2. Use gestures to affectively communicate non-verbal language to add emphasis and emotion, 3. Critically evaluate their own and peers' progress.

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
Students need to express themselves to actively participate in class. This course combines the basic theory of presentation with practice and students will be asked to demonstrate their understanding of the content on their presentation performance as well as weekly assignments and quizzes. *Since this is a one-credit course, students are asked to study for an hour per week out of class.

評価方法
In order to be successful in this course, students will need to complete the following: 1. submit homework assignments (20 %) 2.give presentations (60%) 3. submit weekly reflections and submit a semester reflection (20%)

教科書	参考図書
"Present Yourself I: Experiences" by Steven Gershon, Cambridge University Press	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
The instructor will present materials through the Moodle site; and students are supposed to submit their reflection through it. Office: 7326 You may use my office hours on Monday and Friday to ask questions.

01	Introduction to the course, English rhythm and voicing for presentation
02	Learn expressions to talk about someone
03	Brainstorm and organize ideas into an outline
04	Rehearsal to give a presentation about someone you would like to introduce
05	Presentation about someone you would like to introduce
06	Learn expressions to describe a place
07	Brainstorm and organize ideas into an outline
08	Practice eye-contact, gestures and body language
09	Rehearsal for a presentation about your favorite place
10	Presentation about your favorite place
11	Learn expressions for a presentation about your prized possession
12	Brainstorm and organize ideas into an outline
13	Rehearsal for a presentation about your prized possession
14	Presentation about your prized possession
15	Semester reflection / portfolio of the course
16	None

2018年度シラバス

科目名:English Presentation Ⅱ	担当者:斎　孝則,柳田　綾	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:The course requires students to use their computers.		単位数	1
		必須.選択	必須

授業概要と方法
This course will help realize the departmental goal 'to foster a person with practical English communication ability to function in a globalized society.' It is closely connected with 'English Basics' in the curriculum tree. The aim of the course is to develop students' abilities to clearly express themselves in English in front of a group. This will be done by learning various presentation skills and practicing both verbal and non-verbal forms of communication.There will be three presentation sessions, and group learning will often happen in class. Feedback will be given through Moodle site to each student's assignment submission.

授業の到達目標
Upon successful completion of this course, students will be able to 1. Articulate their speech in narration and presentation, 2. Use gestures to affectively communicate non-verbal language to add emphasis and emotion, 3. Critically evaluate their own and peers' progress.

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
Students need to express themselves to actively participate in class. This course combines the basic theory of presentation with practice and students will be asked to demonstrate their understanding of the content on their presentation performance as well as weekly assignments and quizzes. *Since this is a one-credit course, students are asked to study for an hour per week out of class.

評価方法
In order to be successful in this course, students will need to complete the following: 1. submit homework assignments (20 %) 2.give presentations (60%) 3. submit weekly reflections and submit a semester reflection (20%)

教科書	参考図書
"Present Yourself I: Experiences" by Steven Gershon, Cambridge University Press	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
The instructor will present materials through the Moodle site; and students are supposed to submit their reflection through it. Office: 7326　You may use my office hours on Monday and Friday to ask questions.

01	Course Explanation, learn expressions to describe an experience
02	Brainstorm and organize a presentation on memorable experience
03	Outlining a presentation on a memorable experience
04	Rehearsal for a presentation on a memorable experience
05	First presentation session
06	Learn expressions to give instructions on how to do or make something
07	Brainstorm and organize a presentation about how to do something
08	Outlining a presentation on how to do something
09	Rehearsal for a presentation on how to do or make something
10	Second presentation: How to do something
11	Learn expressions to describe and rate a movie or TV show
12	Brainstorm and organize a review of a movie or TV show
13	Outlining a review of a movie or TV show
14	Rehearsal for giving a review of a movie or TV show
15	Give a review of a movie or a TV show / Course Reflection Portfolio
16	None

2018年度シラバス

科目名:英語資格講座ＩＡ	担当者:松岡　佐和美	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:受講時にTOEIC１８０点以上の成績を証明できる者		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
本授業は、学芸学部ディプロマポリシーにある「グローバルな視点から言語および異文化を理解する能力」と「グローバル化した社会における実践的な英語コミュニケーション能力」と関連している。毎回TOEIC受験に必要な単語の小テストを行う。その他、TOEICのリーディングパートの点数を上げるのに必要な文法解説を行う。

授業の到達目標
本授業の次のレベルはTOEIC２５０点レベルクラスとなっており、この点数到達を目標とする。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
授業に必要な事前／事後学修に加え、TOEICの点数を上げる為に必要な、リスニングも含めた総合自己学修を本授業では要求する。具体的な自己学修方法や、自己学修として必要な時間数については、授業内で指示する。

評価方法
５月以降、TOEICを最低１回は受験する事を評価の最低条件とする。受講時の点数と比較して、１５回目の授業までに２０点以上伸びた者はC、３０点以上伸びた者はB、４０点以上伸びた者はA、５０点以上伸びた者はAAとする。５月以降のTOEICの伸びが０点～１５点の者、並びにTOEIC未受験の者は本授業の評価をFとする。尚、英検の合格級や、CASECの取得点数によっても単位取得が可能であるが、その詳細については第１回目のオリエンテーションにて説明する。

教科書	参考図書
E. Yubun他 Bottom Up Listening for the TOEIC(R)Test　(成美堂)	授業中に随時紹介する。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
本授業（同名授業A～D）の履修方法、並びに評価方法については、詳細に第１回目の合同オリエンターションにて詳細に説明する。受講希望者は必ずこのオリエンテーションに参加すること。

01	全体オリエンテーション
02	Unit 1
03	Unit 2
04	Unit 3 Unit 3
05	Unit 4
06	Unit 5
07	Unit 5 Unit 6
08	Unit 1～Unit 6 総合復習
09	Unit 7 Unit 7
10	Unit 8 Unit 8
11	Unit 9
12	Unit 10
13	Unit 11
14	Unit 12
15	Unit　7～Unit 12 総合復習
16	なし

2018年度シラバス

科目名:英語資格講座ＩＢ	担当者:新谷　敦子	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
本授業は学芸学部ディプロマポリシーにある「グローバル化した社会における実践的な英語コミュニケーション能力」と関連しているTOEIC受験に必要な単語の小テストを毎回行う。その他、主としてTOEICのリーディングパートの点数を上げるのに必要な文法解説を毎時間行い、リスニングパートの点数を上げるためにスキットのペアワークを行う。

授業の到達目標
本授業の次のレベルはTOEIC３５０点レベルクラスとなっており、この点数到達を目標とすることができるようになる。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
授業に必要な事前／事後学修に加え、TOEICの点数を上げる為に必要な、リスニングも含めた総合自己学修を毎授業2時間程度要求する。具体的な自己学修方法や、自己学修として必要な時間数については、授業内で指示する。

評価方法
5月以降、TOEICを最低1回は受験する事を評価の条件とする。受講時の点数と比して、15回目の授業までの伸びが、20点以上C、30点以上B、40点以上A、50点以上はAAとする。詳細はオリエンテーションにて説明する。

教科書	参考図書
THE HIGH ROAD TO THE TOEIC(R)LISTENING AND READING TEST (KINSEIDO)	授業時に随時紹介する。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
本授業（同名授業A～D）の履修方法、並びに評価方法については、第１回目の合同オリエンテーションにて詳細に説明する。受講希望者は必ずオリエンテーションに参加すること。教員への連絡手段は、授業時に説明する。

01	全体オリエンテーション
02	TOEIC(R) Practice
03	Unit 1A Part1.2.3.4
04	Unit 1B Part5.6.7
05	Unit 2A Part1.2.3.4
06	Unit 2B Part5.6.7
07	Unit 3A Part1.2.3.4
08	Unit 3B Part5.6.7
09	Unit 4A Part1.2.3.4
10	Unit 4B Part5.6.7
11	Unit 5A Part1.2.3.4
12	Unit 5B Part5.6.7
13	Unit 6A Part1.2.3.4
14	Unit 6B Part5.6.7
15	Unit 7　Part1.2.3.4.5.6.7
16	No test

科目名:英語資格講座ＩＣ	担当者:柳田　綾	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:受講時にTOEIC 350点以上の成績を証明できる者		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
本授業は、学芸学部ディプロマポリシーにある「グローバル化した社会における実践的な英語コミュニケーション能力」と関連している。主として、毎回TOEICのリーディングパートの点数を上げるのに必要な文法解説を行い、合わせてTOEIC受験に必要な単語や表現の小テストを行うことで語彙・文法の両面からより高い得点の獲得を目指す。

授業の到達目標
本授業の次のレベルは、TOEIC500点レベルのクラスとなっており、この点数到達を目標とする。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
授業に必要な事前・事後学修に加え、TOEICの点数を上げる為に必要なリスニングも含めた総合自己学修を本授業では要求する。具体的な自己学習方法については授業内で指示する。自己学修として必要な時間数については、毎週1時間から2時間程度である。

評価方法
5月以降、TOEICを最低1回は受験する事を評価の最低条件とする。受講時の点数と比較して、15回目の授業までに20点以上伸びた者はC、30点以上伸びた者はB、40点以上伸びた者はA、50点以上伸びた者はAAとする。尚、5月以降のTOEICの伸びが0点～15点の者、並びにTOEIC未受験者の者は本授業の評価をFとする。TOEIC以外にも英検、CASECの合格級/点数次第で成績を出す事が可能であるが、その詳細については第1回目の合同オリエンテーションにて説明をする。

教科書	参考図書
M. Yamaguchi 他 (2016) TOEIC test trainer Target 650, revised version （センゲージラーニング)	授業中に紹介します

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
本授業（同名授業A～D）の履修方法、並びに評価方法については、第1回目合同オリエンテーションにて詳細に説明する。受講希望者は、必ずこのオリエンテーションに参加すること。また、教員への連絡手段については、授業時に説明します。

01	全体オリエンテーション
02	TOEIC practice
03	Pre-test, Unit 1 (Listening)
04	Unit 1 (Reading)
05	Unit 2 (Listening)
06	Unit 2 (Reading)
07	Unit 3 (Listening)
08	Unit 3 (Reading)
09	Unit 4 (Listening)
10	Unit 4 (Reading)
11	Unit 5 (Listening)
12	Unit 5 (Reading)
13	Unit 6 (Listening)
14	Unit 6 (Reading)
15	Wrap-up & Post test
16	None

科目名:英語資格講座ＩＤ	担当者:柳田　綾	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:受講時にTOEIC500点以上の成績を証明できる者		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
本授業は、学芸学部ディプロマポリシーにある「グローバル化した社会における実践的な英語コミュニケーション能力」と関連している。TOEIC500点以上をすでに取得している学生向けに、より高いレベルの得点獲得を目指し学習することを目的としている。模擬テスト形式での実践型授業により、短時間で問題の意図を把握する力、自分の苦手分野を克服し語彙を充実させ、文章を正確に読む力をつける。

授業の到達目標
５００点レベルの学習者は、基礎英文法をある程度理解しているものの、苦手な分野の克服、語彙の充実、読解力の強化が必要である。模擬テスト実施とその解説を理解して上記の力をつけ、５０点アップを目指す。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
授業に必要な事前／事後学修に加え、TOEICの点数を上げる為に必要な、リスニングも含めた総合自己学修を本授業では要求する。具体的な自己学修方法や、自己学修として必要な時間数については最低２時間と考えるが、詳細は授業内で指示する。

評価方法
５月以降、TOEICを最低１回は受験する事を評価の最低条件とする。受講時の点数と比較して、１５回目の授業までに２０点以上伸びた者はC、３０点以上伸びた者はB、４０点以上伸びた者はA、５０点以上伸びた者はAAとする。尚、５月以降のTOEICの伸びが０点～１５点の者、並びにTOEIC未受験の者は本授業の評価をFとする。尚、英検の合格級や、CASECの取得点数によっても成績を出す事が可能であるが、その詳細については第１回目の合同オリエンテーションにて説明する。

教科書	参考図書
指定なし。プリント使用。	授業にて随時紹介する。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
本授業（同名授業A～D）の履修方法、並びに評価方法については、詳細に第１回目の合同オリエンテーションにて説明する。受講希望者は必ずこのオリエンテーションに参加すること。また、授業時にオフィスアワーを含む、必要な連絡手段等の情報を伝える。

01	Orientation
02	TOEIC explanation
03	TOEIC pre-test
04	Individual orientation based on the test results
05	Basic tactics: Part 1
06	Basic tactics: Part 2
07	Basic tactics: Part 3
08	Basic tactics: Part 4, Mid-term Quiz
09	Summary of Listening Part, Mid-Term Feedback
10	Mid-term review, focusing on English sentence constructions
11	Reading English newspapers
12	Vocabulary study for TOEIC
13	Reading English company e-mails: Expanding vocabulary knowledge
14	Reading travel information: End of Semester Questionnaires
15	Review and wrap-up of the class, summary quiz
16	None

2018年度シラバス

科目名:英語資格講座ⅡＡ	担当者:松岡　佐和美	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:受講時にTOEIC１８０点以上の成績を証明できる者		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
本授業は、学芸学部ディプロマポリシーにある「グローバルな視点から言語および異文化を理解する能力」と「グローバル化した社会における実践的な英語コミュニケーション能力」と関連している。毎回TOEIC受験に必要な単語の小テストを行う。その他、主としてTOEICのリーディングパートの点数を上げるのに必要な文法解説を行う。

授業の到達目標
本授業の次のレベルはTOEIC２５０点レベルクラスとなっており、この点数到達を目標とする。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
授業に必要な事前／事後学修に加え、TOEICの点数を上げる為に必要な、リスニングも含めた総合自己学修を本授業では要求する。具体的な自己学修方法や、自己学修として必要な時間数については、授業内で指示する。

評価方法
１０月以降、TOEICを最低１回は受験する事を評価の最低条件とする。受講時の点数と比較して、１５回目の授業までに２０点以上伸びた者はC、３０点以上伸びた者はB、４０点以上伸びた者はA、５０点以上伸びた者はAAとする。１０月以降のTOEICの伸びが０点～１５点の者、並びにTOEIC未受験の者は本授業の評価をFとする。尚、英検の合格級や、CASECの取得点数によっても単位取得が可能であるが、その詳細については第１回目のオリエンテーションにて説明する。

教科書	参考図書
E. Yubun他 Bottom Up Listening for the TOEIC(R)Test　(成美堂)	授業中に随時紹介する

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
本授業（同名授業A～D）の履修方法、並びに評価方法については、詳細に第１回目の合同オリエンターションにて詳細に説明する。受講希望者は必ずこのオリエンテーションに参加すること。

01	全体オリエンテーション
02	Unit 13 Unit 13
03	Unit 14
04	Unit 15 Unit 15
05	Unit 16
06	Unit 17
07	Unit 18
08	Unit 13～Unit 18 総合復習
09	Unit 19
10	Unit 20
11	Unit 21
12	Unit 22
13	Unit 23
14	Unit 24
15	Unit 19～Unit 24 総合復習
16	なし

科目名:英語資格講座ⅡB	担当者:新谷　敦子	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
本授業は学芸学部ディプロマポリシーにある「グローバル化した社会における実践的な英語コミュニケーション能力」と関連しているTOEIC受験に必要な単語の小テストを毎回行う。その他、主としてTOEICのリーディングパートの点数を上げるのに必要な文法解説を毎時間行い、リスニングパートの点数を上げるためにスキットのペアワークを行う。

授業の到達目標
本授業の次のレベルはTOEIC400点レベルクラスとなっており、この点数到達を目標とすることができるようになる。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
授業に必要な事前／事後学修に加え、TOEICの点数を上げる為に必要な、リスニングも含めた総合自己学修を毎授業2時間程度要求する。具体的な自己学修方法や、自己学修として必要な時間数については、授業内で指示する。

評価方法
5月以降、TOEICを最低1回は受験する事を評価の条件とする。受講時の点数と比して、15回目の授業までの伸びが、20点以上C、30点以上B、40点以上A、50点以上はAAとする。詳細はオリエンテーションにて説明する。

教科書	参考図書
THE HIGH ROAD TO THE TOEIC®LISTENING AND READING TEST (KINSEIDO)	授業時に随時紹介する。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
本授業（同名授業A～D）の履修方法、並びに評価方法は、第１回目の合同オリエンテーションにて詳細に説明する。受講希望者は必ずこのオリエンテーションに参加すること。教員への連絡手段は、授業時に説明する。

01	全体オリエンテーション
02	Unit 8A Part1.2.3.4
03	Unit 8B Part5.6.7
04	Unit 9A Part1.2.3.4
05	Unit 9B Part5.6.7
06	Unit 10A Part1.2.3.4
07	Unit 10B Part5.6.7
08	Unit 11A Part1.2.3.4
09	Unit 11B Part5.6.7
10	Unit 12A Part1.2.3.4
11	Unit 12B Part5.6.7
12	Unit 13A Part1.2.3.4
13	Unit 13B Part5.6.7
14	Unit 14 Part1.2.3.4.5.6.7
15	Unit 15 Part1.2.3.4.5.6.7
16	No test

2018年度シラバス

科目名:英語資格講座ⅡC	担当者:村木　恭子	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:受講時にTOEIC 400点以上の成績を証明できる者		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
本授業は、学芸学部ディプロマポリシーにある「グローバル化した社会における実践的な英語コミュニケーション能力」と関連している。主として、毎回TOEICのリーディングパートの点数を上げるのに必要な文法解説を行い、合わせてTOEIC受験に必要な単語や表現の小テストを行うことで語彙・文法の両面からより高い得点の獲得を目指す。

授業の到達目標
本授業の次のレベルは、TOEIC550点レベルのクラスとなっており、この点数到達を目標とする。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
授業に必要な事前・事後学修に加え、TOEICの点数を上げる為に必要なリスニングも含めた総合自己学修を本授業では要求する。具体的な自己学習方法については授業内で指示する。自己学修として必要な時間数については、毎週1時間から2時間程度である。

評価方法
10月以降、TOEICを最低1回は受験する事を評価の最低条件とする。受講時の点数と比較して、15回目の授業までに20点以上伸びた者はC、30点以上伸びた者はB、40点以上伸びた者はA、50点以上伸びた者はAAとする。尚、10月以降のTOEICの伸びが0点～15点の者、並びにTOEIC未受験者の者は本授業の評価をFとする。TOEIC以外にも英検、CASECの合格級/点数次第で成績を出す事が可能であるが、その詳細については第1回目の合同オリエンテーションにて説明をする。

教科書	参考図書
M. Yamaguchi 他 (2016) TOEIC test trainer Target 650, revised version （センゲージラーニング)	授業中に紹介します

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
本授業（同名授業A～D）の履修方法、並びに評価方法については、第1回目合同オリエンテーションにて詳細に説明する。受講希望者は、必ずこのオリエンテーションに参加すること。また、教員への連絡手段については、授業時に説明します。

01	全体オリエンテーション
02	Pre-test, Unit 7 (Listening)
03	Unit 7 (Reading)
04	Unit 8 (Listening)
05	Unit 8 (Reading)
06	Unit 9 (Listening)
07	Unit 9 (Reading)
08	Unit 10 (Listening)
09	Unit 10 (Reading)
10	Unit 11 (Listening)
11	Unit 11 (Reading)
12	Unit 12 (Listening)
13	Unit 12 (Reading)
14	Grammar review
15	Wrap-up & Post test
16	None

2018年度シラバス

科目名:英語資格講座ⅡＤ	担当者:柳田　綾	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:受講時にTOEIC550点以上の成績を証明できる者		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
本授業は、学芸学部ディプロマポリシーにある「グローバル化した社会における実践的な英語コミュニケーション能力」と関連している。TOEIC５５０点以上をすでに取得している学生向けに６００点以上を目標に、より高いレベルの得点獲得を目指し学習することを目的としている。模擬テスト形式での実践型授業により、短時間で問題の意図を把握する力、自分の苦手分野を克服し語彙を充実させ、文章を正確に読む力をつける。

授業の到達目標
５５０点レベルの学習者は、基礎英文法をある程度理解しているものの、苦手な分野の克服、語彙の充実、読解力の強化が必要である。模擬テスト実施とその解説を理解して上記の力をつけ、５０点アップを目指す。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
授業に必要な事前／事後学修に加え、TOEICの点数を上げる為に必要な、リスニングも含めた総合自己学修を本授業では要求する。具体的な自己学修方法や、自己学修として必要な時間数については最低２時間と考えるが、詳細は授業内で指示する。

評価方法
１０月以降、TOEICを最低１回は受験する事を評価の最低条件とする。受講時の点数と比較して、１５回目の授業までに２０点以上伸びた者はC、３０点以上伸びた者はB、４０点以上伸びた者はA、５０点以上伸びた者はAAとする。尚、５月以降のTOEICの伸びが０点～１５点の者、並びにTOEIC未受験の者は本授業の評価をFとする。尚、英検の合格級や、CASECの取得点数によっても成績を出す事が可能であるが、その詳細については第１回目の合同オリエンテーションにて説明する。

教科書	参考図書
指定なし。プリント使用。	授業にて随時紹介する。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
本授業（同名授業A～D）の履修方法、並びに評価方法については、詳細に第１回目の合同オリエンテーションにて説明する。受講希望者は必ずこのオリエンテーションに参加すること。また、授業時にオフィスアワーを含む、必要な連絡手段等の情報を伝える。

01	Orientation
02	TOEIC explanation
03	TOEIC pre-test
04	Individual orientation based on the test results
05	Interrogative sentences
06	Verb tense
07	Vocabulary study for TOEIC
08	Conjunctions, prepositions
09	Mid-term Quiz, Mid-Term Feedback
10	Mid-term review, focusing on double passages
11	Higher level listening
12	Conjunctive adverb
13	“Not” style questions
14	Higher level reading exercise, summary quiz
15	Review and wrap-up of the class
16	None

科目名:Overseas Studies Ⅰ	担当者:Leslie Chivers,Donovan Clarke,Shannon Kiyokawa	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:Mac PC required		単位数	4
		必須.選択	必須

授業概要と方法
This course is related to practical ability to communicate in English in the globalized societies mentioned in SLADE diploma policy. Overseas Studies I is a required course for all 1st year students. The aim of this course is to prepare for and give students practical experience learning English in another culture. The students will choose the program of their choice from the list. In preparation for studying abroad, students will complete necessary documents and research their host country. Students will present their research throughout the Fall semester. The focus will be to interact with the people and the culture while improving their English skills at the host university.

授業の到達目標
Upon successful completion of this course, students will be able to….1. Understand the rules and requirements for participation in this course 2. Complete paperwork and provide other information for successful participation in the program 3. Share information about survival and enjoying their stay in their host country 3. Reflect, write and present about their experiences in a different culture 4. Improve their overall English ability.

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
Copies of name page in Passports must be provided to the coordinator of the course in the 1st lesson. Understanding what is required and being well prepared before going overseas will help you to relax and enjoy the experience much more. Students will complete necessary applications, become familiar with safety guidelines and emergency measures. They will research their host countries to learn more about the lifestyle, society and the city where they will study abroad. When students return they will prepare and give a presentation and make a post-program poster.

評価方法
Participation attitude is graded on 1. Pre-program and In-program participation attitude (60%)2. In-program Journal (20%)3. Post-program Poster for display at University Festival (10%)4. Post-program presentation in English Presentation III (10%)

教科書	参考図書
A Guidebook will be prepared and given to students.	Provided by teachers

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Students will need a Mac computer, earphones and access to the www and email. Any students who do not satisfy attendance requirements in this course & other required English courses will not be able to participate in the Program. They may be able to participate in later years if they satisfy the requirements. Students must be ready to disclose any health and other personal information, which may affect their ability to participate in overseas classes or home stays. Moodle will be used. Email: To be advised in class

01	Course Introduction-Understanding the Programs/Countries PASSPORTS DUE
02	Rules of Pre-program participation explanation
03	Rules for In-program participation explanation; Final selection of Programs
04	Individual Interviews re health declarations
05	Homestay video
06	Group project work Introduction; Visa confirmation for program choices
07	Group project work - presentations 1
08	Group project work - presentations 2
09	Group project work - presentations 3
10	Group project work - presentations 4
11	On-line Placement tests and other necessary preparation
12	Completion of Personal Information for Emergency Contact Folder; About Journal Writing
13	University Student Guides; MOFA Registration: https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/
14	Guidance Session with Guardians, Emergency measures
15	Final Preparation Checklist / Reminders about In- and Post-program rules and requirements
16	No class

科目名:中国語検定対策ＩＡ	担当者:布　和	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:　中国語検定（４級程度）の受験を目指す学生なら受講できる		単位数	1
		必須. 選択	選択

授業概要と方法
　中国語検定（4級程度）に向けて試験対策を行う授業である。授業では、タイプ別の問題対策を解説した上、問題練習を行う。特に聴力練習や文法的な難点の解説については繰り返し行うつもりである。本授業は、学芸学部ディプロマポリシーにある「グローバルな視点から言語および異文化を理解する能力」という能力の養成に関連している。

授業の到達目標
　中国語検定（４級程度）に受験して合格する。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
　授業の予習・復習に少なくとも1時間以上を使って行うことが求められる。

評価方法
　模擬テスト（５０％）を行い、受験した点数（５０％）などを総合して評価する、ただし、未受験の場合は「不可」とする。

教科書	参考図書
プリント資料を配布する予定	市販されている問題集

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
　教員の連絡先やオフィスアワーなどは授業で開示する。諸事情により予定の変動もある。

01	プレースメントテスト
02	過去問題の分析
03	語彙のまとめ
04	表現のまとめ
05	文型のまとめ
06	慣用句のまとめ
07	聞き取りの練習１
08	聞き取りの練習２
09	小結
10	読解の練習１
11	読解の練習２
12	単文の練習
13	複文の練習
14	作文の練習
15	まとめと小テスト
16	なし

科目名:中国語検定対策ＩＢ	担当者:布　和	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:中国語検定（3級程度）の受験を目指す学生なら受講できる		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　本授業は中国語検定（３級程度）に向けて試験対策を行う授業である。授業では、タイプ別の問題対策を解説したうえで、問題練習を行う。特に聴力練習や文法的な難点の解説については繰り返し行うつもりである。なお、本授業は、学芸学部ディプロマポリシーにある「グローバルな視点から言語および異文化を理解する能力」という能力の養成に関連している。

授業の到達目標
　中国語検定（３級程度）に受験して合格する。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
　授業の予習・復習に最低1時間をかけて行うことが求められる。

評価方法
　模擬テスト(５０%)を行い、受験した点数（５０%）などを総合して評価する、ただし、未受験の場合は「不可」とする。

教科書	参考図書
プリント資料を配布する予定	市販されている問題集

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
　教員の連絡先やオフィスアワーは授業で開示する　・諸事情により予定の変動もある。

01	プレースメントテスト
02	過去問題の分析
03	語彙のまとめ
04	表現のまとめ
05	文型のまとめ
06	慣用句のまとめ
07	聞き取りの練習１
08	聞き取りの練習２
09	小結
10	読解の練習１
11	読解の練習２
12	単文の練習
13	複文の練習
14	作文の練習
15	まとめと小テスト
16	なし

科目名:中国語検定対策ⅡA	担当者:高　文軍	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:中国語検定（４級）受験に適合する能力があると認められた者のみが受講できる		単位数	1
		必須. 選択	選択

授業概要と方法
本授業は、学芸学部ディプロマポリシーにある「グローバルな視点から言語および異文化を理解する能力」と関連している。　中国語検定（４級）に向けて試験対策をする。過去問題の分析、既出語彙、文型のまとめ、練習問題および模擬試験、作文練習。

授業の到達目標
中国語検定（４級）に受験・合格することができる。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
聞き取りの練習、語彙・表現の復習、授業中に行った学修のフィードバック。各授業１時間以上の授業時間以外での学修が必要となります。

評価方法
　定期試験（模擬試験）100％　合格証および点数をもって評価、ただし、未受験の受講生は「不可」と評価

教科書	参考図書
オリジナル配布資料	市販されている問題集

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
・受験申込時期について、随時連絡する。・連絡先は授業で開示する　・諸事情により予定を変更することもある。

01	プレースメントテスト
02	過去問題の分析
03	語彙のまとめ
04	表現のまとめ
05	文型のまとめ
06	慣用句のまとめ
07	聞き取りの練習１
08	聞き取りの練習２
09	読解の練習１
10	読解の練習２
11	模擬試験と分析（１）
12	模擬試験と分析（２）
13	模擬試験と分析（３）
14	模擬試験と分析（４）
15	確認・まとめ
16	なし

科目名:中国語検定対策ⅡB	担当者:高　文軍	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:中国語検定（３級・２級）受験に適合する能力があると認められた者のみが受講できる		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
本授業は、学芸学部ディプロマポリシーにある「グローバルな視点から言語および異文化を理解する能力」と関連している。中国語検定（３級・２級）に向けて試験対策をする。過去問題の分析、既出語彙、文型のまとめ、練習問題および模擬試験、作文練習。

授業の到達目標
中国語検定（３級或いは２級）に受験・合格することができる。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
聞き取りの練習、語彙・表現の復習、授業中に行った学修のフィードバック。授業外、週1.5時間以上の自習時間を必要とする。

評価方法
　定期試験（模擬試験）100%　合格証および点数をもって評価、ただし、未受験の受講生は「不可」と評価

教科書	参考図書
オリジナル配布資料	市販されている問題集

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
・受験申込時期：年に数回あり、授業時に確認する。・連絡先は授業で開示する　・諸事情により予定を変更することもある。

01	プレースメントテスト
02	過去問題の分析
03	語彙のまとめ
04	表現のまとめ
05	文型のまとめ
06	慣用句のまとめ
07	聞き取り練習１
08	聞き取り練習２
09	読解の練習１
10	読解の練習２
11	単文作文の練習１
12	単文作文の練習２
13	長文作文の練習１
14	長文作文の練習２
15	模擬試験、まとめ
16	なし

2018年度シラバス

科目名:韓国語検定対策ＩＡ	担当者:都　恩珍	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:初級以上の韓国語能力を有する者に限るTOPIKを受験することが必須条件		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法 本授業は、学芸学部ディプロマポリシーにある「グローバルな視点から言語および異文化を理解する能力」と関連しています。韓国語能力試験TOPIKⅠ（初級）は1級と２級に分かれ、聞き取りと読解の問題が出題されます。1級は約800語程度の基礎語彙を用いて基本文法を理解し、日常生活に使われる簡単な文章を理解し、作成できる能力が求められます。２級は約2000語程度の語彙を用いて身近な話題に関して表現・理解できる能力が求められます。この授業では、各級で求められるレベルに合わせ、過去問題を分析し、語彙と文法の正確な使い方と正解の見つけ方を中心に演習します。
授業の到達目標 TOPIKⅠ（１～２級）に合格します。
授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修 準備学修：音声資料を聞いて音読の練習をしてください。必要時間：約30分　事後学修：単語帳に単語をまとめ、覚えてください。必要時間：約１時間
評価方法 授業中に実施する模擬試験4回60％　　単語帳・課題30％　　授業態度10％

教科書 オリジナル資料	参考図書

その他(学生へのアドバイス、連絡手段) 必ず受験票を提示してください。未受験者は「不可」と評価します。受験申込期間は6月～7月（10月試験実施）です。連絡方法は授業中に提示します。諸事情により予定を変更することもあります。　オフィスアワー：金曜日３限

01	プレイスメントテスト、TOPIKⅠ受験概要の説明
02	聞き取り問題の類型と内容
03	読解問題の類型と内容
04	語彙のまとめ
05	練習問題で実践
06	文法のまとめ
07	練習問題で実践
08	表現文型のまとめ
09	練習問題で実践
10	慣用句のまとめ
11	練習問題で実践
12	模擬試験（１）の解説
13	模擬試験（２）の解説
14	模擬試験（３）の解説
15	模擬試験（４）の解説
16	なし

2018年度シラバス

科目名:韓国語検定対策Ｉ Ｂ	担当者:都　恩珍	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:初級以上の韓国語能力を有する者に限るTOPIKを受験することが必須条件		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法 本授業は、学芸学部ディプロマポリシーにある「グローバルな視点から言語および異文化を理解する能力」と関連しています。韓国語能力試験TOPIKⅠ（初級）は1級と２級に分かれ、聞き取りと読解の問題が出題されます。1級は約800語程度の基礎語彙を用いて基本文法を理解し、日常生活に使われる簡単な文章を理解し、作成できる能力が求められます。２級は約2000語程度の語彙を用いて身近な話題に関して表現・理解できる能力が求められます。この授業では、各級で求められるレベルに合わせ、過去問題を分析し、語彙と文法の正確な使い方と正解の見つけ方を中心に演習します。
授業の到達目標 TOPIKⅠ（１～２級）に合格します。
授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修 準備学修：音声資料を聞いて音読の練習をしてください。必要時間：約30分　事後学修：単語帳に単語をまとめ、覚えてください。必要時間：約１時間
評価方法 授業中に実施する模擬試験４回60％　　単語帳・課題30％　　授業態度10％

教科書 オリジナル資料	参考図書

その他(学生へのアドバイス、連絡手段) 必ず受験票を提示してください。未受験者は「不可」と評価します。受験申込期間は12月～１月（4月試験実施）です。連絡方法は授業中に提示します。諸事情により予定を変更することもあります。　オフィスアワー：金曜日３限

01	プレイスメントテスト、TOPIKⅠ受験概要の説明
02	聞き取り問題の類型と内容
03	読解問題の類型と内容
04	語彙のまとめ
05	練習問題で実践
06	文法のまとめ
07	練習問題で実践
08	表現文型のまとめ
09	練習問題で実践
10	慣用句のまとめ
11	練習問題で実践
12	模擬試験（１）の解説
13	模擬試験（２）の解説
14	模擬試験（３）の解説
15	模擬試験（４）の解説
16	なし

2018年度シラバス

科目名:韓国語検定対策ⅡA	担当者:都　恩珍	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:中級以上の韓国語能力を有する者に限る　　TOPIKⅡを受験することが必須条件		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法 本授業は、学芸学部ディプロマポリシーにある「グローバルな視点から言語および異文化を理解する能力」と関連しています。韓国語能力試験TOPIKⅡ（中上級）は中級（３級・４級）、上級（５級・６級）に分かれ、聞き取りと読解と作文の問題が出題されます。中級は日常生活で困ることなく、社会的・抽象的な素材について表現できるレベルが求められます。上級は政治・経済・社会・文化の全般にわたって正確で流暢に駆使できるレベルが求められます。この授業では、各級で求められるレベルに合わせ、過去問題を分析し、語彙力、文法力、表現力、作文力が総合的に身に付くように訓練します。
授業の到達目標 TOPIKⅡ（３～６級）に合格します。
授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修 準備学修：音声資料を聞いて音読の練習をしてください。必要時間：約30分　事後学修：単語帳に単語をまとめ、覚えてください。必要時間：約１時間
評価方法 授業中に実施する模擬試験4回60％　　単語帳・課題30％　　授業態度10％

教科書 オリジナル資料	参考図書

その他(学生へのアドバイス、連絡手段) 必ず受験票を提示してください。未受験者は「不可」と評価します。受験申込期間は6月～7月（10月試験実施）です。連絡方法は授業中に提示します。諸事情により予定を変更することもあります。　オフィスアワー：金曜日３限

01	プレイスメントテスト、TOPIKⅡ受験概要の説明
02	聞き取り問題の類型と内容
03	読解問題の類型と内容
04	作文問題の類型と内容
05	語彙のまとめ
06	文法のまとめ
07	表現文型のまとめ
08	慣用句のまとめ
09	作文のまとめ
10	練習問題で実践
11	練習問題で実践
12	模擬試験（１）の解説
13	模擬試験（２）の解説
14	模擬試験（３）の解説
15	模擬試験（４）の解説
16	なし

2018年度シラバス

科目名:韓国語検定対策Ⅱ B	担当者:都　恩珍	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:中級以上の韓国語能力を有する者に限る　　TOPIKⅡを受験することが必須条件		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法 本授業は、学芸学部ディプロマポリシーにある「グローバルな視点から言語および異文化を理解する能力」と関連しています。韓国語能力試験TOPIKⅡ（中上級）は中級（３級・４級）、上級（５級・６級）に分かれ、聞き取りと読解と作文の問題が出題されます。中級は日常生活で困ることなく、社会的・抽象的な素材について表現できるレベルが求められます。上級は政治・経済・社会・文化の全般にわたって正確で流暢に駆使できるレベルが求められます。この授業では、各級で求められるレベルに合わせ、過去問題を分析し、語彙力、文法力、表現力、作文力が総合的に身に付くように訓練します。
授業の到達目標 TOPIKⅡ（３～６級）に合格します。
授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修 準備学修：音声資料を聞いて音読の練習をしてください。必要時間：約30分　事後学修：単語帳に単語をまとめ、覚えてください。必要時間：約１時間
評価方法 授業中に実施する模擬試験4回60％　　単語帳・課題30％　　授業態度10％

教科書 オリジナル資料	参考図書

その他(学生へのアドバイス、連絡手段) 必ず受験票を提示してください。未受験者は「不可」と評価します。受験申込期間は12月～1月（4月試験実施）です。連絡方法は授業中に提示します。諸事情により予定を変更することもあります。　オフィスアワー：金曜日３限

01	プレイスメントテスト、TOPIKⅡ受験概要の説明
02	聞き取り問題の類型と内容
03	読解問題の類型と内容
04	作文問題の類型と内容
05	語彙のまとめ
06	文法のまとめ
07	表現文型のまとめ
08	慣用句のまとめ
09	作文のまとめ
10	練習問題で実践
11	練習問題で実践
12	模擬試験（１）の解説
13	模擬試験（２）の解説
14	模擬試験（３）の解説
15	模擬試験（４）の解説
16	なし

2018年度シラバス

科目名:教育心理学	担当者:木村　洋太	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	講義
免許・資格:中学校・高等学校教諭1種免許状（英語）		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須. 選択	選択必須

授業概要と方法
本授業は、学芸学部ディプロマポリシーにある「グローバル化した社会に向けて、学んだ知識を基に論理的で創造的な発信ができる能力」と関連している。そのため、幼児期から青年期の子どもの発達的特性および教育心理学の理論や教育評価方法を実践の場で活かせるように、知識から自分なりの意見や方法を導くことができるようにする。講義形式を中心に、ビデオを視聴して絶えず子どもの姿を照らし合わせ、毎回全員が発言・まとめる機会を設ける。

授業の到達目標
教育実践をするにあたって、教育者が知っておくべき心理学的知識・スキルとは何かを学ぶ。そのため、①子どもの特性を発達的に理解するとは？　②子どもの行動の原因を知り、望ましい方向に導いていくための教員の考え方や評価法とは？を柱に授業をしていく。　座学だけでなく、子どもの姿についてのビデオ観察、特性理解のためのグループワークや体験学習も取り入れた授業を展開する予定である。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
ワークシートにある質問や意見に次回授業でフィードバックを行い，他の学生の意見も載せたまとめを配布する。これらをヒントに随時参考文献も示しながら、何を次の学習につなげ、自己学習するのかテーマを課す。個人のワークシートは、コメント入りで毎授業返却するので，授業資料だけでなく自分の考えや取り組みの変遷を振り返り，定期試験，教育実習へのまとめとして利用する。授業のトピックの中から該当する研究論文を配布するので、授業内容を参考にしながら、論文についてまとめた上で意見を述べ、ディスカッションする。

評価方法
　確認テスト（70%），毎回の授業で提出してもらうワークシート等の内容（30%)から総合的に評価する。授業参加態度が一定の基準を満たさない場合，原則として確認テストの受験資格は得られない。

教科書	参考図書
教科書は特別指定せず、授業中に自作の資料を配布する。	随時、参考図書を紹介する。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
授業の参加率、積極的な発言等を高く評価します。心理学に正しい回答はないので、自分で考えたことを自由に発言する機会を設けます。連絡先は授業中にお知らせします。

01	オリエンテーション　：心理学・発達心理学・教育心理学とは何か　学ぶ意義について
02	発達段階とは何か　：発達段階と、それに合わせた教育・援助について
03	乳幼児期～青年期の発達の特徴①　：運動と言語の発達を中心に
04	乳幼児期～青年期の発達の特徴②　：幼児期の認知発達を中心に
05	乳幼児期～青年期の発達の特徴③　：児童期以降の認知発達を中心に
06	学習のつまづきとその解決について心理学的に捉える
07	自己を知る①　：性格心理学　性格を知り、性格を配慮することの重要性
08	自己を知る②　：揺らぐココロの理解（反抗期と自我・自立のココロ）
09	自己を知る③　：アイデンティティの芽生え（エリクソンの発達課題を中心に）
10	幼児期～青年期の仲間関係の変遷　：仲間関係と学校不適応の問題について
11	学習の理論　：行動の理由に迫る（随伴性と行動分析学）
12	体罰はなぜいけないか　：叱ることの難しさとココロへの影響
13	教師による評価について　：教育評価と他者受容感（動機づけの観点から）
14	行動を望ましい方向に導くために　：応用行動分析
15	総括　発達の理解を教育に活かすための視点
16	定期テスト

2018年度シラバス

科目名:Tourism English I	担当者:髙橋　博子	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
本授業では、観光英語の学習を通じて、学芸学部のディプロマシーにある「グローバル化した社会における実践的な英語コミュニケーション能力」を身につけることと、「グローバルな視点から言語および異文化への理解」を深めていくことをめざします。海外旅行先での様々なシーンを擬似体験しながら、専門的な英語や言い回しなどを習得します。

授業の到達目標
テキストを使用します。テキストは、旅行先での日常的な英語が使われている場面を設定して展開していきます。様々な場面設定を擬似体験しながら、社会、生活の中で役立つ英語を身につけていくことをめざします。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
毎時ライティングの小テストをします。そのためには復習を欠かさず継続してください。

評価方法
平常点（出席・提出物・小テスト・授業態度などを含む）20点、まとめ確認テスト40点×2回の総合評価とします。

教科書	参考図書
「English for Tourism: Basic」（三修堂）	授業中に適宜紹介します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
使い慣れた辞書を持ってきてください。

01	Introduction ～テキストの中身を見てみよう！
02	Travel in General ①　Words and Phrases
03	Travel in General ②　Words and Phrases
04	Unit 3: Getting on the Plane
05	Unit 4: At the Immigration and Customs
06	Unit 5: At the Airport / Transportation from the Airport to the Hotel
07	Unit 6: Hotel (Accommodations) / At the Hotel: Explaining a Key Card
08	Review (Unit 1～Unit 6)
09	Unit 7: Restaurant (Breakfast and Fast Food) / Japanese Restaurant
10	Unit 8: Sightseeing ①
11	Unit 8: Sightseeing ②
12	Unit 9: Shopping
13	Unit 10:Transportation
14	Unit 11:Problems and Complaints
15	Review(Unit 7～11)
16	なし

2018年度シラバス

科目名:Tourism English Ⅱ	担当者:樋田　禎美	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法 本授業では、観光英語の学習を通じて、学芸学部のディプロマシーにある「グローバル化した社会における実践的な英語コミュニケーション能力」を身につけることと、「グローバルな視点から言語および異文化への理解」を深めていくことをめざします。海外旅行先での様々なシーンを擬似体験しながら、専門的な英語や言い回しなどを習得します。
授業の到達目標 テキストを使用します。テキストは、旅行先で日常的に英語が使われる場面を設定して展開していきます。様々な場面設定を擬似体験しながら、社会、生活の中で役立つ英語を身につけていくことをめざします。
授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修 毎時ライティングの小テストをします。そのためには復習を欠かさず継続して下さい。
評価方法 平常点（出席・提出物・小テスト・授業態度などを含む）50点、まとめ確認テスト25点×2回の総合評価とします。

教科書	参考図書
「English Tourism: Intermediate」三修社	授業中に適宜紹介します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段) 使い慣れた辞書を持ってきてください。

01	Intrpduction～テキストの中身を見てみよう！
02	Unit 1: Travel Information
03	Unit 2: At the Airport
04	Unit 3: Hotel ①
05	Unit 3: Hotel ②
06	Unit 4: Dining
07	Unit 5: Asking and Giving Direction
08	Review (Unit 1～Unit 5)
09	Unit 6: Buses and Trains
10	Unit 8: Sightseeing
11	Unit 9: Sghtseeing
12	Unit 10:Problems and Complaints
13	Unit 11:Tour Conductor Duties
14	Unit 12:Sightseeing in Japan
15	Review (Unit 6～Unit 12 / Unit７を除く)
16	なし

2018年度シラバス

科目名:観光学概論	担当者:根尾　文彦	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
本授業は学芸学部のディプロマポリシーにある現代社会に必要とされる情報リテラシーを身につけ、国際社会に貢献できる能力を身につけることが望まれる。少子高齢社会の中、ここ10年来で我が国の重要な成長戦略の柱の一つになった「観光」について、観光資源・観光産業・観光政策の観点から、その歴史的背景の基礎を学びます。その上で我が国の観光政策に対する理解を深める。講義スタイルが中心であるが、画像・映像などを多用することにより理解しやすい内容とし、グループ討議も取り入れる。

授業の到達目標
①我が国の観光の歴史や観光資源、観光産業などについて基本的な知識を習得する。②我が国の観光政策の現状を理解し、それぞれの課題に対して自分なりの意見を持てるようにする。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
新聞、本、ＴＶ等から情報を入手し、社会情勢に対して強い関心を持つ。予習復習併せて毎週4時間程度の学習が望まれる。

評価方法
授業への参加態度（10%）、定期試験（80%）、その他レポート（10%）を総合して評価する。

教科書	参考図書
特になし、プリントを配布。	授業で指示する

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
連絡先　neo@ohkagakuen-u.ac.jp研究室　7307号室

01	観光の定義と概念（観光のもたらす様々な効果）
02	観光の歴史（中世～近世～明治～大正時代の観光）
03	観光の歴史（昭和～平成時代の観光）
04	観光の歴史（現代の観光）
05	世界の観光産業
06	我が国における観光の現状と課題（国内旅行）
07	我が国における観光の現状と課題（海外旅行）
08	我が国における観光の現状と課題（訪日旅行）
09	我が国における観光の現状と課題（地域創生、観光まちづくり） 我が国における観光の現状と課題（地域創生、観光まちづくり）
10	観光資源 ①
11	観光資源 ②
12	観光政策と観光行政
13	観光関連産業（運輸機関）
14	関連産業（宿泊機関）
15	関連産業（旅行業）
16	定期試験

2018年度シラバス

科目名:観光マーケティング	担当者:根尾　文彦	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
本授業は学芸学部のディプロマポリシーにある現代社会に必要とされる情報リテラシーを身につけ、国際社会に貢献できる能力を身につけることが望まれる。現代企業において最も重要な活動の一つであるマーケティングの基本を学びながら、観光産業における様々な例題を参照してマーケティングの観点から課題を具体的に分析する。またマーケティングの実務体験としてグループワークでマーケティングの環境分析を行い発表する。

授業の到達目標
①一般的なマーケティングの基礎知識を習得する。②幅広い裾野を持つ観光産業の具体的な事例を参照に現状を分析することにより、その実体を理解すると同時に、課題などに対して自分なりの意見を持てるようにする。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
新聞、本、ＴＶ等から情報を入手し、社会情勢に対して強い関心を持つ。予習復習を併せて毎週4時間程度の学習が望まれる。

評価方法
授業への参加態度（10%）、定期試験（80%）、レポート（10%）を総合して評価する。

教科書 特になし、プリントを配布	参考図書 授業で指示する

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
連絡先　neo@ohkagakuen-u.ac.jp研究室　7307号室

01	一般的マーケティングの基本
02	観光産業のマーケティング・ミックス（4Ｐ）
03	人の購入行動（ニーズ・ウォンツ・需要の違い）
04	顧客は誰？（セグメンテーション、ターゲティング、ポジショニング、ドメイン）
05	購買意思決定プロセス
06	旅行商品の流通
07	競争戦略（価格戦略）①
08	競争戦略（価格戦略）②
09	マーケティングの環境分析及び発表 ①
10	マーケティングの環境分析及び発表 ②
11	商品のライフサイクル
12	プロモーション（販売促進）
13	競争戦略（ブランド戦略）
14	顧客管理
15	マーケティング・リサーチ
16	定期試験

科目名:教職入門	担当者:石渡　雅之	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	講義
免許･資格:中学校･高等学校教諭1種免許状（英語）		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:免許課程履修が学部により認められた者		単位数	2
		必須. 選択	選択必須

授業概要と方法
（概要）本授業は、学芸学部ディプロマポリシーにある「グローバル化した社会に向けて論理的で創造的な発信ができる能力」を教育分野で発揮することを大きな目標として運用されるものである。最初に教職課程をとる意義についてきちんと理解・認識した後「教職の意義」「教員の役割」「教員の職務内容」「進路に資する各種機会の提供」など教師として知っておくべき基礎知識を解説していく。また、望ましい教育実践を目指すため新学習指導要領には何が書かれ、どのような教育理念を持つことが望ましいのか、丁寧に分析する作業も随時行っていく。

授業の到達目標
a. 教職の意義、および教員の役割を認識できる。b. 教師の研修・服務・身分保障について理解することができる。c. ガイダンス機能の提供について望ましい実践方法を考えることができる。d. 新学習指導要領を分析しながら教育課程における各領域の実践方法を考えることができる。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
学校教育に関わる様々な情報収集に努め、学校教育の実態を理解すること、またどのように授業を組み立てるか？といった実践面に意識を置くことが要求される。そして、自身が教師になるという強い意欲を持ちながら、授業で学ぶ諸教育理論を常に振り返り、どのような実践に結びつけるか、考える必要がある。

評価方法
①授業中の小エッセイ（教育評論）　10%②　学習指導案（中学校道徳）の作成　10%③　模擬授業　30%④　学期末のレポート　50%

教科書	参考図書
日本教材システム（編）　中学校学習指導要領新旧対照表	文部科学省　小学校・中学校・高等学校学習指導要領／日本教育新聞社　日本教育新聞

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
教職課程履修に強い意欲と責任感を示す者、また学科が定める教職課程履修要件を理解した者のみ受講を許可する。研究室：７３１１

01	オリエンテーション（教職課程履修の意味）
02	教職観と理想の教師像
03	学ぶことと教えること
04	今日の教育現場①（教師からみた教育現場）
05	今日の教育現場②（学習者および保護者からみた教育現場）
06	教員養成・教員任用の仕組み
07	教師の資質向上と研修のあり方
08	教員の職務と責任（教育公務員特例法等、関連法案解説）
09	学習指導・生徒指導・学級経営
10	教育実践力を考える①（授業の創造−教科指導について）
11	教育実践力を考える②（授業の創造−道徳指導について）
12	教育実践力を考える③（授業の創造−特別活動/ガイダンス機能について）
13	新しい時代の学校づくり①（開かれた学校と教師像）
14	新しい時代の学校づくり②（新学習指導要領の分析／小学校外国語活動を考える）
15	授業総括（教職課程の学び方・取り組み方）
16	なし

科目名:教育原理	担当者:小泉　卓	開講学科等	学芸学部 英語学科
		授業形態	講義
免許・資格:中学校・高等学校教諭1種免許状（英語）		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
本授業は、ディプロマポリシー「3. 修得した知識に基づいて、批判的思考ができ、グローバル化した社会に向けて論理的で創造的な発信ができる能力」を具体化するものです。授業内容は、教育理念の変遷、児童福祉、学校・家族・社会との相互性。近代教育制度、現代教育の思想や課題です。授業方法は、教育理念・思想等を学校や家庭、社会との相互性を踏まえ教員、クラス員とインタラクティブに思考、対話をしながら探究していきます。

授業の到達目標
1.教育の本質と目的並びに教育学の基本的概念を理解している。2.教育と児童福祉との連関を理解している。3.教育の歴史の基礎的知識に連関して学校と家族と社会との相互性の変遷を理解している。4.日本と諸外国の近代の教育制度を理解している。5.現代の教育理念や課題、学校の在り方を歴史的視座から理解している。6.子どもと家庭、学校と学習に関する教育の思想及び思想家を理解している。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
A 準備学修　⑴ 自分の学び（学習含む）の対象化とその省察を継続する。　⑵ 次回の学習のために配布された資料や添付メールで送信された資料を読む。　⑶ 課題は、事前に提起するので、必ず取り組む。B 事後学修　⑴ 授業を振り返り整理し、授業ノートを作成する。ノートをポートフォリオとして評価します。　⑵ 提起された課題に取り組む。　⑶ 配布された資料は、必ず読む。

評価方法
ポートフォリオとしての授業ノート（感想含む）30%、レポート発表30%。テスト30%、インタラクティブな関係が求められるので、教師と学生、学生と学生の対話を重視します10%。

教科書
特に指定なし。適宜授業で配布する資料で授業を行います。

参考図書
『よくわかる教育原理』汐見稔幸 他共著、『君はどう生きるか』、中学校学習指導要領、高等学校学習指導要領

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
授業の終了前に、毎回、手書きの感想を書いてもらいます。コメントをつけて次週に返却します。出席要件は、2/3以上です。連絡手段を、最初の授業で確認します。

01	講義概要の説明　目標及び授業計画と評価方法、学生の学習の留意点などの説明
02	教育の価値と意味（人間とは、家族とは、社会とは、地球とは）
03	教育と児童福祉の歴史との相互性（「子どもの権利条約」「日本国憲法」「教育基本法」）
04	子どもの人間形成と教育的環境（子どもと学校・家庭・地域との相互性）
05	教育の歴史Ⅰ（コメニウス、ロック、ルソー、ペスタロッチ、フレーベル、ヘルバルト）
06	教育の歴史Ⅱ（エレン・ケイ、デューイ、モンテッソーリ、ブルーナーなど）
07	教育の歴史Ⅲ（子どもの発見と子どもの誕生、そして教育の誕生）「子どもとは何か」
08	日本の近代化と教育
09	学校制度の成立と発展（日本、欧米、アジア）そして教育の国際化「国際化とは何か」
10	教育評価の変遷と真正の評価論・学びの物語「評価とは何か」
11	コミュニケーションとしての教育と学力論争「学力とは何か」
12	生涯学習（教育）と学校教育・社会教育（リカレント教育）「生きるとは何か」
13	歴史的視座から見る現代の教育課題（いじめ・不登校…）
14	臨床教育学の可能性「教師とは」
15	授業の省察　「教育とは何か」
16	定期試験 実施